

ビデオカセット レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DV Digital Video Cassette / **Mini DV** Digital Video Cassette

VHS Hi-Fi

G-CODE™

WV-D700

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- 録画するとき
著作権保護のための信号が記録されているソフトを録画すると、テレビ画面に警告が表示され、録画が停止します。
著作権保護のための信号が記録されている放送を予約録画すると、録画動作は行われますが、映像・音声信号は記録されません。
別売りのデジタルCSチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能(コピーガード)がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 再生するとき
著作権保護のための信号が記録されているソフトを本機で再生して他機で録画する場合、記録が制限されることがあります。
- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

次のようなことはできません

- 市販のビデオソフト/レンタルビデオの編集・ダビング
- DVとVHSで同時に同じ外部入力を録画する
- DVとVHSで同時にテレビ放送を録画する
- DVをLPモードで録画する・再生する
- DV入力/出力端子からテレビ放送や入力端子につないだ機器の信号、VHSの再生信号などを出力する
- DV入力/出力端子につないだ機器からVHSに録画する

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じなまえのビデオ本体のボタンも同じように使えます。

目次

主な特長	4
------	---

接続と準備

接続と準備の流れ	6
手順1：付属品を確かめる	7
手順2：リモコンを準備する	7
手順3：アンテナとテレビにつなぐ	9
手順4：電源コードをつなぐ	16
手順5：接続の確認をする	16
手順6：チャンネルを自動で合わせる (自動チャンネル合わせ)	18
手順7：時計を合わせる	19
手順8：Gコードの設定をする	21
手順9：チャンネルとGコードの設定の確認をする	26
チャンネルの番号とGコードの設定を変える	28
Gコード予約できる放送局を追加する	30
放送のないチャンネルをとばす	32
ケーブルテレビ(CATV)をつなぐ	34
デジタルCSチューナーをつなぐ	35
リモコンで各社のテレビを操作する	36
受信状態を調整する	37
お買い上げ時の設定を変える	38

ここだけ読んでも使えます

ビデオを見る	40
録画する	42
予約する	44
予約を確認する・変更する・取り消す	46
ダビングする(おまかせダビング)	48
テープの途中からダビングする	50

再生

CMをとばす	52
速さを変えて見る	53
場面を頭出しする	54
二か国語放送などの音声を切り換える	57
アフレコした音声を聞く	58
画面表示やテープ残量を見る	59
録画した番組を頭出しする (テープマップサーチ、VHSのみ)	61
画像と音声を調整する(トラッキング、VHSのみ)	62
テープを繰り返し再生する (リピート再生、VHSのみ)	63
録画情報を見る(DVのみ)	64

録画・予約

ビデオ本体で予約する(快速本体予約)	65
Gコードで予約する	67
別売りのデジタルCSチューナーから録画する	68

編集

好きな場面だけつないで編集する	72
タイトルを入れる (カセットメモリー付きDVのみ)	75
カセットメモリーの内容を消す (カセットメモリー付きDVのみ)	79
別売りのタイトラーを使って編集する	80

他機をつないで行う操作

ビデオ機器をつないで見る・ゲームをする	83
ビデオ機器をつないでダビング・編集する	85

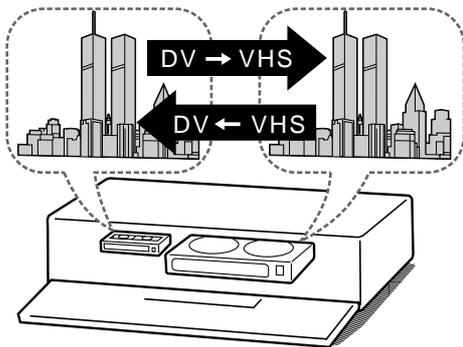
その他

使えるテープと再生・録画方式について	88
使用上のご注意	90
故障かな?と思ったら	91
自己診断表示 (アルファベットや数字で始まる表示、  表示が出たら)	95
保証書とアフターサービス	95
主な仕様	96
各部のなまえ	97
用語解説	103
索引	裏表紙

主な特長

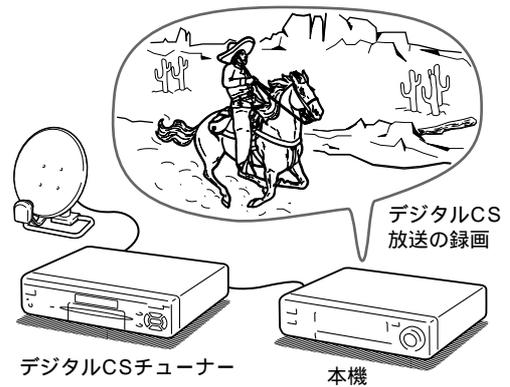
本機は、デジタルビデオ(DV)とVHSビデオの2つのデッキがひとつになったダブルビデオです。使いたいデッキをボタンひとつで選んで操作できます。

接続なしで簡単にダビング・編集できる



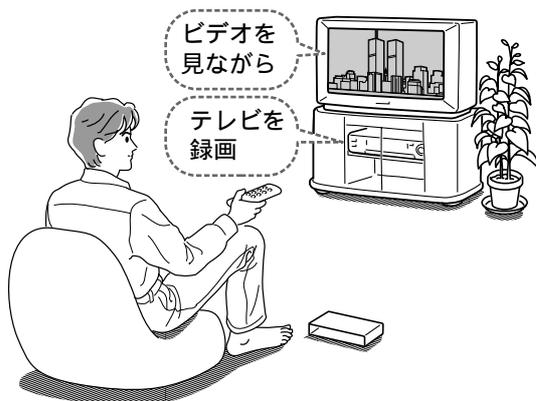
- おまかせダビング(68ページ)
- テープの途中からダビング(50ページ)
- 好きな場面だけつないで編集(72ページ)

別売りのデジタルCSチューナーから録画できる (68ページ)



- 長時間の番組を、VHSテープからDVテープに続けて録画できる(デジタルCSリレー録画)(71ページ)

2つのデッキを同時に使える



- 片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキでビデオを見る(41ページ)・録画する(43ページ)・予約する(45ページ)

場面の頭出しができる



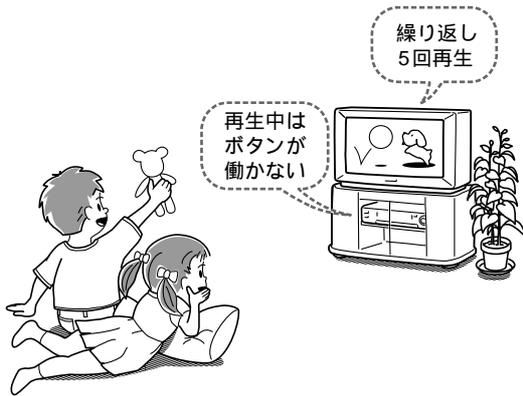
- 番組の一覧表示を使って頭出しする(テープマップサーチ、VHSのみ)(61ページ)
- 場面の一覧表示を使って頭出しする(カセットメモリーのあるDVテープのみ)(55ページ)

DVデッキでできること

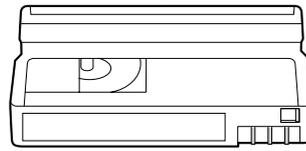
DVデッキでは、画像や音声をデジタル信号によって記録・再生します。高画質・高音質を楽しむことができます。

テープを繰り返し再生できる

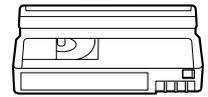
(リピート再生、VHSのみ) ( 63ページ)



DV・ミニDVの2種類のカセットを使える



DVカセット



ミニDVカセット

- デジタルビデオカメラで撮影したミニDVカセットの映像を、本機で再生する

タイトルを入れられる

(カセットメモリーのあるDVテープのみ)



- 好きな場面にタイトルを入れる ( 75ページ)
- カセットになまえを付ける ( 78ページ)

さらにこんなことができます。

- DV入力/出力端子を使ってデジタル編集 ( 86ページ)
- 録画情報(日付・時刻・チャンネルなど)の確認 ( 64ページ)

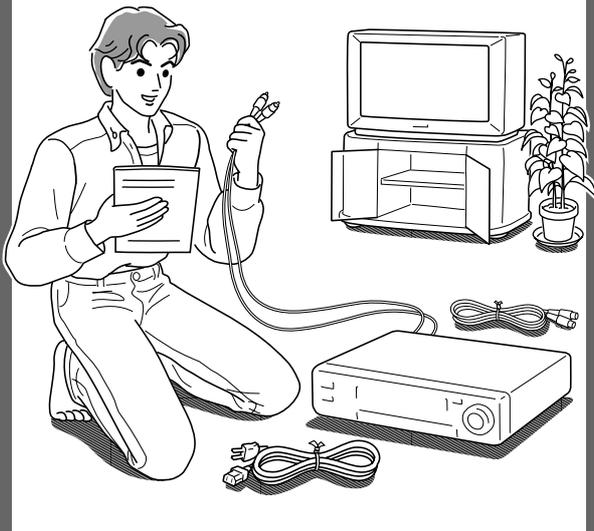
接続と準備

ここでは、本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビなどの接続および、時計やチャンネル合わせなどの準備について説明します。

さらに、BS放送やケーブルテレビ、デジタルCS放送などをお楽しみいただける別売りの機器とのつなぎかたも説明しています。

以下の機器の接続は()内のページをご覧ください。

- ビデオカメラ・ビデオデッキなどのビデオ機器(83ページ)
- ゲーム機(83ページ)



接続と準備の流れ

手順1~9まで済ませれば、本機を使用できる状態になります。

手順1：付属品を確かめる 87ページ

手順2：リモコンを準備する 87ページ

手順3：アンテナとテレビにつなぐ 99ページ

手順4：電源コードをつなぐ 166ページ

手順5：接続の確認をする 166ページ

手順6：チャンネルを自動で合わせる
(自動チャンネル合わせ) 188ページ

手順7：時計を合わせる 199ページ

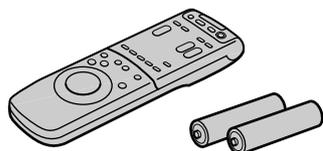
手順8：Gコードの設定をする 211ページ

手順9：チャンネルとGコードの設定の
確認をする 266ページ

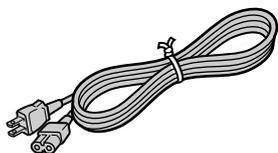
手順1: 付属品を確かめる

箱を開いたら、付属品がそろっているか確かめてください。

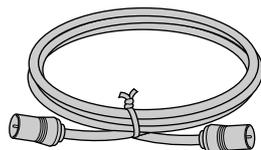
リモコン(1個)と
単3形(R6)乾電池(2個)



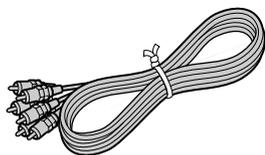
電源コード(1本)



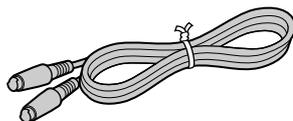
F型コネクタ付き同軸ケーブル(1本)



映像・音声コード(1本)



S映像コード(1本)



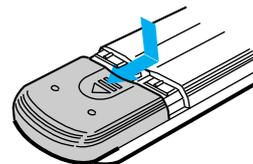
取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

(各1部)

手順2: リモコンを準備する

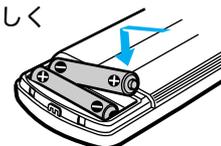
乾電池を入れ、ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認します。リモコンモードが合っていないと、リモコンで操作できません。

1 裏面のフタを開ける。

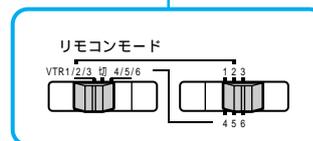
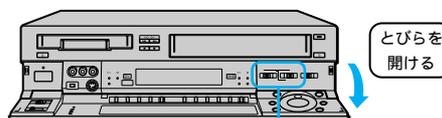
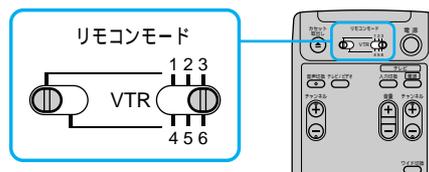


2 単3形(R6)乾電池を2個入れる。
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

⊕と⊖の向きを正しく



3 ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認する。
お買い上げ時はリモコン、ビデオ本体とも「VTR3」になっています。



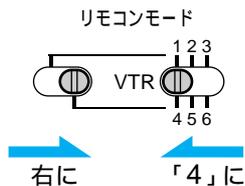
手順2：リモコンを準備する (つづき)

2台以上のソニーのビデオデッキを使うときは

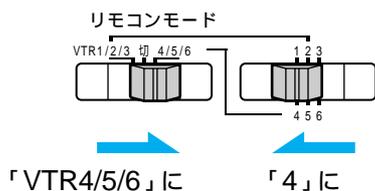
操作したいビデオデッキだけが反応するように、ビデオデッキごとに別のリモコンモードを設定します。例えば、もう1台のビデオデッキが「VTR3」に設定されている場合は、本機を「VTR3」以外に設定します。リモコンモードスイッチのないビデオの場合は、ベータは「VTR1」、8ミリは「VTR2」、VHSは「VTR3」、DVは「VTR2」または「VTR4」に設定されています。

- リモコンモードを「VTR4」、「VTR5」または「VTR6」に設定するには
リモコンおよびビデオ本体のリモコンモードスイッチを、次のように切り換えてください。
例：「VTR4」に設定するとき

リモコン

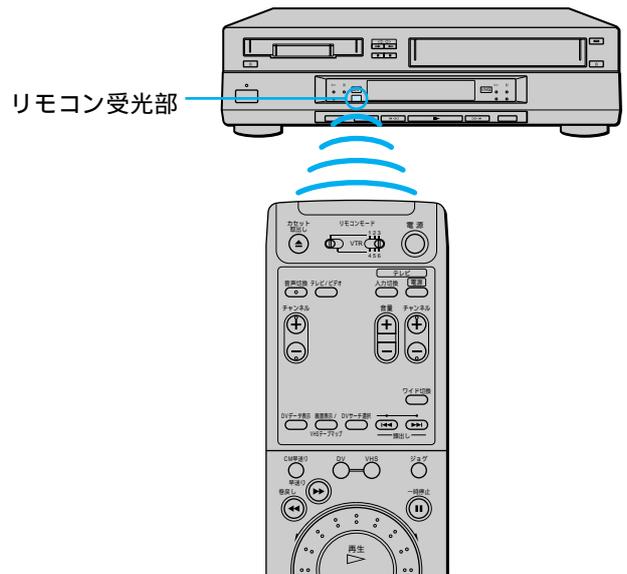


ビデオ本体



リモコンの使いかた

リモコンを使うときは、リモコンをビデオ本体のリモコン受光部に向けて操作します。



ちょっと一言

- ビデオ本体のリモコンモードスイッチを「切」にすると、リモコンの操作を受け付けなくなります。
- 乾電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください(36ページ)。

ご注意

- 付属のリモコンは本機専用です。他のビデオデッキには使用できません。

⚠注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください
乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

乾電池を長時間使用しないとき、使い切ったときは、リモコンから取り出しておいください
乾電池を入れたままにしておくと、放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

手順3：アンテナとテレビにつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線ははずして、本機につなぎます。

テレビに映像・音声入力端子があるときと、ないときで本機とテレビのつなぎかたが異なります。

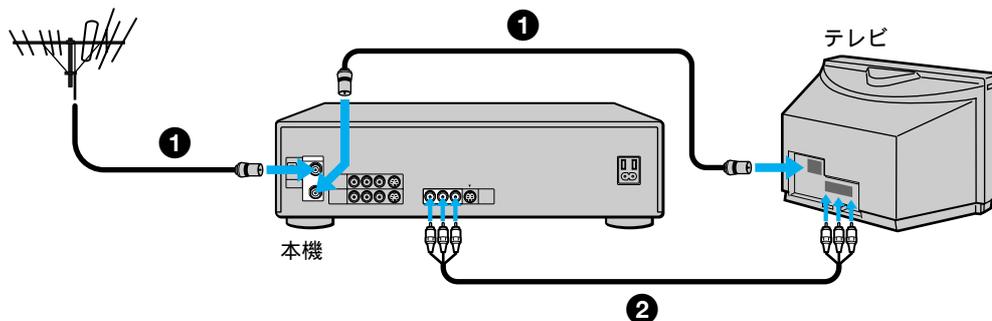
テレビだけを使っていたとき



本機とテレビを使うには

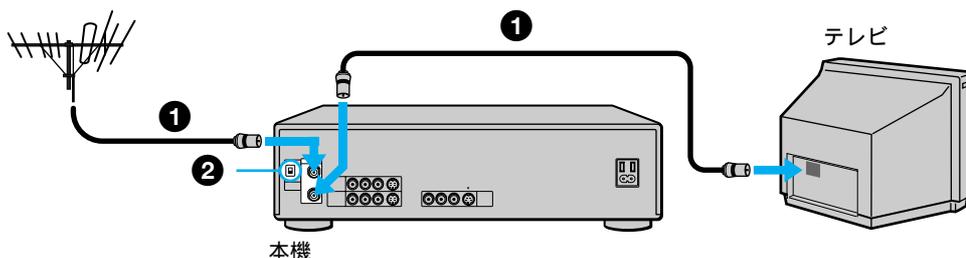
テレビに映像・音声入力端子があるとき

- ① アンテナ線をつなぐ(10ページ)
- ② 映像・音声コードをつなぐ(14ページ)



テレビに映像・音声入力端子がないとき

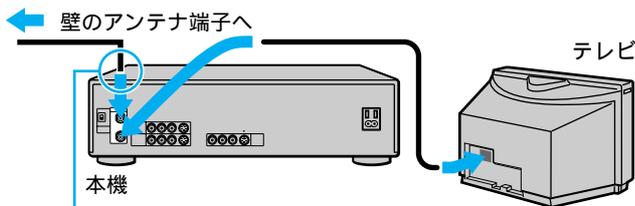
- ① アンテナ線をつなぐ(10ページ)
- ② チャンネル切換スイッチを合わせる(15ページ)



手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

アンテナ線をつなぐ

テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。



アンテナ線の形に合わせて、次のA～Fのつなぎかたを選んでください。

ちょっと一言

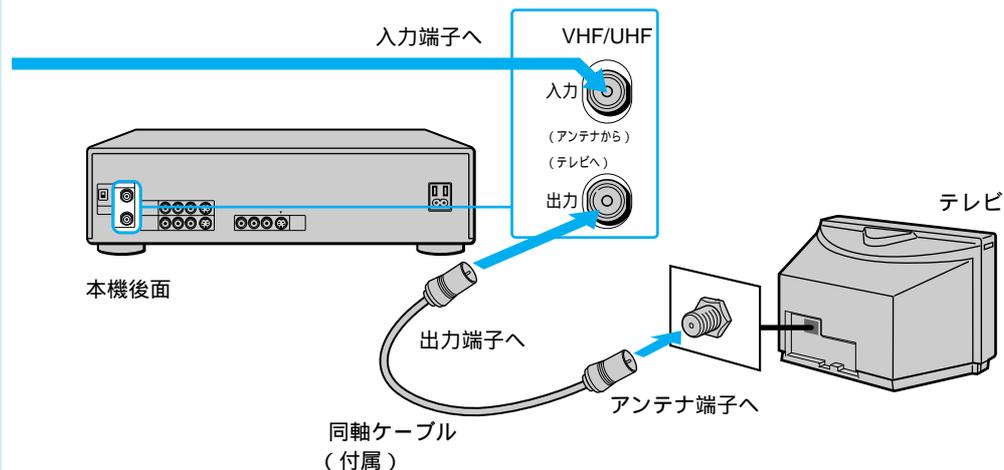
- 次のときは別売りのアンテナブースターを、本機とアンテナの間につないでください。
 - 電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
 - 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき

該当する接続がないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

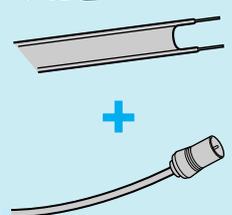
A プラグ付き同軸ケーブルのとき



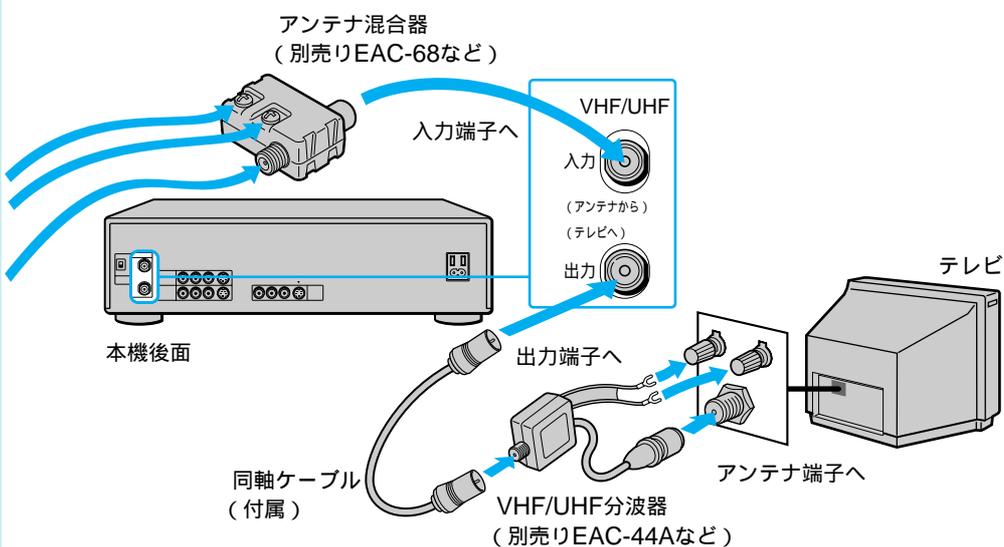
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときはF(13ページ)をご覧ください。



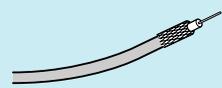
B フィーダー線+プラグ付き同軸ケーブルのとき



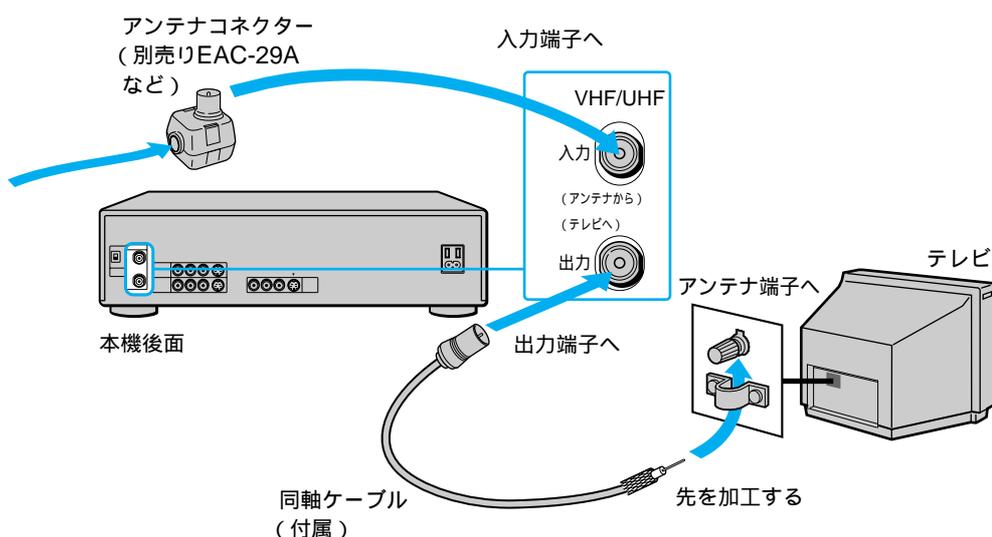
- フィーダー線をつなぐ (12ページ)



㉞ プラグなし
同軸ケーブル
のとき



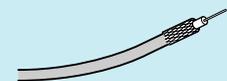
- 同軸ケーブルの
先を加工する
(12ページ)



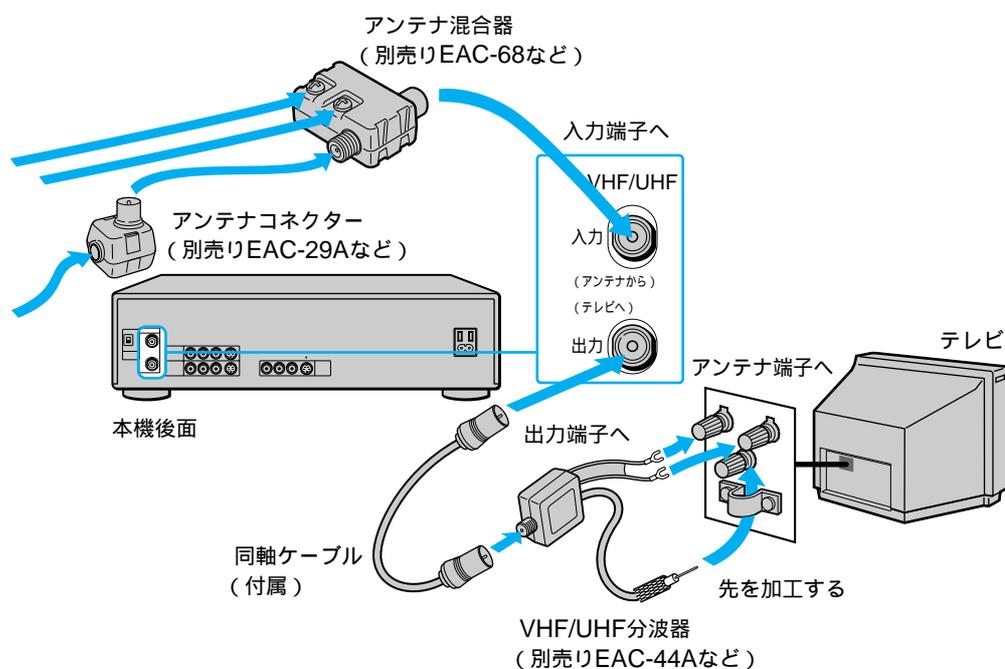
㉟ フィーダー線+
プラグなし
同軸ケーブル
のとき



+



- 同軸ケーブルの
先を加工する
(12ページ)
- フィーダー線をつなぐ
(12ページ)

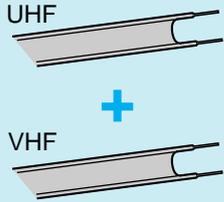


ご注意

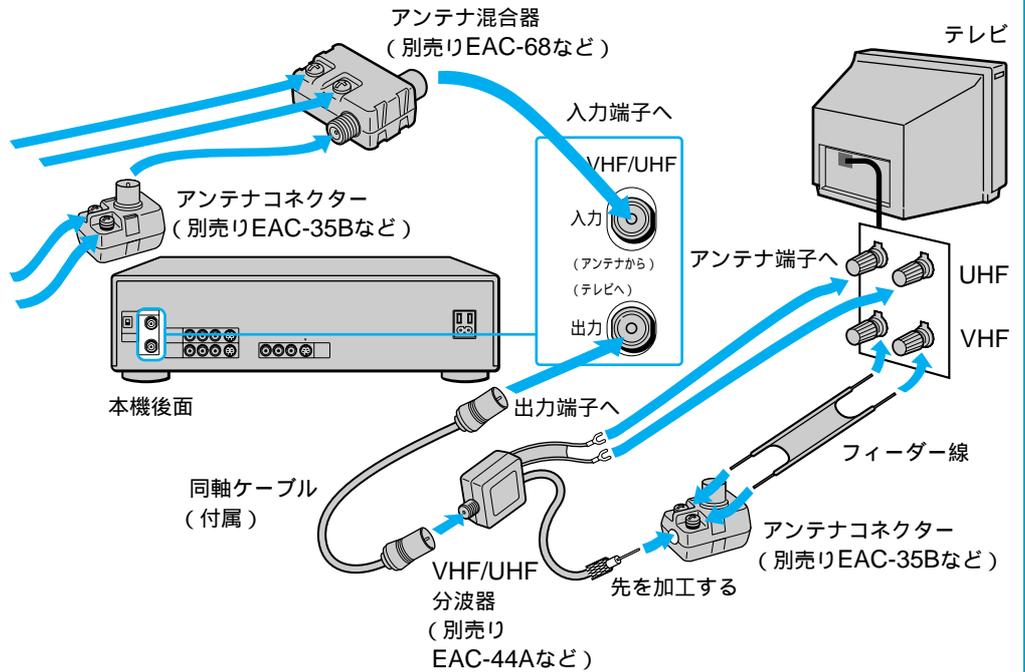
- 画像の乱れを防ぐために
 - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
 - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機から離してください。
- アンテナコネクタで、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子をつながないでください。

手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

E フィーダー線 + フィーダー線 のとき

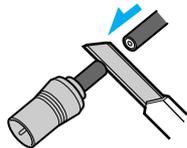


- フィーダー線をつなぐ
(12ページ)

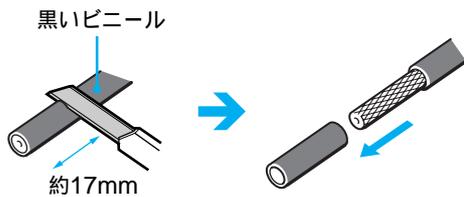


同軸ケーブルの先を加工する

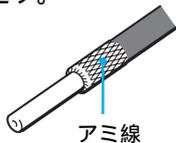
- 1 プラグが付いているときは、切り取る。



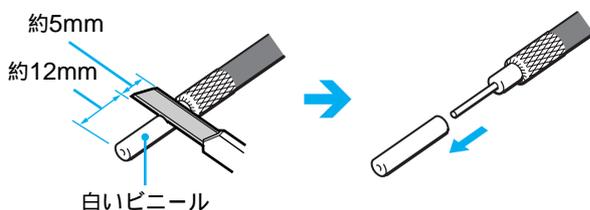
- 2 外側の黒いビニールだけにすじを入れて切り取る。



- 3 アミ線を折り返す。



- 4 芯線にキズをつけないように、内側の白いビニールにすじを入れて切り取る。

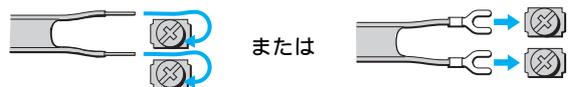


フィーダー線をつなぐ

- 1 ネジをゆるめる。



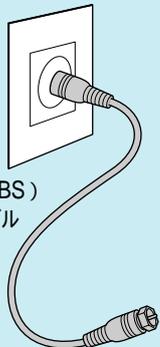
- 2 芯線を巻き付ける。



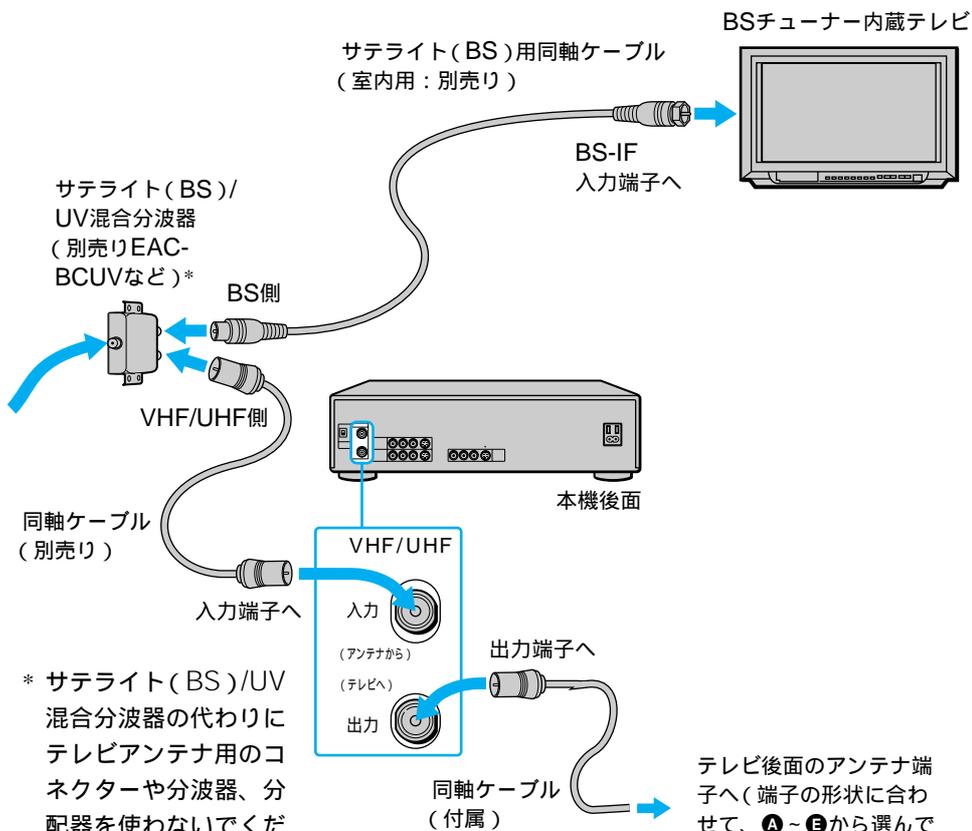
- 3 ネジをしめる。

F 壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき

(マンションなどの共同受信システムなど)



衛星(BS)用同軸ケーブル
(室内用:別売り)



* 衛星(BS)/UV混合分波器の代わりにテレビアンテナ用のコネクターや分波器、分配器を使わないでください。きれいに受信できません。

テレビ後面のアンテナ端子へ(端子の形状に合わせて、A~Eから選んでつないでください)

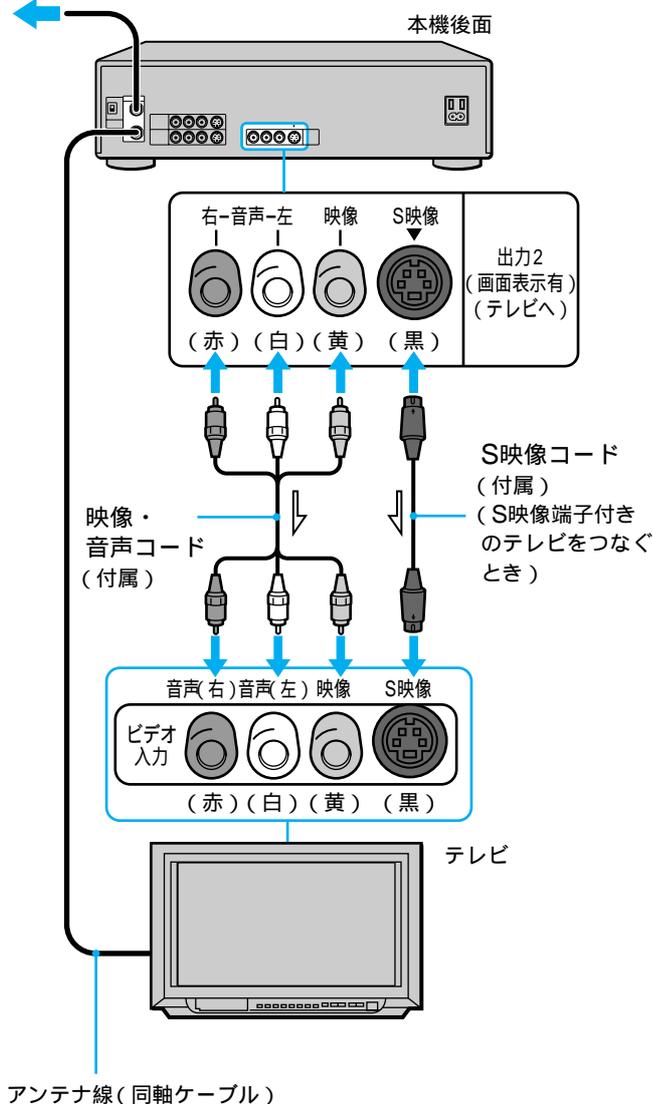
手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

映像・音声コードをつなぐ

(テレビに映像・音声入力端子があるとき)

テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力2端子とテレビの入力端子を付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。

壁のアンテナ端子へ



⇒ : 映像・音声信号の流れ

S映像入力端子付きのテレビとつなぐときは

S映像コードを使うと、よりきれいな映像が楽しめます。このとき、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。

ビデオを見るときは

つないだテレビの端子(「ビデオ1」、「ビデオ2」など)をテレビの入力切り換えて選びます。

ちょっと一言

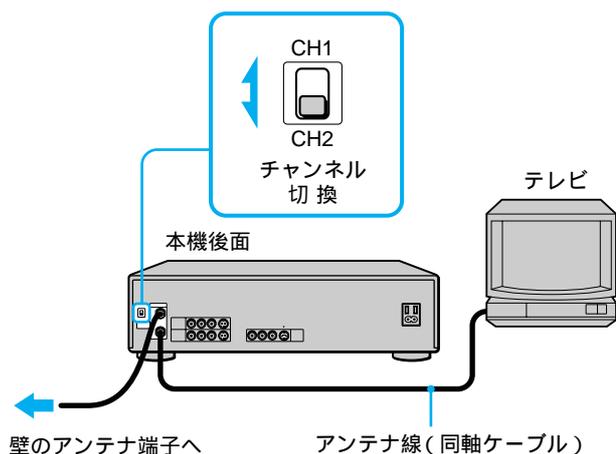
- テレビは本機の出力2端子につないでください。メニューやテープ走行表示などが見られます。
- メニューの「各種設定」の「アンテナ切りかえ」は「手動」のままにしておきます(39ページ)。「自動」にすると録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がありますが、「手動」ではその必要がなく便利です。
- テレビの音声入力端子が1個しかない場合は、別売りの映像・音声コードVMC-910MSなどをつないでください。

チャンネル切換スイッチを合わせる

(テレビに映像・音声入力端子がないとき)

テレビに映像・音声入力端子がなく、本機とテレビをアンテナ線(同軸ケーブル)だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル(1または2)に合わせます。

このとき、メニューの「各種設定」で「アンテナ切りかえ」を「自動」にしてください(39ページ)。



ビデオを見るときは

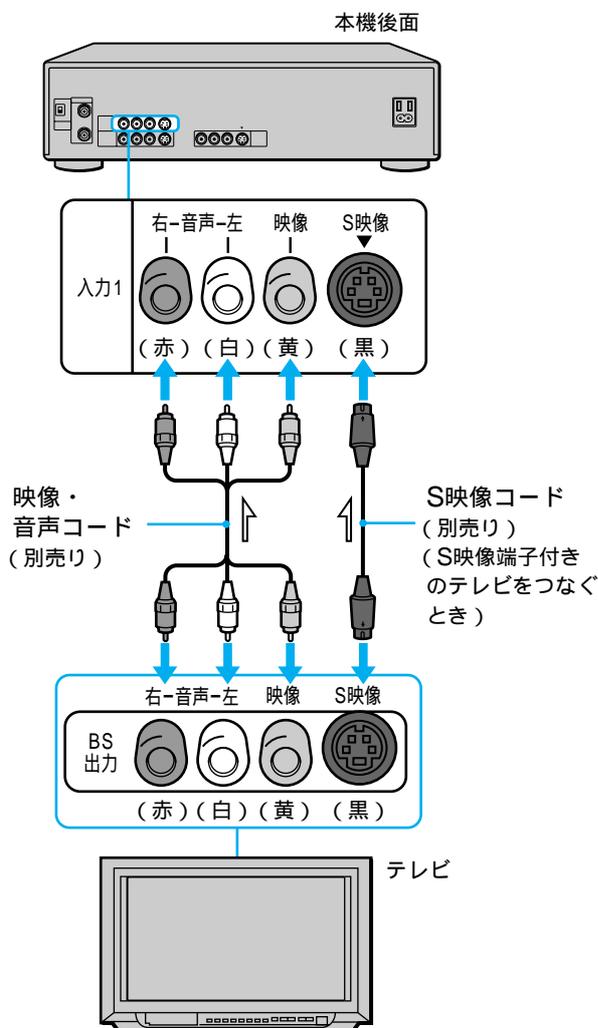
チャンネル切換スイッチで合わせたチャンネル(1または2)を、テレビのチャンネルで選べます。

ご注意

- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください(10ページ)。つながないと、ビデオを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

BSチューナー内蔵テレビなどにつなぐ

本機はBSチューナーを内蔵していませんが、BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーのBS出力端子とつなぐと、BS放送の録画や予約ができます。S映像出力端子付きのテレビとつなぐときは、S映像コードをつなぎます。



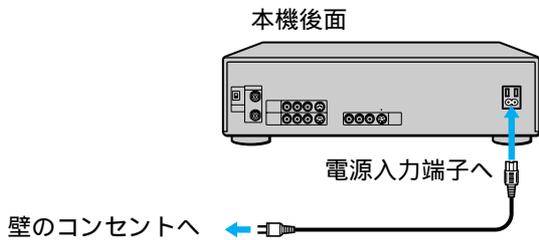
→ : 映像・音声信号の流れ

ちょっと一言

- BS出力端子のないBSチューナー内蔵テレビとつなぐときは、テレビの出力端子につなぎます。ただし、このときはBS放送の録画中にテレビの電源を切ることができません。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の入力端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にします(39ページ)。

手順4： 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

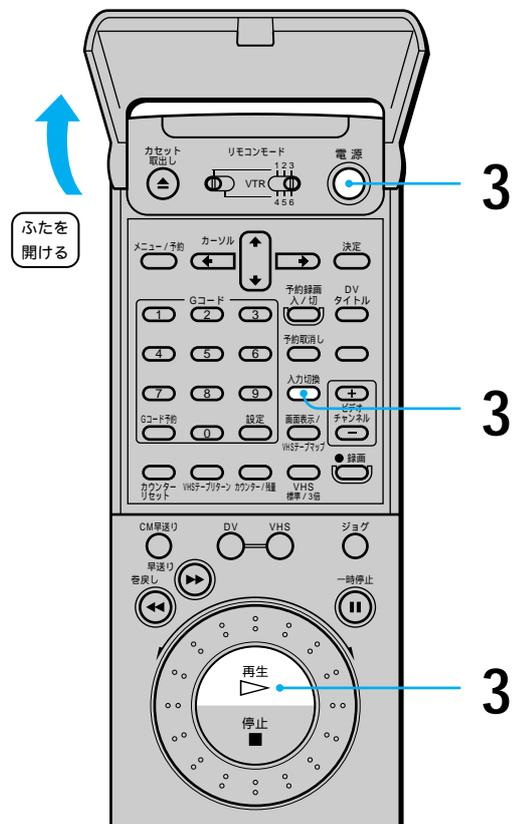


他機の電源として本機の電源コンセントを使うには

他機の電源コードを本機後面の電源コンセントにつなぎます。ただし、消費電力が200Wを超える機器はつながないでください。

手順5：接続の確認をする

ここでは、アンテナとテレビに本機が正しくつながれていることを確認します。



- 1 テレビの電源を入れる。
テレビ画面にテレビ番組が映れば、アンテナ線は正しく接続されています。
- 2 テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、テレビのチャンネルを1または2に合わせます。

3

- 録画してあるカセットがあるとき

1 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

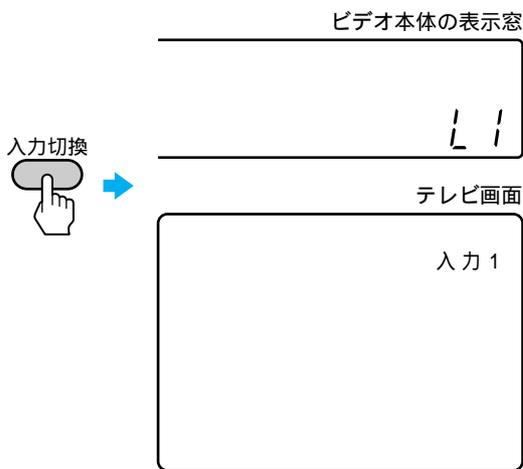
2 再生▷ボタンを押す。
テレビ画面にビデオの画像が映り、
音声聞こえれば、本機とテレビは
正しく接続されています。



- 録画してあるカセットがないとき

1 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

2 入力切換ボタンを押して、チャンネルを変える。
ビデオ本体の表示窓と、テレビ画面
に同じチャンネルが表示されれば、
本機とテレビは正しく接続されてい
ます。



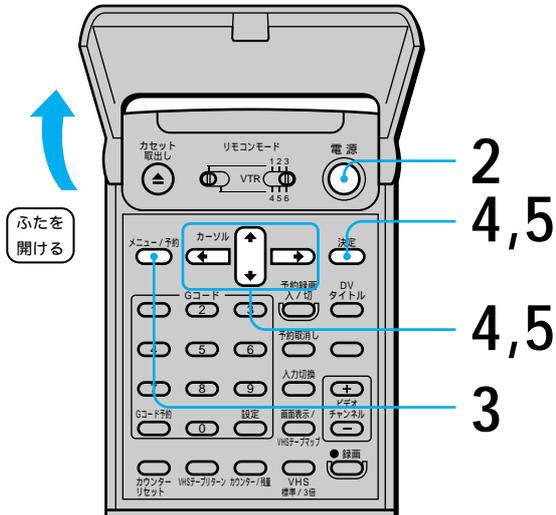
正しく接続されているときは、続いて「手順
6：チャンネルを自動で合わせる」(18
ページ)をご覧ください。

こんなときは

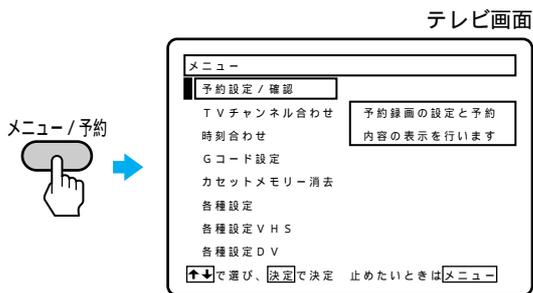
- テレビ番組が映らない。
→本機のVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線につないでください(10 ~ 13ページ)。
→本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子を、付属の同軸ケーブルにつないでください(10 ~ 13ページ)。
→アンテナ線、および付属の同軸ケーブルをしっかりとつないでください。
- 本機の電源が入らない。
→電源コードを正しくつないでください(16ページ)。
- リモコンで操作できない。
→乾電池の⊕と⊖を正しい向きに入れてください(7ページ)。
→リモコンモードを確認してください(7ページ)。
- 再生画像が映らない、または音声が聞こえない。
→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力2端子とテレビの入力端子を映像・音声コードにつないでください(14ページ)。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル(1または2)に合わせてください(15ページ)。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。
- テレビ画面にチャンネルが表示されない。
→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力2端子とテレビの入力端子を映像・音声コードにつないでください(14ページ)。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル(1または2)に合わせてください(15ページ)。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。

手順6：チャンネルを自動で合わせる(自動チャンネル合わせ)

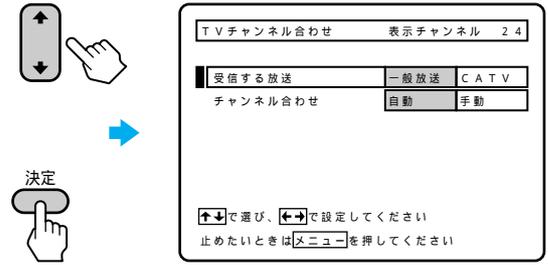
受信できるVHF放送とUHF放送を自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。



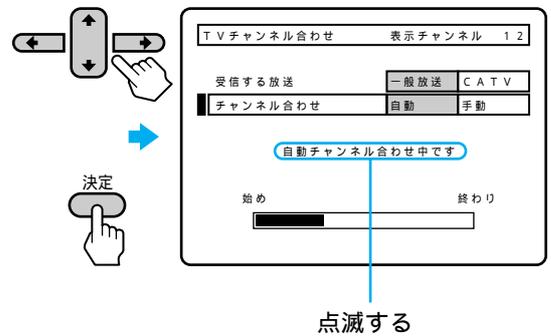
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。



- 4 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



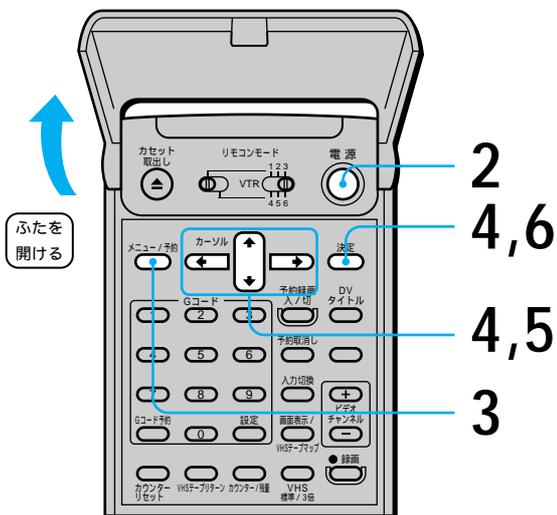
- 5 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「自動」にし、決定ボタンを押す。
自動的にチャンネル合わせを始めます。終わると、メニュー画面が消えます。



メニューで選ぶ項目を間違えたときは
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

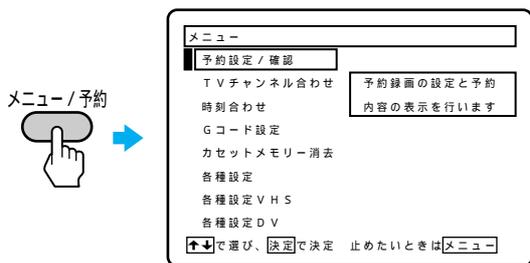
手順7： 時計を合わせる

予約するには、時計を正しく合わせておく必要があります。

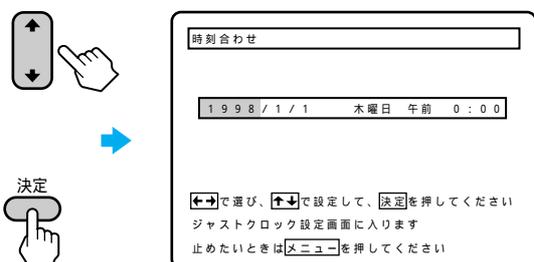


- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

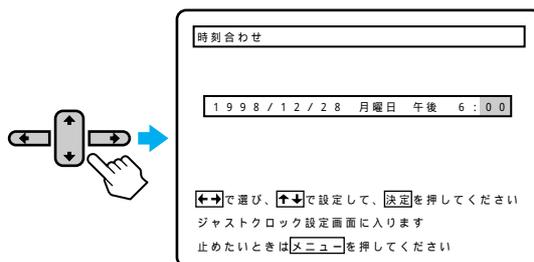
テレビ画面



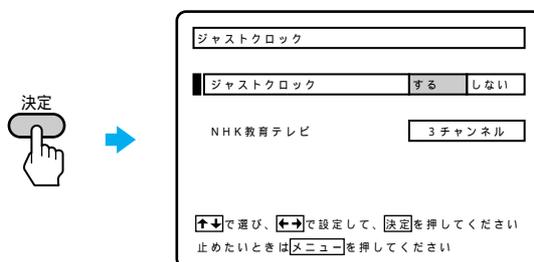
- 4 ▲/▼で「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 ◀/▶で項目を選び、▲/▼で合わせる。年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



- 6 時報と同時に決定ボタンを押す。「時計を自動補正する」(20ページ)の手順1の画面が出ます。



- 自動補正するとき
「時計を自動補正する」(20ページ)の手順1から3にしたがって設定します。
- 自動補正しないとき
◀/▶でジャストクロックの「しない」を選び、決定ボタンを押します。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

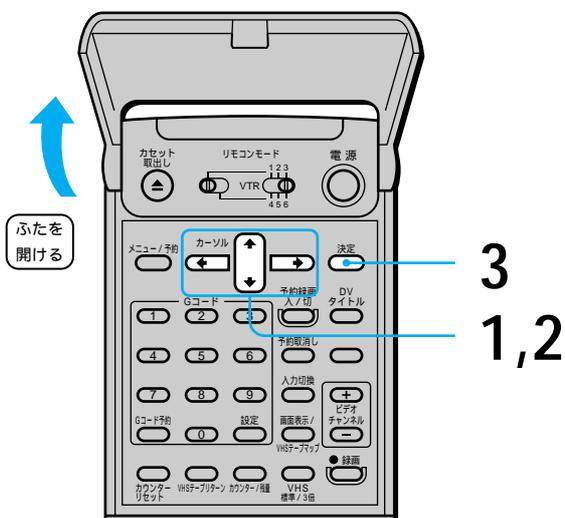
ご注意

- 年、月、日、時、分が間違っていると、希望の日時に予約録画されません。

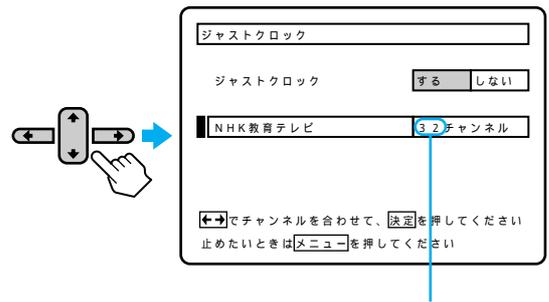
手順7：時計を合わせる(つづき)

時計を自動補正する (ジャストクロック)

NHK教育テレビの時報を7、12、19時に読みとり、本機の時計を補正します(ただし、これらの時刻に時報が送信されない場合は、自動補正されません)。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。



2 ▲/▼で「NHK教育テレビ」を選び、◀/▶でNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる。



例：「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが32チャンネルのときは、ここを「32」にする

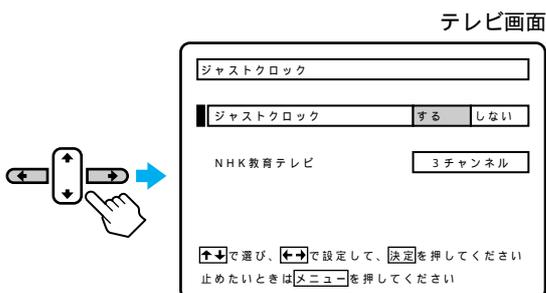
3 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

ご注意

- 時報を読みとるとき(7、12、19時) 本機の電源が入っていると自動補正できません。
- 録画中にジャストクロックの設定はできません。

「時計を合わせる」(19ページ)の手順6のあと、下の手順1の画面が出ます。「時計を合わせる」の手順をとばして下の画面を出したいときは、メニューで「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを2回押します。

1 ▲/▼でジャストクロックの「する」を選ぶ。



手順8：Gコードの設定をする

Gコードで予約するには、お住まいの地域の地域番号を入れて、Gコードの設定をする必要があります。

地域番号とは、同じ放送局でも地域によってチャンネルが異なるため、その地域でGコード予約できるチャンネルを設定するための番号です。

地域番号を選ぶ

お住まいの地域の地域番号を右の「Gコード地域番号・放送局表」から選んでください。そのあと、「地域番号を入れる」(25ページ)にしたがって、選んだ地域番号を入れてください。

選ぶ地域番号を迷ったときは

お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選びます。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

次のようなときは、「地域番号を入れる」(25ページ)で地域番号を入れたあとに、手動で変更することができます。

- 表の中の放送局以外に映る放送局がある。
「Gコード予約できる放送局を追加する」(30ページ)
- 表の中の表示チャンネルがテレビのチャンネルと違う。
「チャンネルの番号とGコードの設定を変える」(28ページ)
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどをご利用の場合で、表の中の表示チャンネルが違う。
「チャンネルの番号とGコードの設定を変える」(28ページ)

Gコード地域番号・放送局表

お住まいの地域の地域番号と、その地域番号でGコード予約できる放送局を一覧表にしています。

表の中の文字の見かた

例：ビデオを3チャンネルにすると、NHK総合(識別番号80)が映る

80	03(NHK総合)	放送局名
ガイドチャンネル	表示チャンネル	
Gコードのための	画面に映るチャンネル(一般的に「チャンネル」と呼ばれているのはこの表示チャンネルです)	

現在お住まいの地域
札幌 01
地域番号
「地域番号を入れる」の手順5(25ページ)で入れる番号

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
北海道	札幌	01	80	03(NHK総合)	90	12(NHK教育)
			01	01(北海道放送)	05	05(札幌テレビ)
			35	35(北海道テレビ)	27	27(北海道文化放送)
			17	17(テレビ北海道)		
	旭川	48	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)
			01	11(北海道放送)	05	07(札幌テレビ)
			35	39(北海道テレビ)	27	37(北海道文化放送)
北見	49	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)	
		01	53(北海道放送)	05	07(札幌テレビ)	
		35	61(北海道テレビ)	27	59(北海道文化放送)	
帯広	50	80	04(NHK総合)	90	12(NHK教育)	
		01	06(北海道放送)	05	10(札幌テレビ)	
		35	34(北海道テレビ)	27	32(北海道文化放送)	
釧路	51	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)	
		01	11(北海道放送)	05	07(札幌テレビ)	
		35	39(北海道テレビ)	27	41(北海道文化放送)	
函館	52	80	04(NHK総合)	90	10(NHK教育)	
		01	06(北海道放送)	05	12(札幌テレビ)	
		35	35(北海道テレビ)	27	27(北海道文化放送)	
室蘭	66	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)	
		01	11(北海道放送)	05	07(札幌テレビ)	
		35	39(北海道テレビ)	27	37(北海道文化放送)	
青森	02	80	03(NHK総合)	90	05(NHK教育)	
		01	01(青森放送)	38	38(青森テレビ)	
		34	34(青森朝日放送)	27	27(北海道文化放送)	
八戸	53	80	09(NHK総合)	90	07(NHK教育)	
		01	11(青森放送)	38	33(青森テレビ)	
		34	31(青森朝日放送)	33	29(岩手めんこいテレビ)	
岩手	盛岡	03	80	04(NHK総合)	90	08(NHK教育)
			06	06(岩手放送)	35	35(テレビ岩手)
			33	33(岩手めんこいテレビ)	01	01(東北放送)
宮城	仙台	04	80	03(NHK総合)	90	05(NHK教育)
			01	01(東北放送)	12	12(仙台放送)
			34	34(宮城テレビ)	32	32(東日本放送)
秋田	秋田	05	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)
			11	11(秋田放送)	37	37(秋田テレビ)
			31	31(秋田朝日放送)	34	34(青森朝日放送)
大館	54	80	04(NHK総合)	90	08(NHK教育)	
		11	06(秋田放送)	37	57(秋田テレビ)	
		31	59(秋田朝日放送)	38	38(青森テレビ)	
山形	山形	06	80	08(NHK総合)	90	04(NHK教育)
			10	10(山形放送)	38	38(山形テレビ)
			36	36(テレビユー山形)	30	30(さくらんぼテレビ)
鶴岡	55	80	03(NHK総合)	90	06(NHK教育)	
		10	01(山形放送)	38	39(山形テレビ)	
		36	22(テレビユー山形)	30	24(さくらんぼテレビ)	

手順8：Gコードの設定をする (つづき)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
福島	福島	07	80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)
			11	11(福島テレビ)	33	33(福島中央テレビ)
			35	35(福島放送)	31	31(テレビユー福島)
会津若松	56	01	01(東北放送)	34	34(宮城テレビ)	
		34	34(宮城テレビ)	12	12(仙台放送)	
		32	32(東日本放送)			
いわき	57	80	04(NHK総合)	90	10(NHK教育)	
		11	08(福島テレビ)	33	58(福島中央テレビ)	
		35	60(福島放送)	31	62(テレビユー福島)	
茨城	水戸	08	04	42(日本テレビ)	06	40(東京放送)
			08	38(フジテレビ)	10	36(テレビ朝日)
			12	32(テレビ東京)	16	16(放送大学)
日立	67	80	52(NHK総合)	90	50(NHK教育)	
		04	54(日本テレビ)	06	56(東京放送)	
		08	58(フジテレビ)	10	60(テレビ朝日)	
栃木	宇都宮	09	80	29(NHK総合)	90	27(NHK教育)
			04	25(日本テレビ)	06	23(東京放送)
			08	21(フジテレビ)	10	19(テレビ朝日)
矢板	68	12	17(テレビ東京)	48	48(群馬テレビ)	
		16	16(放送大学)	38	38(テレビ埼玉)	
		80	51(NHK総合)	90	49(NHK教育)	
群馬	前橋	10	04	54(日本テレビ)	06	56(東京放送)
			08	58(フジテレビ)	10	60(テレビ朝日)
			12	62(テレビ東京)	48	48(群馬テレビ)
埼玉	浦和	11	38	38(テレビ埼玉)	16	40(放送大学)
			80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)
			04	04(日本テレビ)	06	06(東京放送)
児玉	69	08	08(フジテレビ)	10	10(テレビ朝日)	
		12	12(テレビ東京)	38	38(テレビ埼玉)	
		46	46(千葉テレビ)	48	48(群馬テレビ)	
千葉	千葉	12	16	16(放送大学)		
			80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)
			04	04(日本テレビ)	06	06(東京放送)
東京	東京	13	08	08(フジテレビ)	10	10(テレビ朝日)
			12	12(テレビ東京)	46	46(千葉テレビ)
			42	42(テレビ神奈川)	38	38(テレビ埼玉)
八王子	70	14	14(メトロポリタンテレビ)	16	16(放送大学)	
		80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)	
		04	04(日本テレビ)	06	06(東京放送)	
多摩	71	08	57(フジテレビ)	10	59(テレビ朝日)	
		12	61(テレビ東京)	46	46(千葉テレビ)	
		42	42(テレビ神奈川)	38	38(テレビ埼玉)	
			14	28(メトロポリタンテレビ)	16	16(放送大学)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
神奈川	横浜	14	80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)
			04	04(日本テレビ)	06	06(東京放送)
			08	08(フジテレビ)	10	10(テレビ朝日)
平塚	72	12	12(テレビ東京)	42	42(テレビ神奈川)	
		46	46(千葉テレビ)	38	38(テレビ埼玉)	
		14	14(メトロポリタンテレビ)	16	16(放送大学)	
小田原	73	80	33(NHK総合)	90	29(NHK教育)	
		04	35(日本テレビ)	06	37(東京放送)	
		08	39(フジテレビ)	10	41(テレビ朝日)	
新潟	新潟	15	12	43(テレビ東京)	42	31(テレビ神奈川)
			16	16(放送大学)		
			80	08(NHK総合)	90	12(NHK教育)
山梨	甲府	19	05	05(新潟放送)	35	35(新潟総合テレビ)
			29	29(テレビ新潟)	21	21(新潟テレビ21)
			80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)
長野	長野	20	05	05(山梨放送)	37	37(テレビ山梨)
			04	04(日本テレビ)	08	08(フジテレビ)
			10	10(テレビ朝日)	12	12(テレビ東京)
飯田	58	06	06(東京放送)	11	11(信越放送)	
		31	31(静岡第一テレビ)	35	35(テレビ静岡)	
		33	33(静岡朝日テレビ)			
長野	飯田	58	80	02(NHK総合)	90	09(NHK教育)
			11	11(信越放送)	38	38(長野放送)
			30	30(テレビ信州)	20	20(長野朝日放送)
松本	74	05	05(中部日本放送)	01	01(東海テレビ)	
		35	35(中京テレビ)			
		80	04(NHK総合)	90	03(NHK教育)	
善光寺	75	11	06(信越放送)	38	40(長野放送)	
		30	42(テレビ信州)	20	44(長野朝日放送)	
		05	05(中部日本放送)	01	01(東海テレビ)	
富山	富山	16	35	35(中京テレビ)		
			80	03(NHK総合)	90	10(NHK教育)
			01	01(北日本放送)	34	34(富山テレビ)
石川	金沢	17	32	32(チューリップテレビ)	25	25(北陸朝日放送)
			06	06(北陸放送)	37	37(石川テレビ)
			80	04(NHK総合)	90	08(NHK教育)
福井	福井	18	06	06(北陸放送)	37	37(石川テレビ)
			33	33(テレビ金沢)	25	25(北陸朝日放送)
			34	34(近畿放送)		
岐阜	岐阜	21	80	09(NHK総合)	90	03(NHK教育)
			11	11(福井放送)	39	39(福井テレビ)
			06	06(北陸放送)	37	37(石川テレビ)
長良	76	33	33(静岡朝日テレビ)	25	25(北陸朝日放送)	
		34	34(近畿放送)			
		80	39(NHK総合)	90	09(NHK教育)	
静岡	静岡	22	05	05(中部日本放送)	01	01(東海テレビ)
			11	11(名古屋テレビ放送)	35	35(中京テレビ)
			37	37(岐阜放送)	25	25(テレビ愛知)
浜松	59	33	33(静岡朝日テレビ)	25	25(テレビ愛知)	
		05	05(中部日本放送)			
		80	53(NHK総合)	90	49(NHK教育)	
富士宮	77	05	55(中部日本放送)	01	01(東海テレビ)	
		11	59(名古屋テレビ放送)	35	47(中京テレビ)	
		37	61(岐阜放送)	25	25(テレビ愛知)	
三島	78	33	33(静岡朝日テレビ)	25	25(テレビ愛知)	
		80	09(NHK総合)	90	02(NHK教育)	
		11	11(静岡放送)	35	35(テレビ静岡)	
島田	79	33	33(静岡朝日テレビ)	31	31(静岡第一テレビ)	
		80	04(NHK総合)	90	08(NHK教育)	
		11	06(静岡放送)	35	34(テレビ静岡)	
			33	28(静岡朝日テレビ)	31	30(静岡第一テレビ)
			25	25(テレビ愛知)	01	01(東海テレビ)
			05	05(中部日本放送)		
			80	52(NHK総合)	90	54(NHK教育)
			11	41(静岡放送)	35	39(テレビ静岡)
			33	29(静岡朝日テレビ)	31	27(静岡第一テレビ)
			80	53(NHK総合)	90	51(NHK教育)
			11	55(静岡放送)	35	59(テレビ静岡)
			33	57(静岡朝日テレビ)	31	61(静岡第一テレビ)
			80	01(NHK総合)	90	03(NHK教育)
			11	05(静岡放送)	35	58(テレビ静岡)
			33	50(静岡朝日テレビ)	31	48(静岡第一テレビ)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
愛知	名古屋	23	80 03(NHK総合)	90 09(NHK教育)	05 05(中部日本放送)	01 01(東海テレビ)
			11 11(名古屋テレビ放送)	35 35(中京テレビ)	25 25(テレビ愛知)	33 33(三重テレビ)
			37 37(岐阜放送)			
	豊橋	80	80 54(NHK総合)	90 50(NHK教育)	05 62(中部日本放送)	01 56(東海テレビ)
			11 60(名古屋テレビ放送)	35 58(中京テレビ)	25 52(テレビ愛知)	
	豊田	81	80 53(NHK総合)	90 51(NHK教育)	05 55(中部日本放送)	01 57(東海テレビ)
			11 61(名古屋テレビ放送)	35 59(中京テレビ)	25 49(テレビ愛知)	
三重	津	24	80 31(NHK総合)	90 09(NHK教育)	05 05(中部日本放送)	01 01(東海テレビ)
			11 11(名古屋テレビ放送)	35 35(中京テレビ)	33 33(三重テレビ)	25 25(テレビ愛知)
	伊勢	82	80 53(NHK総合)	90 49(NHK教育)	05 55(中部日本放送)	01 57(東海テレビ)
			11 61(名古屋テレビ放送)	35 47(中京テレビ)	33 59(三重テレビ)	25 25(テレビ愛知)
			30 30(テレビ和歌山)			
滋賀	大津	25	80 28(NHK総合)	90 46(NHK教育)	04 36(毎日放送)	06 38(朝日放送)
			08 40(関西テレビ)	10 42(読売テレビ)	30 30(びわ湖放送)	34 34(近畿放送)
	彦根	83	80 52(NHK総合)	90 50(NHK教育)	04 54(毎日放送)	06 58(朝日放送)
			08 60(関西テレビ)	10 62(読売テレビ)	30 56(びわ湖放送)	
京都	京都	26	80 32(NHK総合)	90 12(NHK教育)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)
			08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	34 34(近畿放送)	19 19(テレビ大阪)
	山科	84	80 52(NHK総合)	90 50(NHK教育)	04 54(毎日放送)	06 56(朝日放送)
			08 58(関西テレビ)	10 60(読売テレビ)	19 19(テレビ大阪)	34 62(近畿放送)
大阪	大阪	27	80 02(NHK総合)	90 12(NHK教育)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)
			08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	19 19(テレビ大阪)	34 34(近畿放送)
兵庫	神戸	28	80 28(NHK総合)	90 26(NHK教育)	04 18(毎日放送)	06 20(朝日放送)
			08 22(関西テレビ)	10 24(読売テレビ)	36 36(サンテレビ)	19 19(テレビ大阪)
	姫路	85	80 50(NHK総合)	90 52(NHK教育)	04 54(毎日放送)	06 58(朝日放送)
			08 60(関西テレビ)	10 62(読売テレビ)	36 56(サンテレビ)	19 19(テレビ大阪)
	北淡垂水	86	80 51(NHK総合)	90 49(NHK教育)	04 53(毎日放送)	06 57(朝日放送)
			08 59(関西テレビ)	10 61(読売テレビ)	36 55(サンテレビ)	19 19(テレビ大阪)
	三木	87	80 44(NHK総合)	90 46(NHK教育)	04 34(毎日放送)	06 38(朝日放送)
			08 40(関西テレビ)	10 42(読売テレビ)	19 19(テレビ大阪)	36 55(サンテレビ)
	長田	88	80 44(NHK総合)	90 46(NHK教育)	04 38(毎日放送)	06 40(朝日放送)
			08 42(関西テレビ)	10 48(読売テレビ)	36 34(サンテレビ)	19 19(テレビ大阪)
	神戸灘	89	80 52(NHK総合)	90 50(NHK教育)	04 54(毎日放送)	06 56(朝日放送)
			08 58(関西テレビ)	10 60(読売テレビ)	36 62(サンテレビ)	19 19(テレビ大阪)
奈良	奈良	29	80 51(NHK総合)	90 48(NHK教育)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)
			08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	55 55(奈良テレビ)	36 36(サンテレビ)
	生駒奈良北	90	80 24(NHK総合)	90 22(NHK教育)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)
			08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	55 26(奈良テレビ)	19 19(テレビ大阪)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
和歌山	和歌山	30	80 32(NHK総合)	90 26(NHK教育)	04 42(毎日放送)	06 44(朝日放送)
			08 46(関西テレビ)	10 48(読売テレビ)	30 30(テレビ和歌山)	36 36(サンテレビ)
	海南	91	80 50(NHK総合)	90 52(NHK教育)	04 54(毎日放送)	06 58(朝日放送)
			08 60(関西テレビ)	10 62(読売テレビ)	30 56(テレビ和歌山)	
鳥取	鳥取	31	80 03(NHK総合)	90 04(NHK教育)	01 01(日本海テレビ)	10 22(山陰放送)
鳥根	松江	32	80 06(NHK総合)	90 12(NHK教育)	10 10(山陰放送)	34 34(山陰中央テレビ)
			01 30(日本海テレビ)			
	浜田	61	80 02(NHK総合)	90 09(NHK教育)	10 05(山陰放送)	34 58(山陰中央テレビ)
			01 54(日本海テレビ)			
岡山	岡山	33	80 05(NHK総合)	90 03(NHK教育)	11 11(山陽放送)	35 35(岡山放送)
			23 23(テレビせとうち)	09 09(西日本放送)	33 25(瀬戸内海放送)	
広島	広島	34	80 03(NHK総合)	90 07(NHK教育)	04 04(中国放送)	12 12(広島テレビ)
			35 35(広島ホームテレビ)	31 31(テレビ新広島)	10 10(南海放送)	29 29(伊予テレビ)
	福山	60	80 05(NHK総合)	90 03(NHK教育)	04 07(中国放送)	12 11(広島テレビ)
			35 57(広島ホームテレビ)	31 54(テレビ新広島)	09 09(西日本放送)	10 10(南海放送)
			29 29(伊予テレビ)	37 37(愛媛放送)		
山口	山口	35	80 09(NHK総合)	90 01(NHK教育)	11 11(山口放送)	38 38(テレビ山口)
			28 28(山口朝日放送)	09 10(テレビ西日本)	19 23(TXN九州)	04 08(RKB毎日放送)
	下関	92	80 39(NHK総合)	90 41(NHK教育)	11 04(山口放送)	38 33(テレビ山口)
			28 21(山口朝日放送)	09 10(テレビ西日本)	19 23(TXN九州)	04 08(RKB毎日放送)
			37 35(福岡放送)	01 02(九州朝日放送)		
徳島	徳島	36	80 03(NHK総合)	90 38(NHK教育)	01 01(四国テレビ)	04 04(毎日放送)
			06 06(朝日放送)	08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	36 36(サンテレビ)
	高松	37	80 37(NHK総合)	90 39(NHK教育)	33 33(瀬戸内海放送)	09 41(西日本放送)
			11 29(山陽放送)	35 31(岡山放送)	23 19(テレビせとうち)	04 04(毎日放送)
			06 06(朝日放送)	08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	
	西讃岐	93	80 44(NHK総合)	90 40(NHK教育)	33 42(瀬戸内海放送)	09 20(西日本放送)
			11 18(山陽放送)	35 22(岡山放送)	23 16(テレビせとうち)	12 12(広島テレビ)
愛媛	松山	38	80 06(NHK総合)	90 02(NHK教育)	10 10(南海放送)	37 37(愛媛放送)
			29 29(伊予テレビ)	35 35(広島ホームテレビ)	25 25(愛媛朝日テレビ)	31 31(テレビ新広島)
	新居浜	62	80 02(NHK総合)	90 04(NHK教育)	10 06(南海放送)	37 36(愛媛放送)
			29 27(伊予テレビ)	35 35(広島ホームテレビ)	25 14(愛媛朝日テレビ)	31 31(テレビ新広島)
			12 12(広島テレビ)			
高知	高知	39	80 04(NHK総合)	90 06(NHK教育)	08 08(高知放送)	38 38(テレビ高知)
			01 01(四国テレビ)	09 41(西日本放送)	40 40(高知さんさんテレビ)	

手順8：Gコードの設定をする (つづき)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
福岡	福岡	40	80 03(NHK総合)	90 06(NHK教育)
			04 04(RKB毎日放送)	01 01(九州朝日放送)
	北九州	63	09 09(テレビ西日本)	37 37(福岡放送)
			19 19(TXN九州)	36 36(サガテレビ)
			80 06(NHK総合)	90 12(NHK教育)
久留米	94	04 08(RKB毎日放送)	01 02(九州朝日放送)	
		09 10(テレビ西日本)	37 35(福岡放送)	
		19 23(TXN九州)	28 21(山口朝日放送)	
		11 04(山口放送)	38 33(テレビ山口)	
大牟田	95	80 46(NHK総合)	90 54(NHK教育)	
		04 48(RKB毎日放送)	01 57(九州朝日放送)	
		09 60(テレビ西日本)	37 52(福岡放送)	
		19 14(TXN九州)	36 36(サガテレビ)	
		80 53(NHK総合)	90 50(NHK教育)	
行橋	96	04 61(RKB毎日放送)	01 58(九州朝日放送)	
		09 55(テレビ西日本)	37 43(福岡放送)	
		19 19(TXN九州)	11 11(熊本放送)	
		22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	
		34 34(テレビ熊本)		
佐賀	41	80 49(NHK総合)	90 46(NHK教育)	
		04 60(RKB毎日放送)	01 57(九州朝日放送)	
		09 54(テレビ西日本)	37 43(福岡放送)	
		19 19(TXN九州)	36 37(テレビ大分)	
		05 51(大分放送)		
長崎	42	80 38(NHK総合)	90 40(NHK教育)	
		36 36(サガテレビ)	11 11(熊本放送)	
		09 60(テレビ西日本)	37 52(福岡放送)	
		19 14(TXN九州)	04 48(RKB毎日放送)	
		01 57(九州朝日放送)		
佐世保	97	80 03(NHK総合)	90 01(NHK教育)	
		05 05(長崎放送)	37 37(テレビ長崎)	
		27 27(長崎文化放送)	25 25(長崎国際テレビ)	
		19 19(TXN九州)	34 34(テレビ熊本)	
		22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	
諫早	98	11 11(熊本放送)		
		80 08(NHK総合)	90 02(NHK教育)	
		05 10(長崎放送)	37 35(テレビ長崎)	
		27 31(長崎文化放送)	25 17(長崎国際テレビ)	
		36 41(サガテレビ)		
熊本	43	80 47(NHK総合)	90 45(NHK教育)	
		05 49(長崎放送)	37 42(テレビ長崎)	
		27 24(長崎文化放送)	25 20(長崎国際テレビ)	
		22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	
		34 34(テレビ熊本)	11 11(熊本放送)	
大分	44	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	
		11 11(熊本放送)	34 34(テレビ熊本)	
		22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	
		19 19(TXN九州)	01 01(九州朝日放送)	
		04 04(RKB毎日放送)	05 05(長崎放送)	
宮崎	45	37 37(福岡放送)	36 36(サガテレビ)	
		80 03(NHK総合)	90 12(NHK教育)	
		05 05(大分放送)	36 36(テレビ大分)	
		24 24(大分朝日放送)	19 19(TXN九州)	
		10 06(宮崎放送)		
延岡	64	80 08(NHK総合)	90 12(NHK教育)	
		10 10(宮崎放送)	35 35(テレビ宮崎)	
鹿児島	46	32 48(鹿児島放送)	30 42(鹿児島読売テレビ)	
		38 52(鹿児島テレビ)	01 62(南日本放送)	
		80 03(NHK総合)	90 05(NHK教育)	
		01 01(南日本放送)	38 38(鹿児島テレビ)	
		32 32(鹿児島放送)	30 30(鹿児島読売テレビ)	
阿久根	65	22 40(熊本県民テレビ)	16 36(熊本朝日放送)	
		34 42(テレビ熊本)		
		80 08(NHK総合)	90 12(NHK教育)	
		01 10(南日本放送)	38 35(鹿児島テレビ)	
		32 23(鹿児島放送)	30 17(鹿児島読売テレビ)	
鹿屋	99	22 36(熊本県民テレビ)	16 32(熊本朝日放送)	
		11 06(熊本放送)	34 38(テレビ熊本)	
		80 04(NHK総合)	90 02(NHK教育)	
沖縄	47	01 06(南日本放送)	38 33(鹿児島テレビ)	
		32 31(鹿児島放送)	30 25(鹿児島読売テレビ)	
		10 10(宮崎放送)	35 39(テレビ宮崎)	
		80 02(NHK総合)	90 12(NHK教育)	
			10 10(琉球放送)	08 08(沖縄テレビ)
			28 28(琉球朝日放送)	

BS放送およびCATVのガイドチャンネル表

次の場合には、BS放送やCATVをGコード予約できません。

- 本機の入力端子にBSチューナー内蔵テレビなどをつないだ場合
「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」( 32ページ)にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどで、BS放送を本機でご覧になれる場合
「Gコード予約できる放送局を追加する」( 30ページ)にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。

ガイドチャンネル

以下の表にしたがって入れます。

放送の種類	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネル	
BS	74(NHK衛星第1)	75(ハイビジョン)
	76(NHK衛星第2)	73(WOWOW)
ケーブルネットワーク	40(NNN24)	49(CSN1ムービーチャンネル)
	50(チャンネルNECO)	51(ゴルフネットワーク)

表示チャンネル

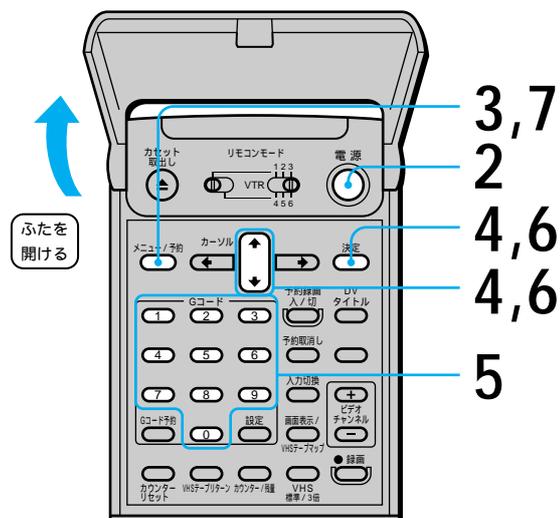
チャンネル合わせで設定したチャンネル(画面に映るチャンネル)の番号を入れます。

ご注意

- デジタルCS放送(スカイパーフェクTVなど)はGコード予約できません。

地域番号を入れる

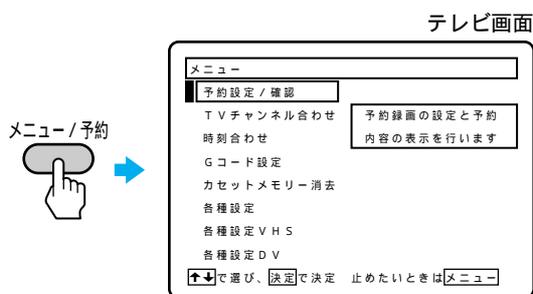
「Gコード地域番号・放送局表」(21ページ)の中から選んだ地域番号を入れます。



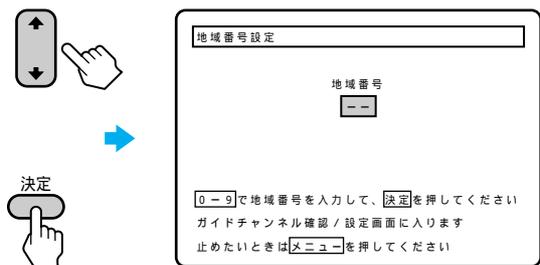
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

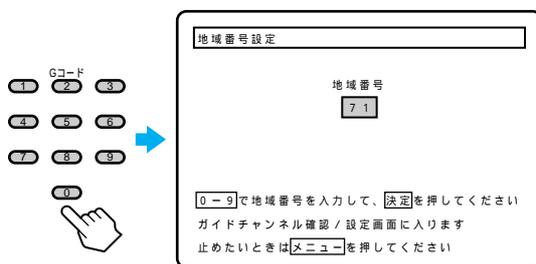


4 ↑/↓で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。

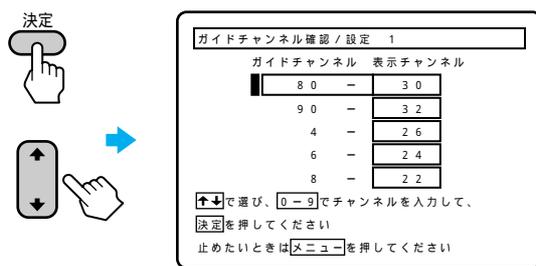


5 「Gコード地域番号・放送局表」(21ページ)から選んだ地域番号を、数字ボタンで入れる。

間違えたときは、正しい番号を続けて入れます。1桁の番号(08など)は0も押します。



6 決定ボタンを押す。
 手順5で選んだ地域番号で受信できるチャンネルが表示されます。受信できるチャンネルをすべて確認するには、↓または決定ボタンを繰り返し押します。一番下の行で↓または決定ボタンを押すと、次のページに行きます。

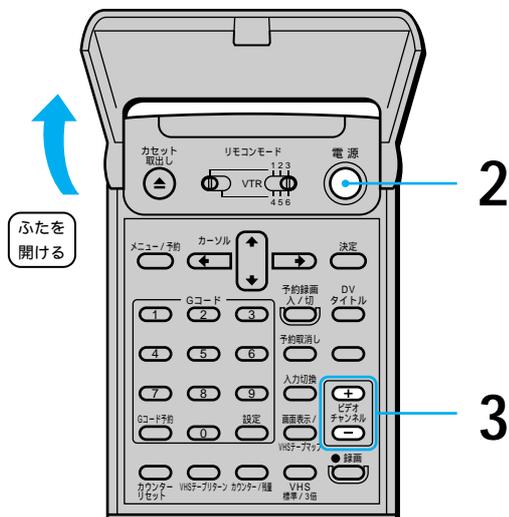


7 確認したら、メニュー/予約ボタンを押す。
 メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときはメニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

手順9：チャンネルとGコードの設定の確認をする

ここでは、録画や予約に必要な、チャンネル合わせとGコードの設定の確認をします。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 テレビに番組が映るまで、ビデオチャンネル +/- ボタンを押す。
ビデオ本体の表示窓にチャンネル表示が出ます。



4 チャンネル表示の番号と、テレビに映る番組の放送局名を次ページの表に書き出す。

例：30チャンネルにNHKが映っているとき

表示窓のチャンネル番号	テレビに映る番組の放送局名
30	NHK総合

5 手順3と4を繰り返して、すべてのチャンネル表示の番号と、放送局名を書き出す。

6 手順5で書き出した表と、「Gコード地域番号・放送局表」(21~24ページ)の「地域番号を入れる」(25ページ)で選んだ地域番号の欄とをくらべる。
チャンネルの番号と、放送局名の組み合わせを確認します。

Gコード地域番号・放送局表

地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
多摩	71	80	30(NHK総合)	90	32(NHK教育)
		04	26(日本テレビ)	06	24(東京放送)
		08	22(フジテレビ)	10	20(テレビ朝日)
		12	18(テレビ東京)	46	46(千葉テレビ)
		42	42(テレビ神奈川)	38	38(テレビ埼玉)
		14	28(メトロポリタンテレビ)	16	16(放送大学)

書き出した表

表示窓のチャンネル番号	テレビに映る番組の放送局名
30	NHK総合
32	NHK教育
26	日本テレビ
24	東京放送
22	フジテレビ
20	テレビ朝日
18	テレビ東京
46	千葉テレビ
42	テレビ神奈川
38	テレビ埼玉
28	メトロポリタンテレビ
16	放送大学

書き出した表のチャンネルの番号と、放送局名の組み合わせが合っていれば、確認は終了です。正しく設定されています。

チャンネルの番号とGコードの設定を変える

「手順6：チャンネルを自動で合わせる」(18 ページ)でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルはご覧になります。ただしチャンネルを自動で合わせるときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。

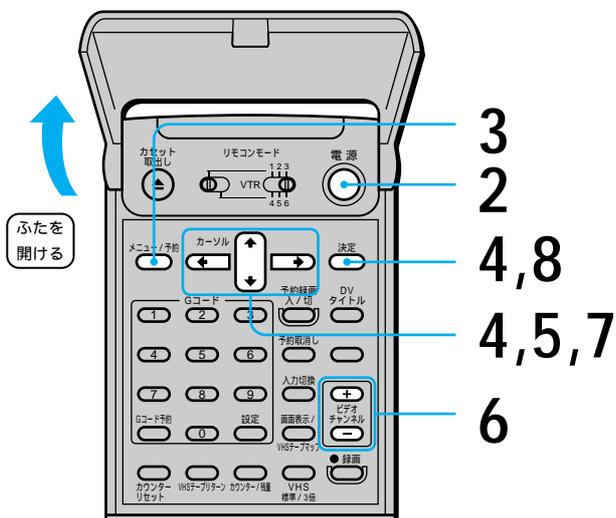
例：テレビではNHK教育テレビが3チャンネルなのに、ビデオでは32チャンネルになった
このようなときは、手動でテレビと同じチャンネルに変えることができます。

チャンネルの番号を変えるには、次の2つの手順を行います。チャンネルとGコードの設定を同じ番号に合わせないと、Gコード予約で正しく録画されません。

手順①：チャンネルの番号を変える
(28ページ)

手順②：Gコードの設定を変える(29ページ)

手順①：チャンネルの番号を変える

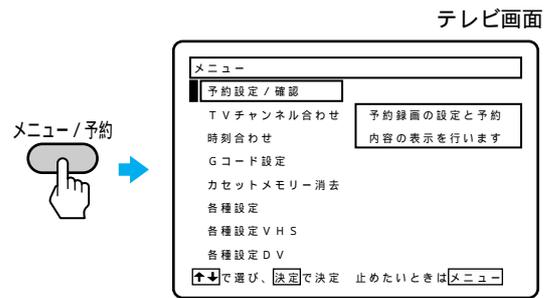


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

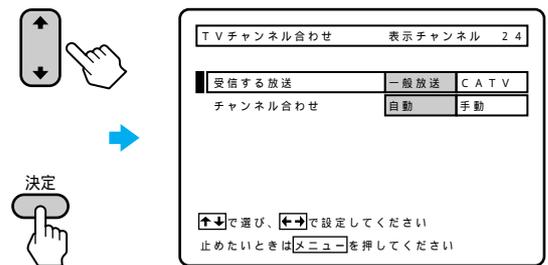
3

メニュー/予約ボタンを押す。



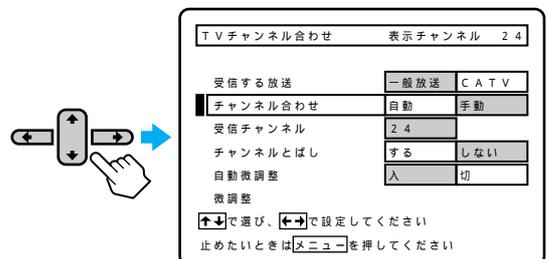
4

↑/↓で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



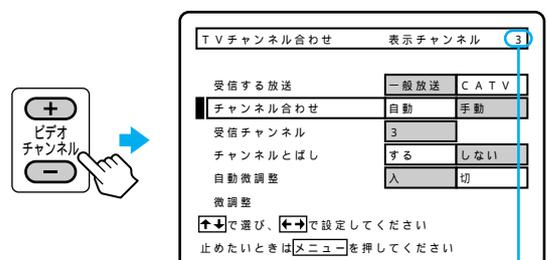
5

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。



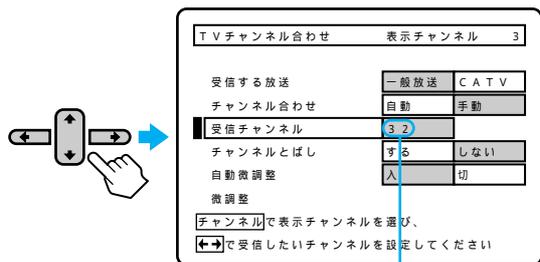
6

ビデオチャンネル +/- ボタンで「表示チャンネル」を変える。



例：32チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「3」にする

7 ▲/▼で「受信チャンネル」を選び、◀/▶で変える。

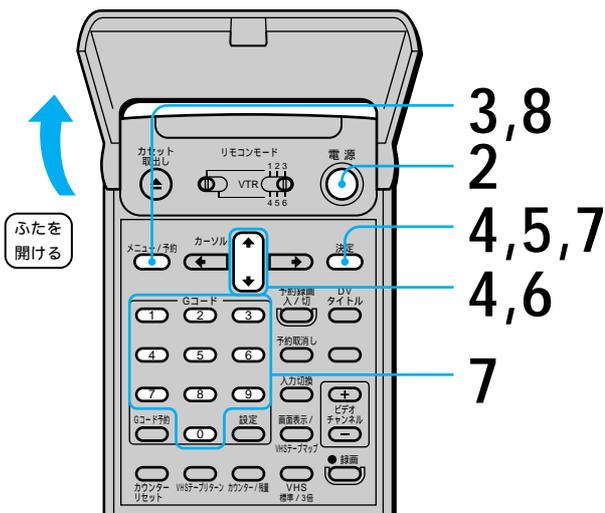


例：32チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「32」にする

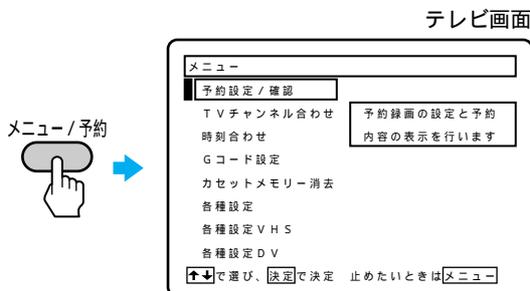
8 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。
ただし、このままでは元のチャンネルも映ります。
例：NHK教育テレビが3チャンネルと32チャンネルの両方で映る
32チャンネルで映らないようにするには、次の「手順②：Gコードの設定を変える」を行ったあと、「放送のないチャンネルをとばす」(32ページ)をご覧ください。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

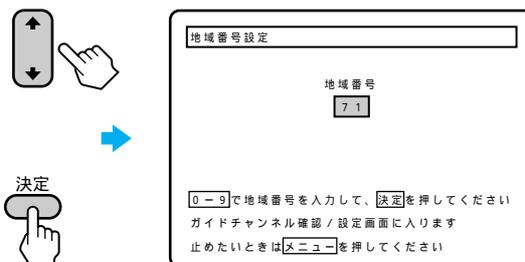
手順②：Gコードの設定を変える



- 1** テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2** 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3** メニュー/予約ボタンを押す。

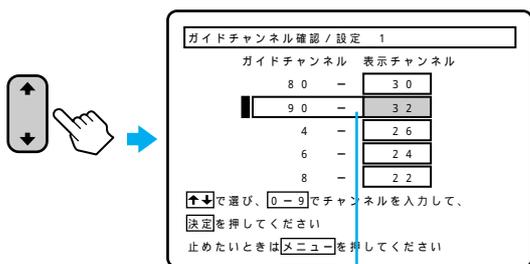


4 ▲/▼で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。



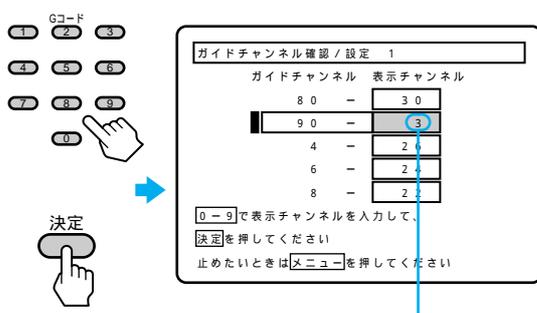
チャンネルの番号とGコードの設定 を変える(つづき)

- 5** もう1度決定ボタンを押す。
- 6** ▼を繰り返し押し、合わせるチャンネルの行を選ぶ。
行きすぎたときは、▲を押します。



例：32チャンネルを3チャンネルに変えたときは、この行を選ぶ

- 7** 数字ボタンで変えたチャンネルを入れて、決定ボタンを押す。
間違えたときは正しいチャンネルを続けて入れるか、決定ボタンを押さずに、▼を押してから入れ直します。



例：32チャンネルを3チャンネルに変えたときは、ここを「3」にする

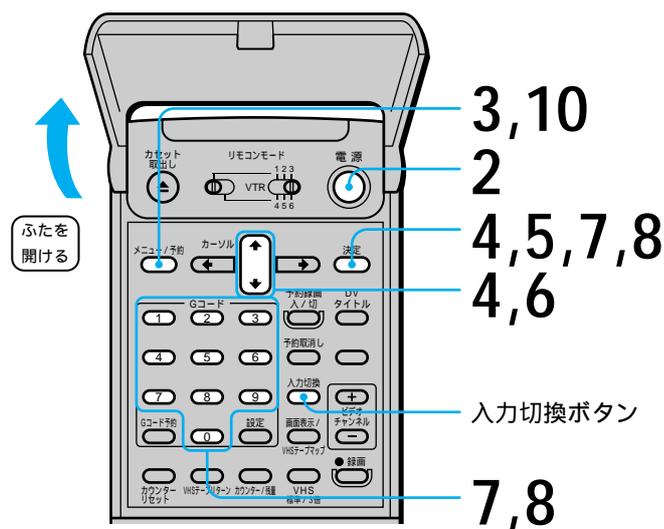
- 8** 終わったらメニュー/予約ボタンを押す。
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

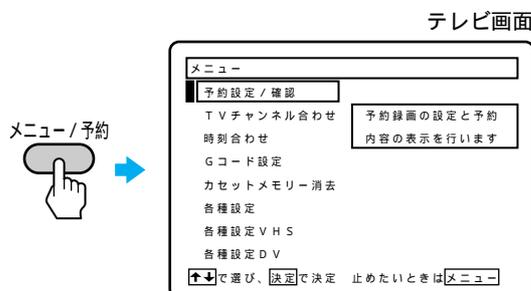
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

Gコード予約できる 放送局を追加する

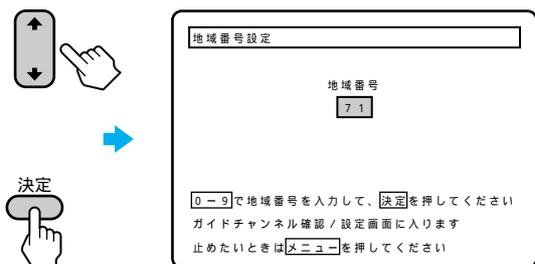
「手順8：Gコードの設定をする」(21ページ)で設定した地域番号に含まれる放送局の他にご覧になれる放送局があるときは、Gコード予約できるように追加します。追加する放送局のガイドチャンネルは「Gコード地域番号・放送局表」(21ページ)でご確認ください。



- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

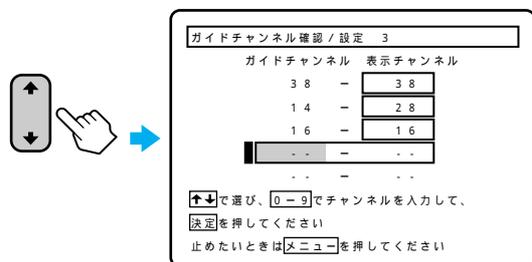


4 ▲/▼で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。

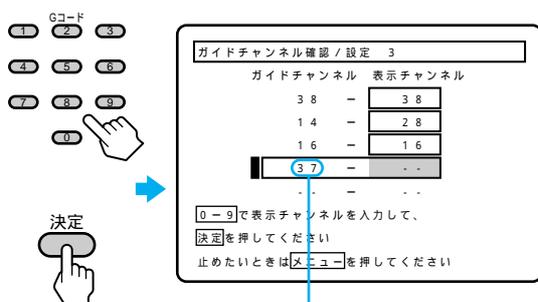


5 もう1度決定ボタンを押す。

6 ▼を繰り返し押し、ガイドチャンネルが「--」になっている行を選ぶ。

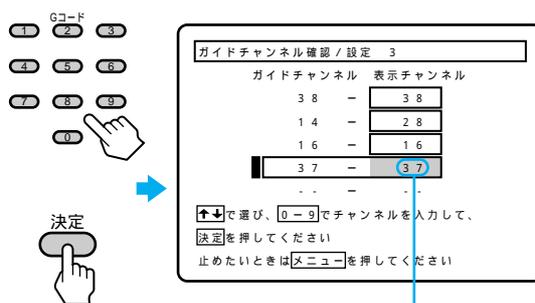


7 数字ボタンで追加する放送局のガイドチャンネルを入れ、決定ボタンを押す。



例：多摩にお住まいの方が、テレビ山梨(ガイドチャンネル：37、表示チャンネル：37)を追加するときは、ここに「37」を入れる

8 数字ボタンで追加する放送局の表示チャンネルを入れ、決定ボタンを押す。



例：多摩にお住まいの方が、テレビ山梨(ガイドチャンネル：37、表示チャンネル：37)を追加するときは、ここに「37」を入れる

9 他の放送局も追加するときは、手順6から8を繰り返す。

10 終わったらメニュー/予約ボタンを押す。メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

追加した放送局を変えるには

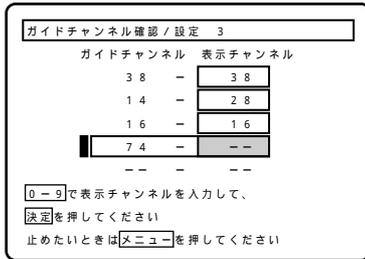
追加した放送局の代わりに、別の放送局を入れます。

また、すべて消して最初からやり直すこともできます。「手順8：Gコードの設定をする」(21ページ)にしたがって、現在設定している地域番号以外の番号を入れたあと、もう一度現在設定している地域番号を入れます。これで放送局を追加する前の状態に戻ります。

Gコード予約できる放送局を追加する(つづき)

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

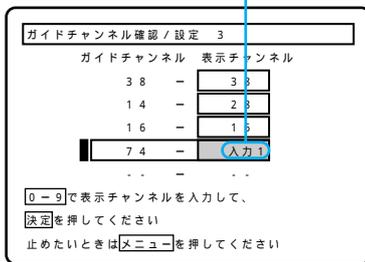
- 手順7でGコード予約したい放送のガイドチャンネルを「BS放送およびCATVのガイドチャンネル表」(24ページ)から選んで入れる。



- 手順8で入力切換ボタンを押して、「入力1」または「入力2」を表示チャンネルに出し、決定ボタンを押す。

「入力1」または「入力2」を入れた放送局は、本機の入力端子につないだ機器から録画されます。

「入力1」または「入力2」にする

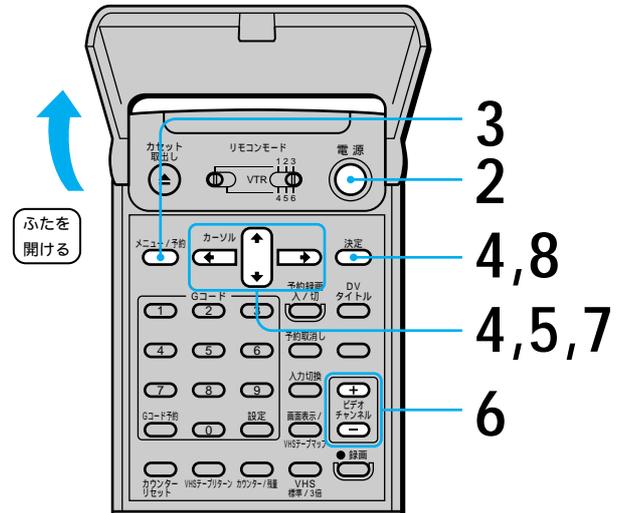


ご注意

- あらかじめ設定されているガイドチャンネルを変えたり、消すことはできません。
- すでに本機に設定されているガイドチャンネルは、追加できません。

放送のないチャンネルをとばす

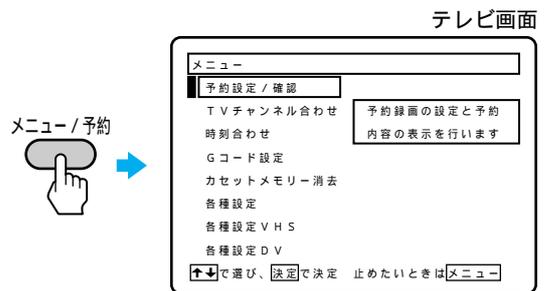
不要なチャンネルを映らないようにします。チャンネル+/- ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけ見ることができます。



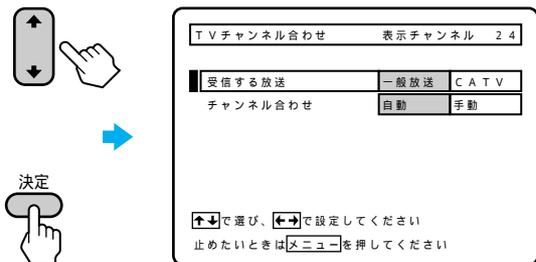
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

- 3 メニュー/予約ボタンを押す。



4 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

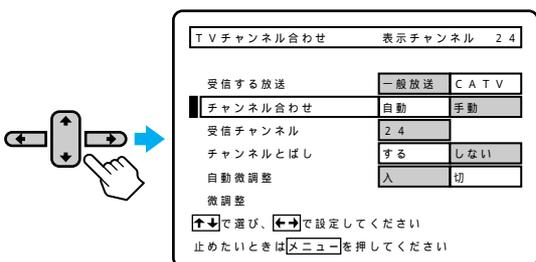


8 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

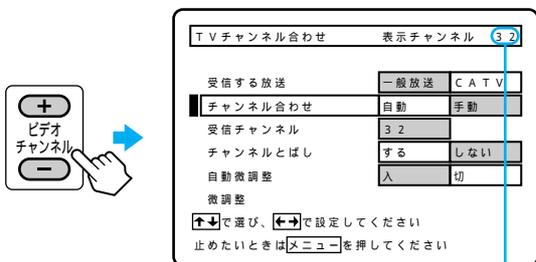
メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

5 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、◀/▶で「手動」にする。

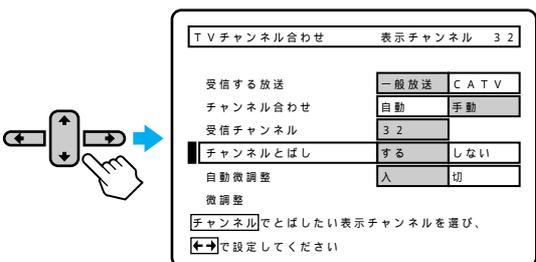


6 ビデオチャンネル+/- ボタンで「表示チャンネル」をとばしたいチャンネルにする。



例：32チャンネルをとばしたいときは、ここを「32」にする

7 ▲/▼で「チャンネルとばし」を選び、◀/▶で「する」にする。

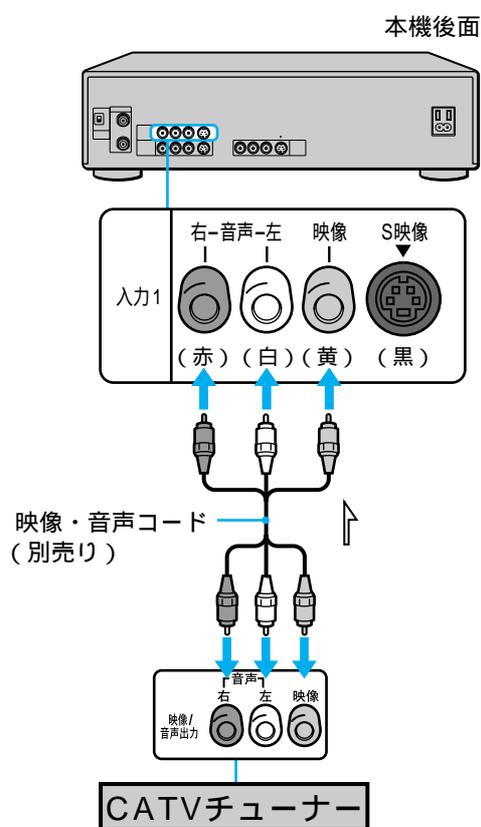


ケーブルテレビ (CATV)をつなぐ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。くわしくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。

CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機とCATVチューナーの接続のしかたがわからないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。



→ : 映像・音声信号の流れ

CATVを受信するには

- 1 CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。
- 2 本機のビデオチャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」または「L2」を出す。CATVチューナーを入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を出します。

CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

- 1 F型コネクター付き同軸ケーブル(別売り)で、本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。
- 2 メニュー/予約ボタンを押して、▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲/▼で「受信する放送」を選び、◀/▶で「CATV」を選ぶ。
- 4 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、◀/▶で「手動」にする。
- 5 ビデオチャンネル+/- ボタンを押して「表示チャンネル」を、放送のないチャンネルの番号(例: 20)にする。
- 6 ▲/▼で「受信チャンネル」を選び、◀/▶で受信したいチャンネルの番号(例: C30)を入れる。
- 7 手順5と6を繰り返して、チャンネルを合わせていく。
- 8 決定ボタンを押す。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCSチューナーをつないで、デジタルCS放送局と受信契約すると、本機でデジタルCS放送を録画できます。

必ず本機の入力1端子につないでください。

入力1端子につながないと、デジタルCSシンクロ録画ができません。

本機は録画防止機能(コピーガード)に対応しています。デジタルCSチューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては録画機能の作動の有無にかかわらず視聴のみでも画面が乱れます。この場合、デジタルCSチューナーを直接テレビにつないでください。

デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

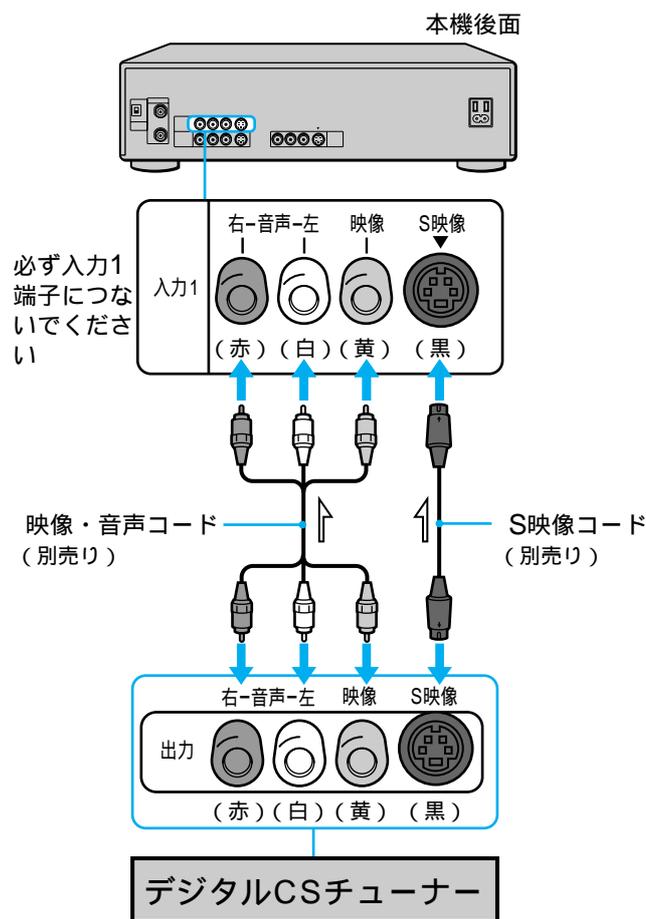
S映像コードを使うときは

メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にします(▶ 39ページ)。停電時や電源コードを抜いたときは「映像入力1」が「映像」に戻るので、「S映像」に設定し直してください。

S映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。

ちょっと一言

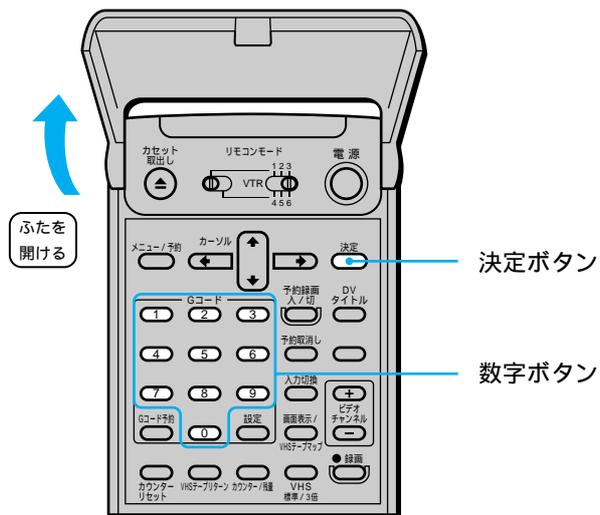
- 番組予約機能のある機器(CATVチューナーなど)から予約録画をするときも、デジタルCSチューナーと同じように、本機の入力1端子につなぎます。



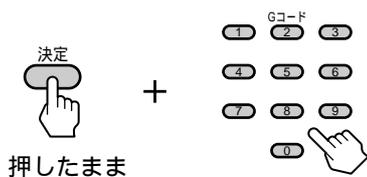
⇒ : 映像・音声信号の流れ

リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせて、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのマーク付きテレビを操作できるように設定されています。



決定ボタンを押したまま数字ボタンを押して、テレビのメーカー番号を入れる。
テレビのメーカー番号は次の表の通りです。



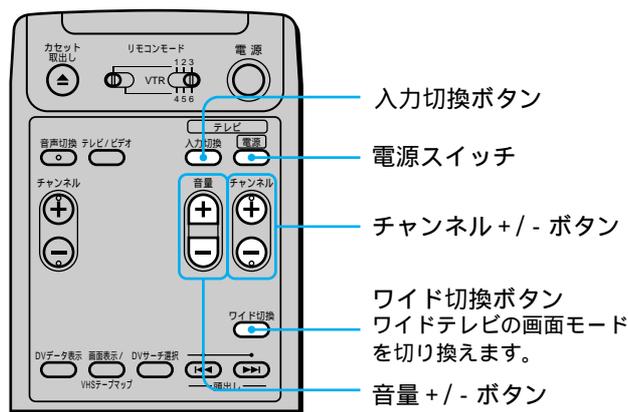
例：メーカー番号を03に合わせるときは、「03」と押す。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー(マーク付き)	01(お買い上げ時の設定)
松下電器 1 *1	02
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機 1 *1	07
シャープ 1 *1	08
NEC	09
パイオニア *2	10
富士通ゼネラル	11
ソニー(マーク無し)*2	12
松下電器2 *1	13
フナイ(PRECIOUS)	14
三洋電機2 *1	15
シャープ2 *1	16
アイワ	17
三星(SAMSUNG)	18

*1 メーカー番号「02」「07」「08」で操作できないときは同じメーカーのもう1つの番号(「13」「15」「16」)にしてください。

*2 入力切換ボタンは使えません。

各社のテレビに使えるボタン

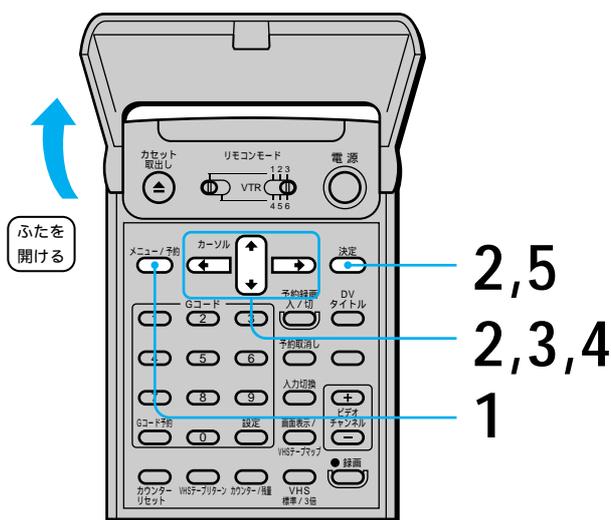


ご注意

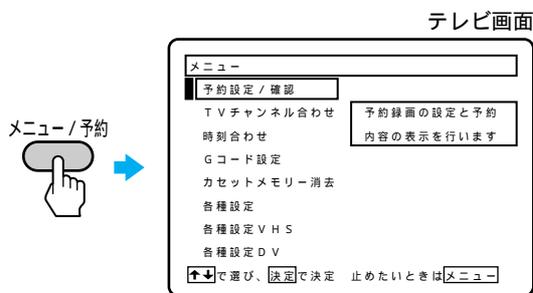
- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください。

受信状態を調整する

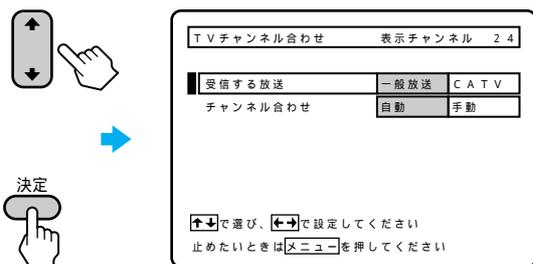
本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、何もなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。



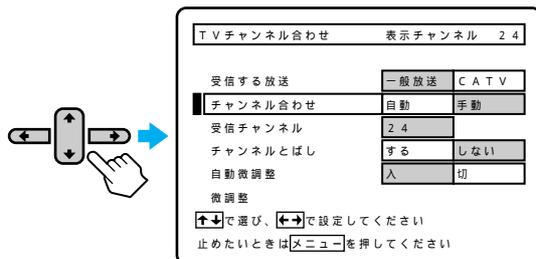
1 映りの悪いチャンネルを見ているときに、メニュー/予約ボタンを押す。



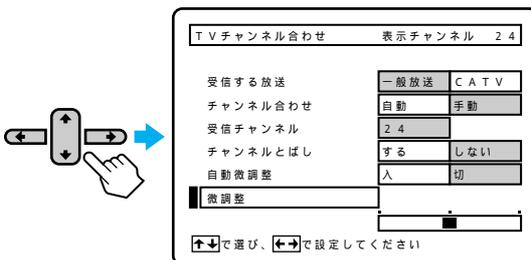
2 ↑/↓で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。



4 ↑/↓で「微調整」を選び、←/→で画面を見ながらきれいに映るように調整する。



5 終わったら決定ボタンを押す。メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

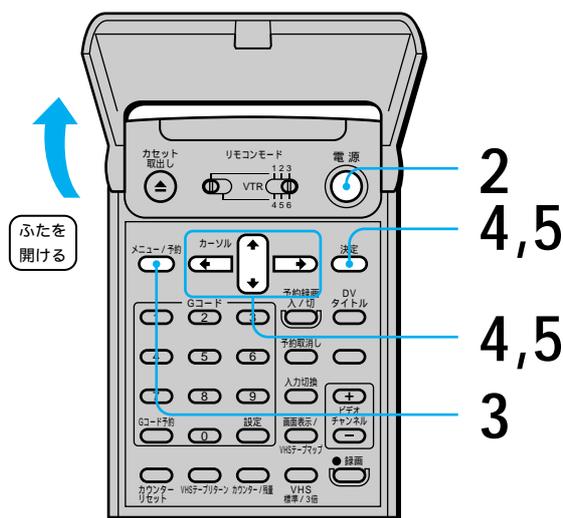
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順1からやり直してください。

受信状態を自動調整に戻すには

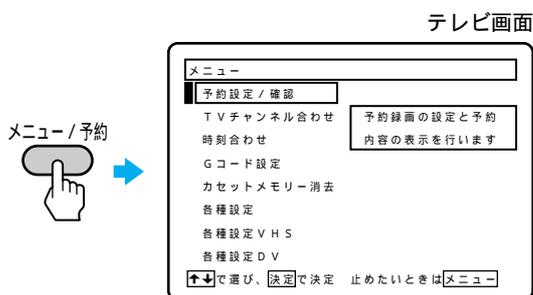
手順4で、↑/↓で「自動微調整」を選び、←/→で「入」にします。

お買い上げ時の設定 を変える

画面表示やアンテナ切り換えなどの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。編集するときや、アンテナ線だけでテレビとつないだときなど、必要に応じて変えてください。

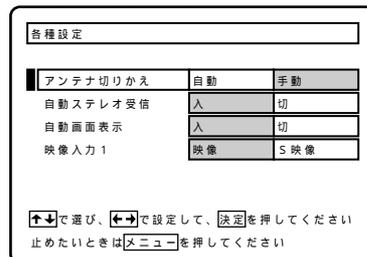


- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

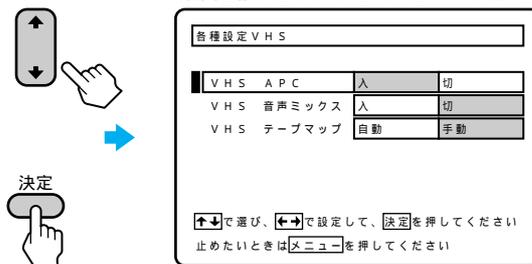


- 4 ▲/▼で「各種設定」または「各種設定VHS」、「各種設定DV」を選び、決定ボタンを押す。

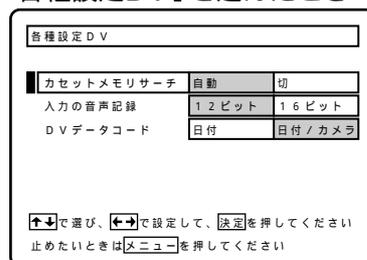
「各種設定」を選んだとき



「各種設定VHS」を選んだとき



「各種設定DV」を選んだとき



- 5 ▲/▼で設定したい項目を選び、◀/▶で設定する。設定が終わったら、決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。その後、手順3からやり直してください。

各設定の内容(: お買い上げ時の設定)

「各種設定」

アンテナ切りかえ

自動	映像・音声端子のないテレビとつないだときにこの位置にする。
手動	映像・音声コードでテレビとつないだときにこの位置にする。

自動ステレオ受信

入	ステレオ放送がステレオで聞ける(通常はこの位置にする)。
切	ステレオ放送でもモノラルになる(雑音が多いときにこの位置にする)。

自動画面表示

入	再生や早送り再生などの走行表示やお知らせガイドが出る(約3秒間出て消える)。
切	走行表示やお知らせガイドが出ない(他機での録画時に走行表示を入れたくないときにこの位置にする)。

映像入力1

映像	入力1端子に映像・音声コードだけつないだときにこの位置にする。
S映像	入力1端子にS映像コードをつないだときにこの位置にする。

「各種設定VHS」

VHS APC^{*1}

入	テープとヘッドの状態を自動判別し、最適な画質で再生、録画 ^{*2} する(通常はこの位置にする)。
切	APCは働かない。

VHS 音声ミックス

入	アフレコした音声と元の音声を同時に聞くときにこの位置にする。
切	通常はこの位置にする。

VHS テープマップ

自動	テープマップサーチ画面を、予約録画およびデジタルCSシンクロ録画のあと、ビデオの電源を入れたときに自動的にテレビ画面に表示する。
手動	テープマップサーチ画面は自動的に表示されない。

「各種設定DV」

カセットメモリーサーチ

自動	カセットメモリー付きのDVテープで、場面を一覧表示して頭出しできる(通常はこの位置にする)。
切	テープ上の頭出し信号を使って、前後の場面を順に頭出ししたいときにこの位置にする。

入力の音声記録

12ビット	本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器から録画するとき、または本機でVHSからDVへダビングするとき、他機を使ってアフレコするときのために、2つの音声領域を作る。
16ビット	本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器から録画するとき、または本機でVHSからDVへダビングするとき、高品質な音声を記録したい場合はこの位置にする。

DVデータコード

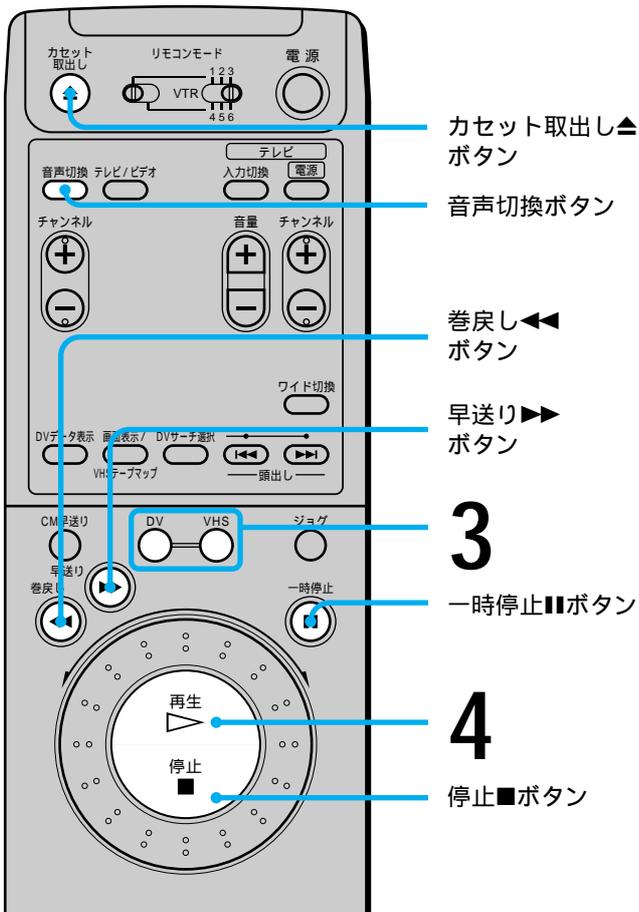
日付	DVデータ表示ボタンを押したとき、日付データのみを表示させたい場合はこの位置にする。
日付/カメラ	DVデータ表示ボタンを押したとき、日付データとカメラデータを表示する。

^{*1} Adaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

^{*2} 録画一時停止中にビデオ本体の「APC」表示が点滅するときは、録画●ボタンを押します。「APC」表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから録画を始めてください。点滅した状態で録画を始めても、APCは働きません。

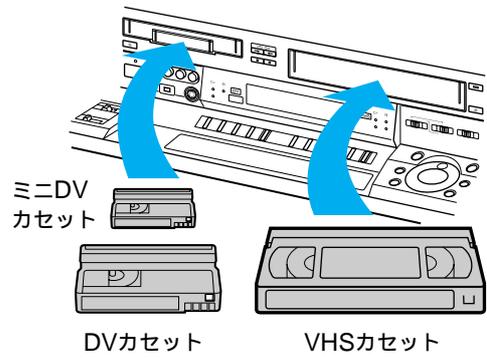
ビデオを見る

DVデッキでは、DVまたはミニDVのビデオテープを再生して見ることができます。
 VHSデッキでは、S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。ただし、S-VHS本来の解像度は得られません(簡易再生)。

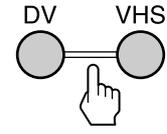


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

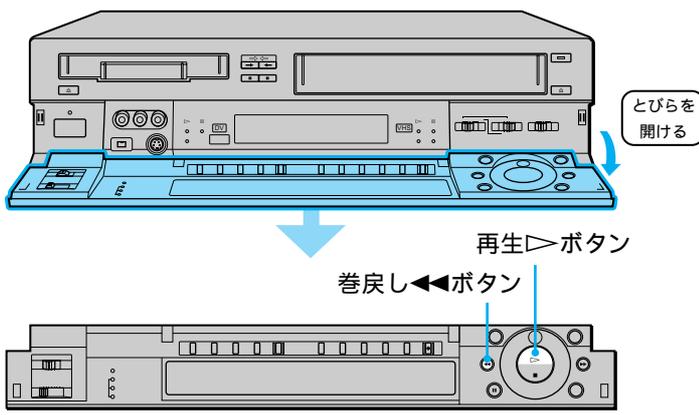
2 カセットを入れる。
 ビデオの電源が自動的に入ります。
 ミニDVカセットを入れると、ビデオ本体の表示窓に「Mini」が表示されます。



3 DVまたはVHSボタンを押して、再生するデッキを選ぶ。



4 再生▶ボタンを押す。



⚠注意
 小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようご注意ください。けがをすることがあります。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。

もう1度押すと5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻き戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。

巻き戻し中または早送り中にもう1度押すと、押している間、画像が見られます。

カセットを取り出すには

カセット取出し▲ボタンを押します。

テープの頭から自動的に再生するには

停止中にビデオ本体の巻き戻し◀◀ボタンを押しながら、再生▷ボタンを押します。テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります(オートプレイ)。

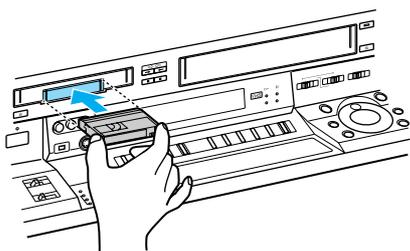
DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキでビデオを見られます。手順3で使用していないデッキを選んでください。

ミニDVカセットの入れかた

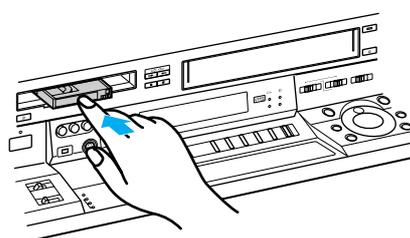
ミニDVカセットを入れるときは、以下の点にご注意ください。

- 1 DVカセット挿入口中央の溝に合わせて、カセットをまっすぐ入れる。



- 2 カセットの中央部分を押し、入れる。

カセットが自動的に引き込まれます。引き込みが始まったら、カセットから手を離します。



DVテープの使用後は

テープを始めまで巻き戻して、ケースに入れた上で立てて保管するようにしてください。巻き戻さないで放置すると、画像や音声がかかる原因となります。

ちょっと一言

- ツメの折れたVHSカセットを入れると、自動的にVHSデッキが選ばれ再生が始まります。
- ニか国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換ボタンを押します(▶▶ 57ページ)。

ご注意

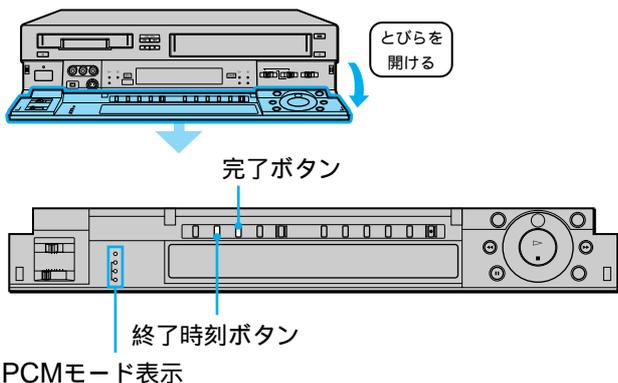
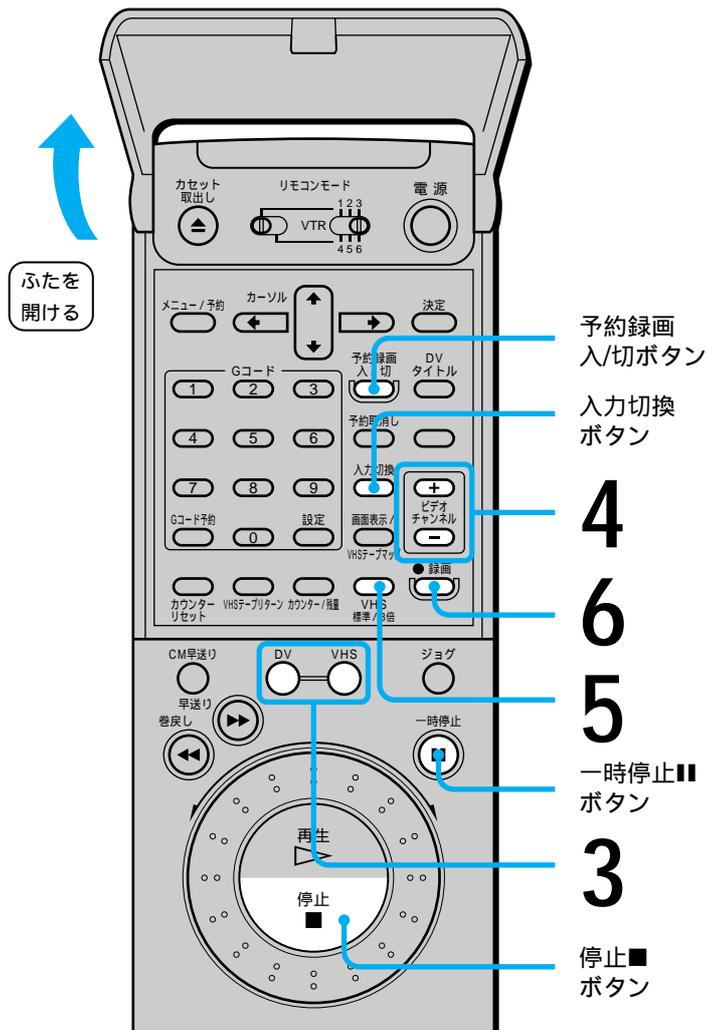
- カセット挿入口にDV、ミニDVまたはVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- DVデッキではSPモードで録画したテープのみ再生できます。LPモードで録画されたテープは、録画した機器での再生をおすすめします。

こんなときは

- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
(▶▶ 7ページ)。

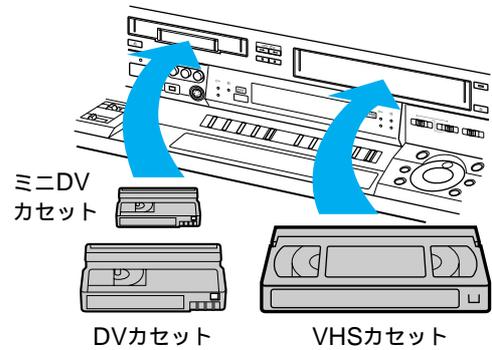
録画する

テレビで見ている番組を録画したり、裏番組を録画したりできます。

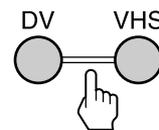


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。



3 DVまたはVHSボタンを押して、録画するデッキを選ぶ。



4 ビデオチャンネル+/- ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

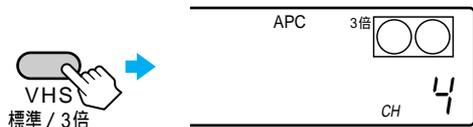
VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...)
入力1(L1) 入力2(L2) DV入力(DVのみ)



• BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画するには
「L1」または「L2」(テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子)を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ(VHSのみ)

長時間録画したいときは、ビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。標準の3倍長く録画できます。画質は「標準」の方が優れています。



6 録画●ボタンを押す。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。



- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画しているときはBSチャンネルを変えないでください。録画されるチャンネルが変わってしまいます。また、BSチューナー内蔵テレビの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できない場合もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

録画中に終了時刻を決めるには

録画中に、30分単位で終了時刻を決めることができます。ただし、選んでいるデッキに予約が6番組あるときは、この操作はできません。

- 1 録画中にビデオ本体の終了時刻ボタンを押す。押すたびに30分単位で終了時刻が変わります。
- 2 ビデオ本体の完了ボタンを押す。

終了時刻を決めたあとで録画を止めたいときは、予約録画入/切ボタンを押してください。

DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキで録画できます。手順3で使用していないデッキを選んでください。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順4で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選ぶこともできます。
- 本機のDV端子につないだ機器から録画するときは、手順4で入力切換ボタンを押して「DV」を選ぶこともできます(DVのみ)
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にします(39ページ)。
- 本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器からDVデッキで録画するとき、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(39ページ)。
- DVデッキでテレビ放送を録画すると、音声は自動的に16ビットで記録されます。
- DVテープに録画するとき、ビデオ本体のPCMモード表示で音声記録モードを確認できます。

ご注意

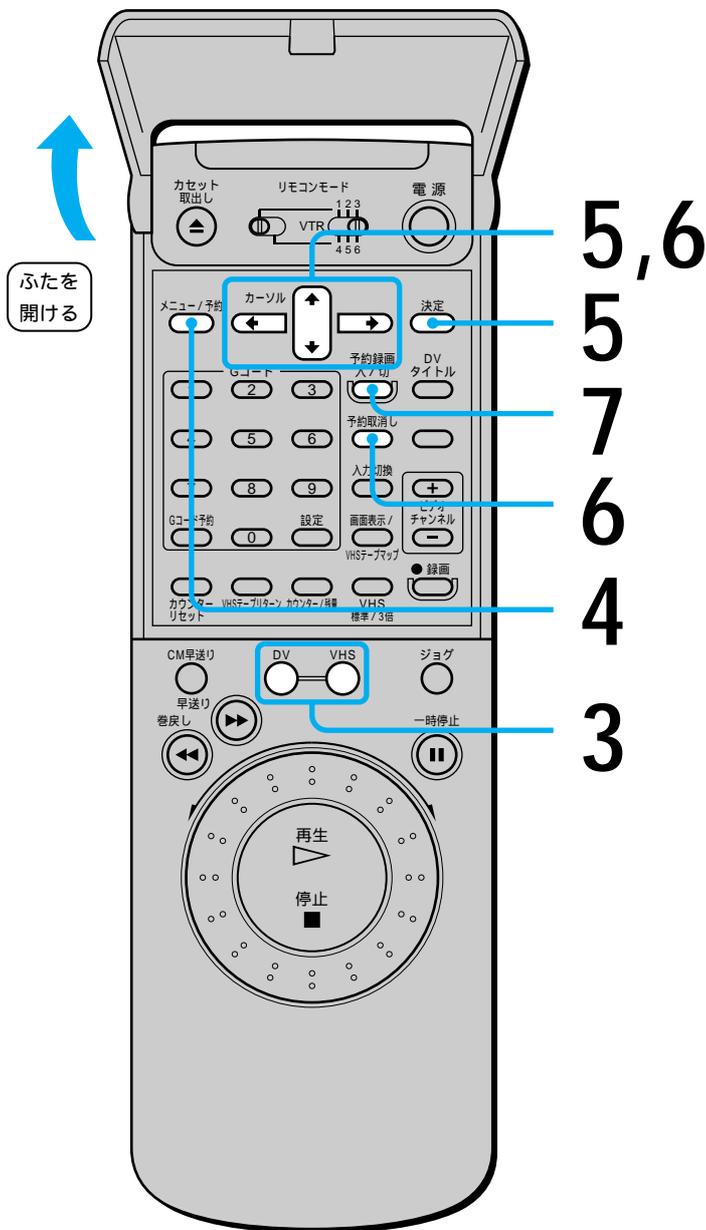
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- 数字ボタンでビデオのチャンネルは選べません。

こんなときは

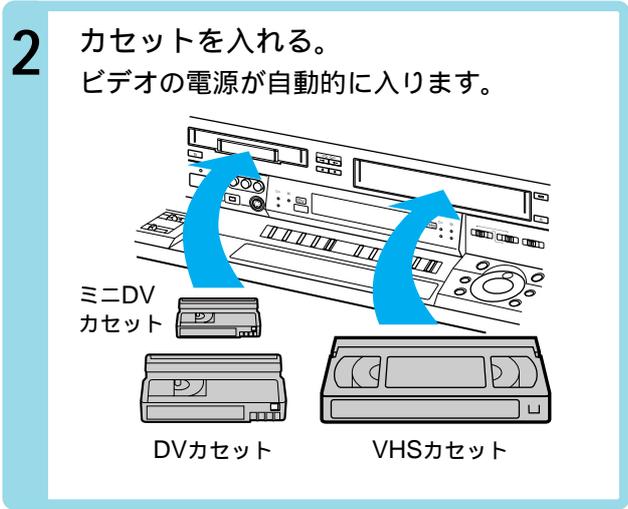
- 録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ)(89ページ)。
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ)(89ページ)。
- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください(7ページ)。

予約する

1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。それ以外に、今日と明日に放送される番組のビデオ本体を使った予約(65ページ)や、Gコードを使った予約(67ページ)と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組まで予約できます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。



3 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。

4 メニュー/予約ボタンを押す。

テレビ画面

メニュー

- 予約設定/確認
- T Vチャンネル合わせ
- 時刻合わせ
- Gコード設定
- カセットメモリー消去
- 各種設定
- 各種設定 V H S
- 各種設定 D V

↑/↓で選び、決定で決定 止めたいときはメニュー

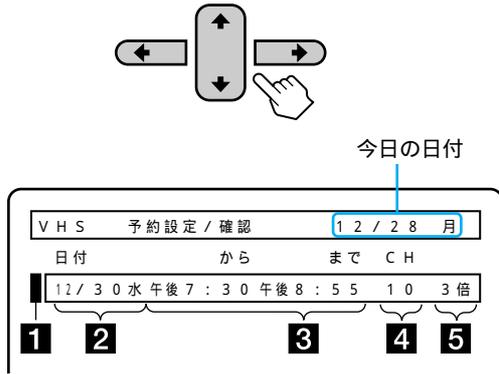
5 ↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。

V H S 予約設定/確認 1 2 / 2 8 月

日付	から	まで	C H
- / - -	- : -	- : -	- - -
- / - -	- : -	- : -	- - -
- / - -	- : -	- : -	- - -
- / - -	- : -	- : -	- - -
- / - -	- : -	- : -	- - -
- / - -	- : -	- : -	- - -

6

↑/↓/←/→で日時とチャンネルを選ぶ。



1 ↑/↓で予約を入れる行を選び、→を押す。

2 ↑/↓で日付を選び、→を押す。
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓を押して選びます。

今日(12/28) 毎日 毎週月~土 毎週月~金
毎週土 毎週日 1か月先の日(1/27)
..... 今日(12/28)

- 間違えたときは
←を押して前の項目に戻ります。
- 途中でやめるときは
予約取消しボタンを押します。

3 ↑/↓で時刻を選び、→を押す。

4 ↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。
↑を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) 入力1
入力2

- 本機の入力端子につないだ機器を予約するには
「入力1」または「入力2」を選びます。
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約するには
「入力1」または「入力2」(テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子)を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 ↑/↓で録画モード(標準/3倍)を選ぶ(VHSのみ)。
長時間録画したいときは「3倍」にします。

6 →を押す。
選んだ行に予約が入ります。

7 続けて予約するときは、手順**1**~**6**を繰り返す。

7

予約録画入/切ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して電源が切れ、予約待機になります。



予約録画中に録画を止めるには

予約録画入/切ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

予約の入っていないデッキは、デッキを選んでそのまま使えます。

予約が入っているデッキを使うときは、DVまたはVHSボタンを押して予約の入っているデッキを選び、予約録画入/切ボタンを押してビデオ本体の予約録画表示を消します。この状態でビデオが使えます。予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、DVまたはVHSボタンを押して予約するデッキを選び、予約録画入/切ボタンを押してください(ビデオ本体の予約録画表示が点灯)。

DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中でも、もう片方のデッキに予約を入れることができます。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのまま終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

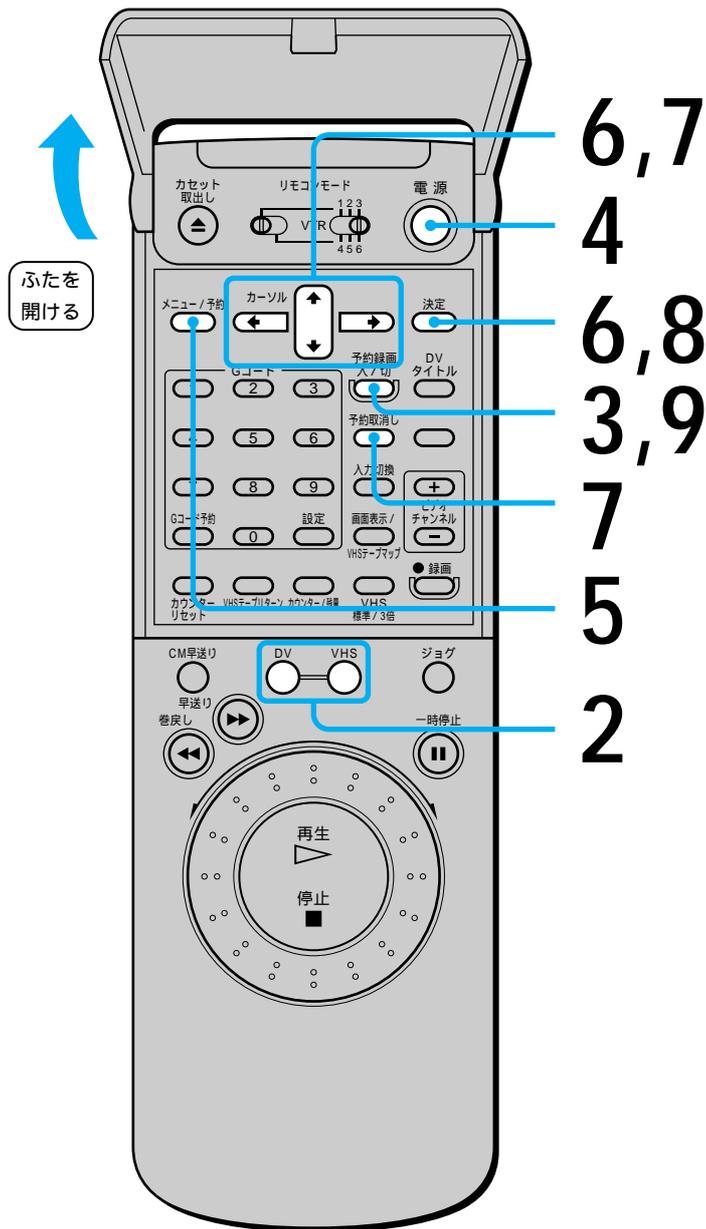
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- 本機のDV端子につないだ機器の予約はできません。
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。

こんなときは

- 手順**7**で予約録画入/切ボタンを押したあと、カセットが出てくる。
カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ)(89ページ)。
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ)(89ページ)。
- 予約したのに録画されていない。
ビデオの時計で日付と時刻を正しく合わせてください(19ページ)。
- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください(7ページ)。

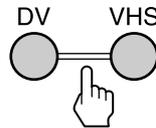
予約を確認する・ 変更する・取り消す

テレビ画面を使って、予約の確認、変更、取り消し
ができます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの
入力を「ビデオ」に切り換える。

2 DVまたはVHSボタンを押して、予約
の入っているデッキを選ぶ。



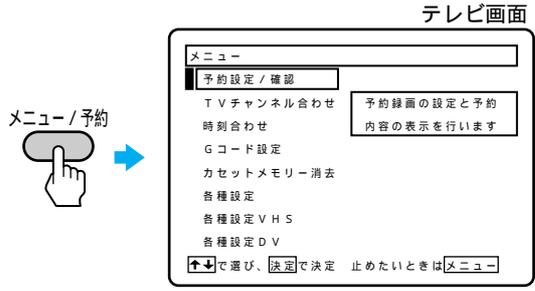
3 予約録画入/切ボタンを押して、ビデオ
本体の予約録画表示を消す。



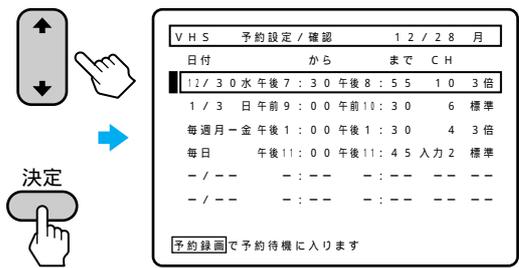
4 電源スイッチを押して、ビデオの電源
を入れる。



5 メニュー/予約ボタンを押す。

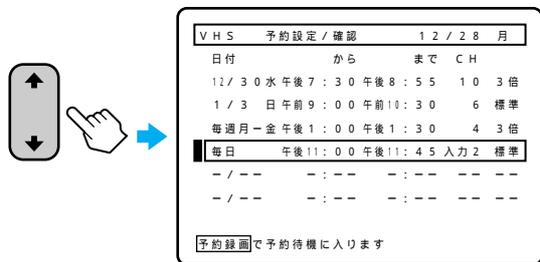


6 ▲/▼で「予約設定/確認」を選び、決定ボ
タンを押す。

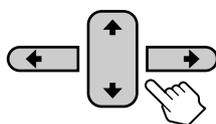


7

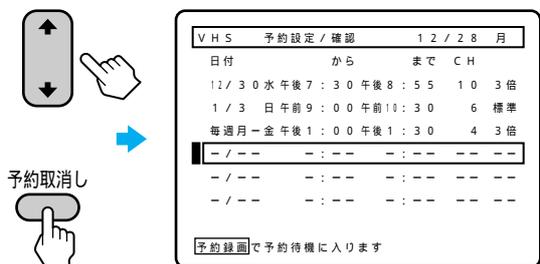
- 予約を確認するには
予約の内容がテレビ画面に表示されています。確認してください。
- 予約を変更するには
1 ▲/▼で変更する予約内容を選ぶ。



- 2** ◀/▶で変えたい項目を選び、▲/▼で変更する。



- 予約を取り消すには
▲/▼で取り消す内容を選び、予約取消しボタンを押す。



続けて別の予約を変更または取り消すときは手順7を繰り返します。

8

- 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。



9

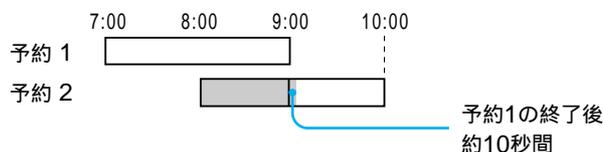
- 予約録画入/切ボタンを押す。
予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約録画入/切ボタンを押す必要はありません。



同じデッキで予約が重なったり連続したときは

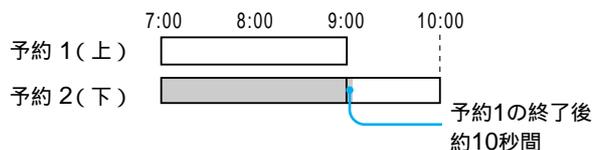
■ で示した部分は録画しません。

- 予約時間帯が重なっているとき
先に始まる予約が優先されます。



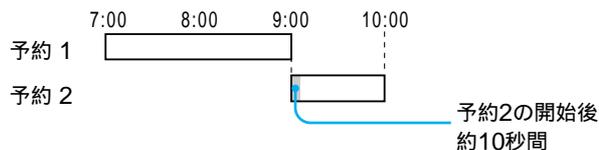
- 予約開始時刻が同じとき

「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。



- 一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じとき

後から始まる予約の最初の約10秒間が録画されません。



ご注意

- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。

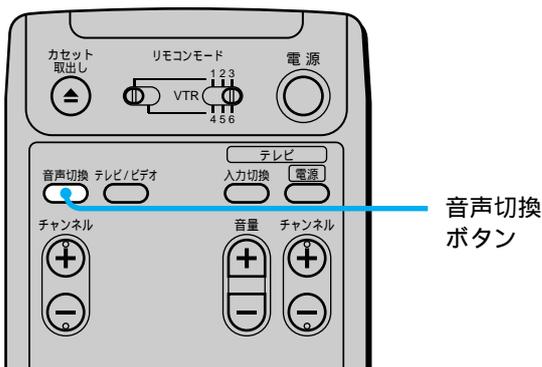
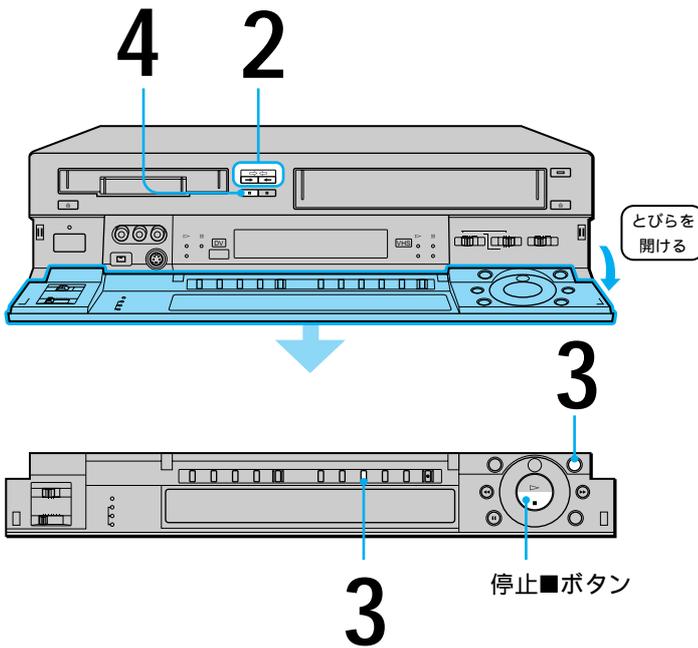
こんなときは

- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
(▶▶▶ 7ページ)

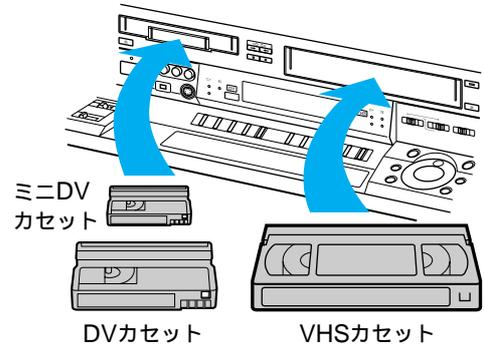
ダビングする (おまかせダビング)

- 著作権保護のため、市販のビデオソフトやレンタルビデオなどはダビングできません。
- VHSからDVにダビングするとき、ご自分で録画したVHSテープのツメが折れていると、自動的にカセットが出てきてダビングできません。

自動的にテープが頭まで巻き戻され、最初から最後までダビングできます。終わるとテープが頭まで巻き戻され、カセットが出てきて、電源が切れます。テープの途中からダビングしたいときは、 50ページをご覧ください。リモコンでは操作できません。

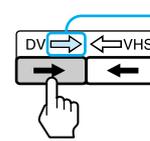


- 1 両方のデッキにカセットを入れる。
電源が自動的に入ります。
VHSテープのツメが折れていないことを確認してください。折れているときはセロハンテープなどでふさいでください。

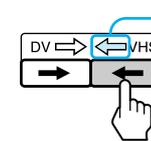


- 2 DV→/←VHSボタンを押して、ダビングの方向を選ぶ。
大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。

DVからVHSへ
ダビングするとき



VHSからDVへ
ダビングするとき



3 録画モードを選ぶ(DVからVHSへダビングするとき)

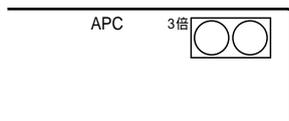
1 VHSデッキを選ぶ。



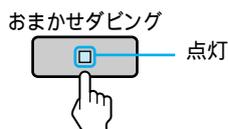
2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



- 長時間録画したいときはビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。



4 おまかせダビングボタンを押す。
両方のテープが自動的に頭まで巻き戻され、ダビングが始まります。どちらかのテープが終わると、自動的に両方のテープが頭まで巻き戻され、カセットが出てきて、電源が切れます。



ダビングを止めるには

停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- 二か国語放送などを録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切換ボタンで音声を選んでおきます(57ページ)。
- アフレコしたテープをダビングするとき、ダビングしたい音声を選べます。DVからVHSにダビングするときは、DV音声ミックススイッチで選びます(58ページ)。VHSからDVにダビングするときは、メニューの「各種設定VHS」の「VHS 音声ミックス」で選びます(58ページ)。
- DVテープにダビングするときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(39ページ)。

ご注意

- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- LPモードで録画したDVテープからのダビングはできません。
- ダビングしたテープの最初の部分の画像が乱れることがあります。

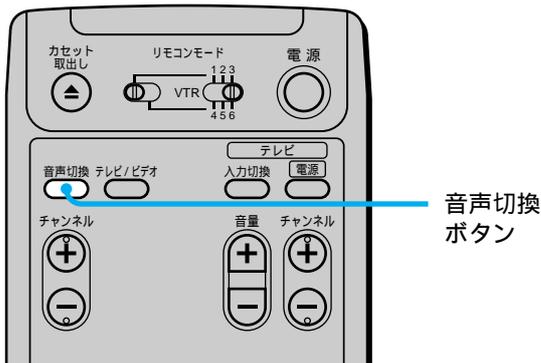
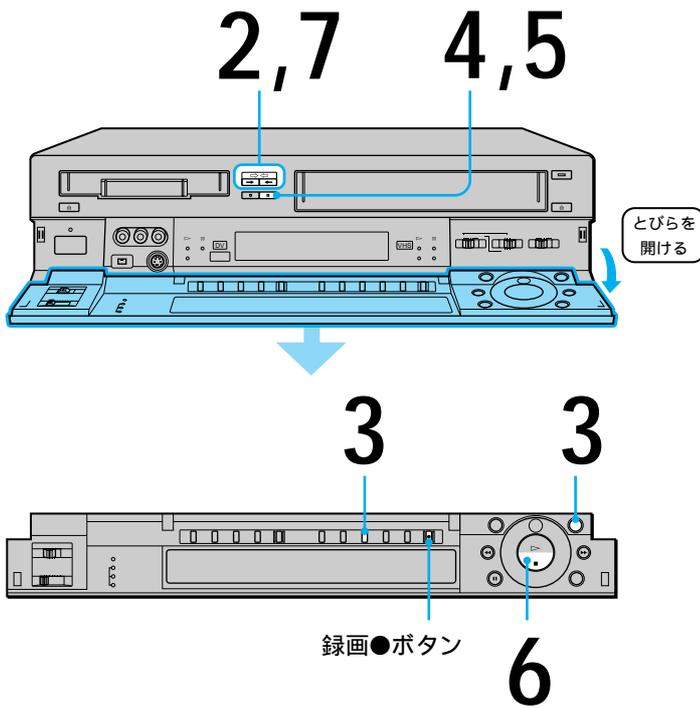
こんなときは

- 自動的にカセットが出てくる。
コピーガード(録画防止機能)がついているビデオソフトです(DV・VHSテープ)。カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ) (89ページ)。
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ) (89ページ)。

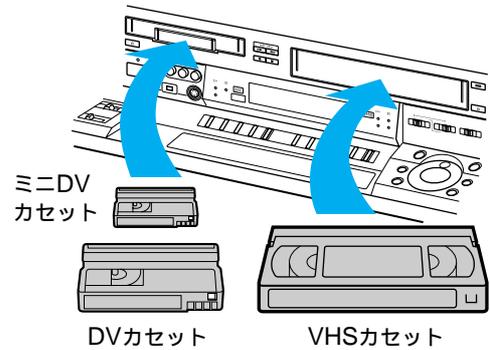
テープの途中から ダビングする

- 著作権保護のため、市販のビデオソフトやレンタルビデオなどはダビングできません。
- VHSからDVにダビングするとき、ご自分で録画したVHSテープのツメが折れていると、自動的にカセットが出てきてダビングできません。

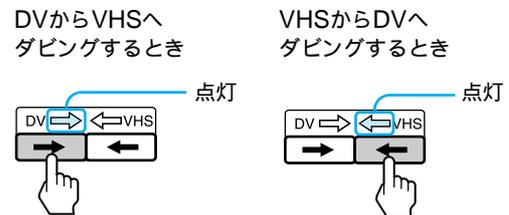
テープの好きなところからダビングを始め、好きなところで止めることができます。
リモコンでは操作できません。



- 1 両方のデッキにカセットを入れ、ダビングを始める場面まで巻き戻し(または早送り)しておく。
カセットを入れると、電源が自動的に入ります。
VHSテープのツメが折れていないことを確認してください。折れているときはセロハンテープなどでふさいでください。



- 2 DV→/←VHSボタンを押して、ダビングの方向を選ぶ。
大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。



3 録画モードを選ぶ(DVからVHSへダビングするとき)

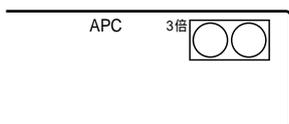
1 VHSデッキを選ぶ。



2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



- 長時間録画したいときはビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。



4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。ボタン上のランプが点滅し、数秒後に両方のデッキが一時停止状態になります。VHSで録画するときに、ビデオ本体の「APC」表示が点滅していたら、録画●ボタンを押して点灯させます。これでAPCが働きます(39ページ)。



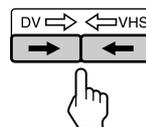
5 編集スタンバイ/開始ボタンをもう1回押す。両方のデッキの一時停止が解除され、ダビングが始まります。



6 終わったら、停止■ボタンを押す。



7 DV→/←VHSボタンを押して、編集方向表示を消す。



ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- 二か国語放送などを録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切換ボタンで音声を選んでおきます(57ページ)。
- アフレコしたテープをダビングするとき、ダビングしたい音声を選べます。DVからVHSにダビングするときは、DV音声ミックススイッチで選びます(58ページ)。VHSからDVにダビングするときは、メニューの「各種設定VHS」の「VHS 音声ミックス」で選びます(58ページ)。
- DVテープにダビングするときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(39ページ)。

ご注意

- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- LPモードで録画したDVテープからのダビングはできません。
- ダビングしたテープの最初の部分の画像が乱れることがあります。

こんなときは

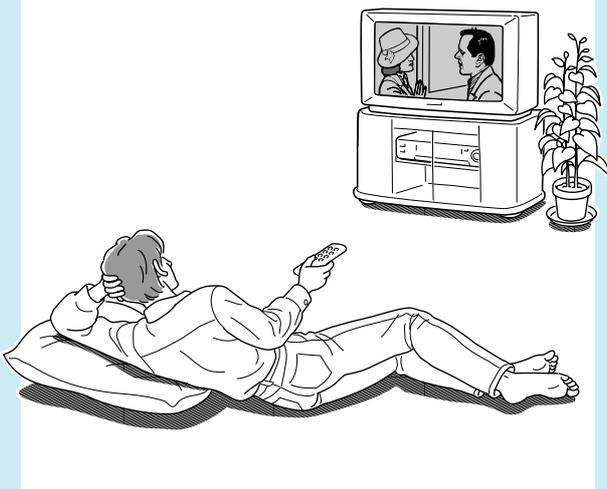
- 自動的にカセットが出てくる。
コピーガード(録画防止機能)がついているビデオソフトです(DV・VHSテープ)。カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ) (89ページ)。
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ) (89ページ)。

再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。

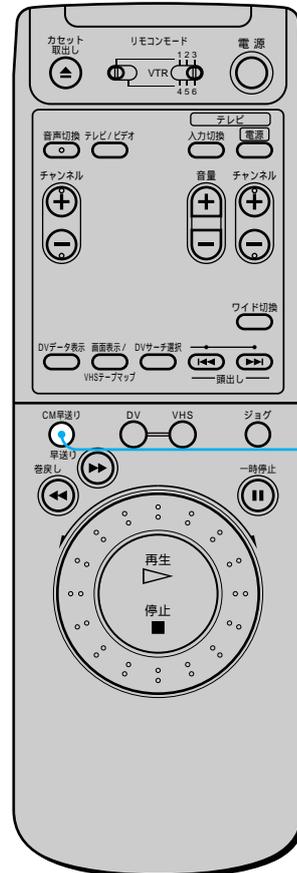
スロー・2倍速などの変速再生や繰り返し再生、また録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りできるほか、録画した内容をテレビ画面に表示して頭出ししたり、1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。

また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、アフレコした音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整など、再生に役立つ機能もあります。



CMをとばす

録画したテープを見ているときに、CMなど、とばしたい部分を早送りすることができます。



CM早送りボタン

再生中にとばしたい部分で、CM早送りボタンを押す。

テープの30秒ぶんを早送りしたあと、自動的に再生に戻ります。早送り中は、音声は出ません。



続けて1分以上早送りするには

CM早送りボタンを2回以上押します。

押すたびに30秒ずつ、最長2分間（4回押したぶん）まで早送りします。

ご注意

- 録画中は、CM早送りボタンは動きません。

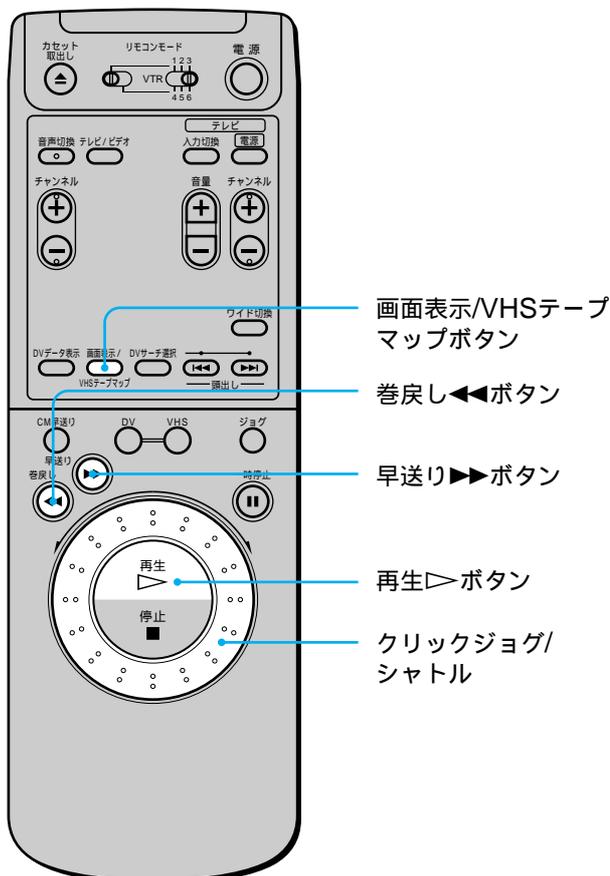
速さを変えて見る

いろいろな速さで画像を見ることができます。再生の速さを変えると、音声は出ません。

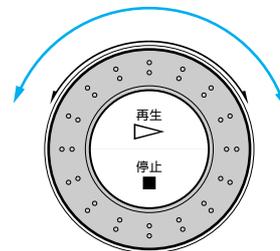
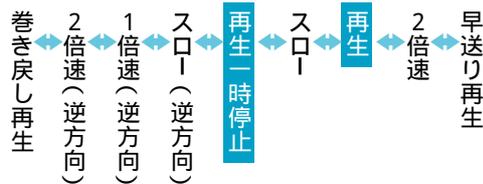
リモコンおよびビデオ本体のクリックジョグ/シャトルは、再生中や再生一時停止中にはクリックシャトルとして、ジョグボタンを押したときにはクリックジョグとして働きます。

クリックシャトルで速さを変える

ビデオを見ているときにクリックジョグ/シャトルを回すと、スローや2倍速などいろいろな速さに変えられます。



再生中または再生一時停止中にクリックジョグ/シャトルを回す。



画面表示/VHSテープマップボタンを繰り返し押し押すと、下の表示が出ます。

画像の速さ	画面表示
早送り再生	---- ---->
2倍速	---- ---->
再生	---- ---->
スロー	---- ---->
再生一時停止	---- ----
スロー(逆方向)	----< ----
1倍速(逆方向)	----< ----
2倍速(逆方向)	----< ----
巻き戻し再生	<---- ----

再生

ふつうの再生に戻すには

クリックジョグ/シャトルを回して再生の位置に戻すか、再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

- 再生中に早送り▶▶ボタンや巻き戻し◀◀ボタンを押すと、押している間早送り再生や巻き戻し再生になります。
- スローで見ているときに、DVデッキは1分以上、VHSデッキは5分以上たつと自動的にふつうの再生になります。

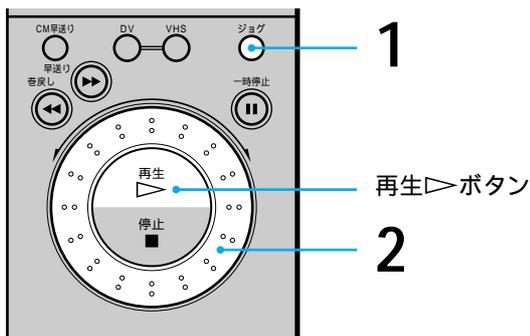
ご注意

- 停止中、録画中、録画一時停止中は、クリックシャトルは働きません。
- 本体にクリックシャトルがないソニーのビデオデッキを、本機のリモコンのクリックジョグ/シャトルで操作しても、動きません。

速さを変えて見る(つづき)

コマ送りで見ると

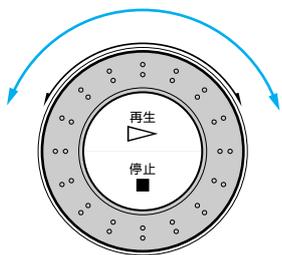
ビデオを見ているとき、ジョグボタンを押してから、クリックジョグ/シャトルを回すと、コマ単位で再生の速さを変えられます。



- 1 再生中または再生一時停止中にジョグボタンを押す。
ジョグランプが点灯します。



- 2 クリックジョグ/シャトルを回す。
正方向・逆方向ともに、回すスピードに応じてコマ送りからふつ々の再生の範囲で速さが変わります。



ふつ々の再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ご注意

- 停止中、録画中、録画一時停止中は、クリックジョグは働きません。
- 本体にクリックジョグがないソニーのビデオデッキを、本機のリモコンのクリックジョグ/シャトルで操作しても、動きません。

場面を頭出しする

いくつかの場面を1本のテープに録画したときは、各場面の頭出しができます。本機では、以下のような頭出しができます。

- 録画開始位置で頭出しする
(インデックスサーチ)
- デジタルビデオカメラで撮影した日付で頭出しする
(日付サーチ)
- デジタルビデオカメラのフォトモードで撮影した場面を頭出しする
(フォトサーチ)
- 場面に入れたタイトルで頭出しする
(タイトルサーチ)

各頭出しができるかどうかは、テープの種類によって以下のように変わります。

	DVテープ*1	DVテープ*2	VHSテープ
インデックス			
日付			-
フォト			-
タイトル		-	-

*1 カセットメモリー付き

*2 カセットメモリーなし

- カセットメモリー付きのDVテープを使うとき
カセットメモリーに記録された頭出し信号を使って、場面の一覧表示から見たい番組を頭出しできます。「場面の一覧表示を使って頭出しする」(55ページ)をご覧ください。
- カセットメモリーのないDVテープやVHSテープを使うとき
テープ上に記録された頭出し信号を使って、前後の番組を順に頭出しできます。「前後の場面を順に頭出しする」(56ページ)をご覧ください。

頭出し信号について

頭出し信号は次のときに自動的に付きます。

- 録画が始まったとき
- 録画一時停止中にチャンネルを変えて、再び録画を始めたとき
- 予約録画が始まったとき
- タイトルを入れたとき(タイトル信号のみ)

頭出しの方法に応じて4種類の頭出し信号があります。頭出し信号はカセットメモリーとテープ上に記録されますが、カセットメモリーの有無や、録画した機器によって記録される信号が異なります。信号がないときは、その信号を使った頭出しはできませんのでご注意ください。

本機で録画したとき

	カセットメモリー	テープ上
インデックス信号	記録する	記録する
日付信号	記録しない	記録する
フォト信号	記録しない	記録しない
タイトル信号	記録する	記録しない

デジタルビデオカメラ(DCR-TRV7など)で撮影したとき

	カセットメモリー	テープ上
インデックス信号	記録しない	記録しない
日付信号	記録する*	記録する
フォト信号	記録する*	記録する
タイトル信号	記録する*	記録しない

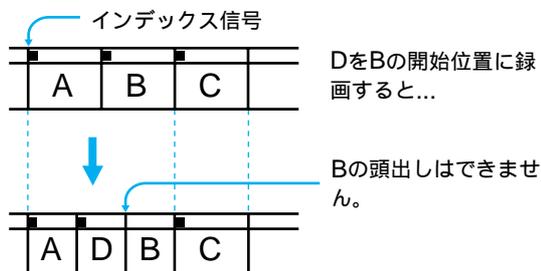
*カセットメモリーに対応していないデジタルビデオカメラ(DCR-PC7など)では、カセットメモリーに記録できません。

ちょっと一言

- C114KマークのあるDVテープを使うと、本機ではインデックスを最大12個までカセットメモリーに記録できます。ただし、日付信号、フォト信号、タイトル信号の数によって、記録できるインデックス信号の数は変化します。

ご注意

- 頭出し信号は録画を開始した時点で記録されます。開始位置の上に他の番組を録画した場合、もとの番組は頭出しできなくなります。



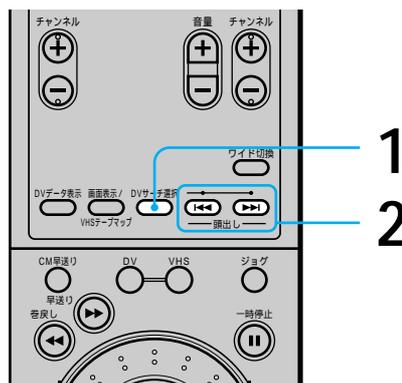
- 録画した部分の間に無記録の部分があるテープでは、頭出しが正しくできないことがあります。
- ソニー以外のデジタルビデオで記録されたテープでは、頭出しができないことがあります。

場面の一覧表示を使って頭出しする

(カセットメモリー付きDVテープのみ)

録画した場面の日付や時間などをテレビ画面に一覧表示して、見たい番組を選べます。カセットメモリー付きのDVテープでのみできます。

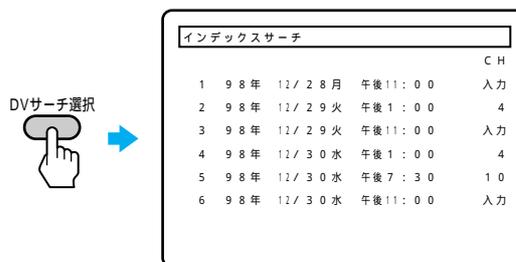
メニューの「各種設定DV」で「カセットメモリーサーチ」を「自動」にしておいてください(▶▶▶ 39ページ)。



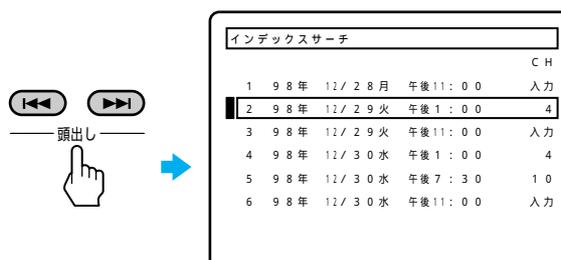
- 1 DVサーチ選択ボタンを繰り返し押し、頭出しの種類を選ぶ。押すたびに次のように切り換わります。

インデックスサーチ 日付サーチ フォトサーチ
タイトルサーチ 元の画面

テレビ画面



- 2 頭出し◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押し、頭出ししたい場面を選ぶ。▶▶で次の場面を、◀◀で前の場面を頭出しして再生します。



場面を頭出しする(つづき)

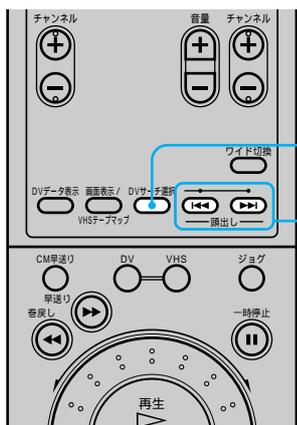
ちょっと一言

- フォトサーチでは、デジタルビデオカメラで静止画を撮影したときの日付と時間を一覧表示して、見たい静止画を選べます。

前後の場面を順に頭出しする

(DVテープ、VHSテープ)

ボタンを押すたびに、前後の場面を順に頭出しできます。場面の一覧表示は出ません。カセットメモリー付きのDVテープでこの頭出しをしたいときは、メニューの「各種設定DV」で「カセットメモリーサーチ」を「切」にしておいてください(39ページ)。

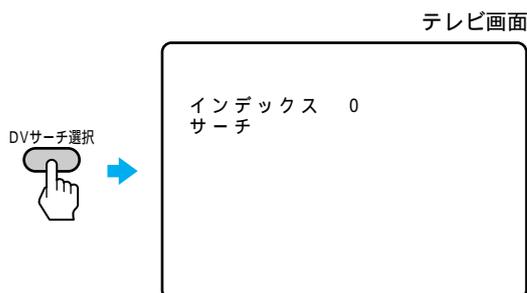


1
2

1 DVテープの頭出しをするときは、DVサーチ選択ボタンを繰り返し押し、頭出しの種類を選ぶ。

押すたびに次のように切り換わります。

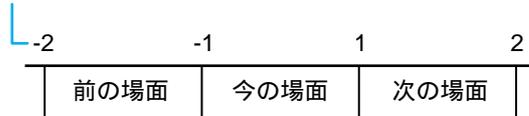
インデックスサーチ 日付サーチ フォトサーチ
元の画面



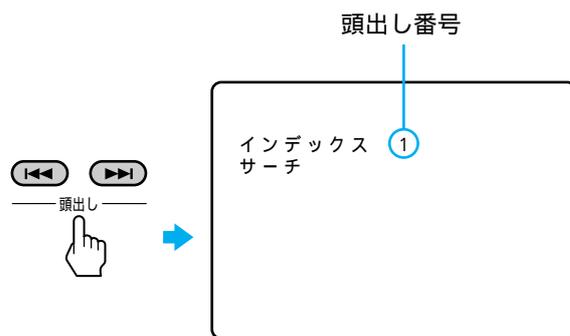
2

頭出し◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押し、頭出ししたいところの頭出し番号を選ぶ。

頭出し番号



▶▶で次の番組を、◀◀で前の番組を頭出しして再生します。



ちょっと一言

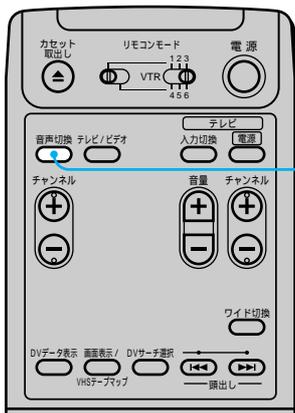
- 「インデックス」表示が画面に出ないときは、メニューの「各種設定」で「自動画面表示」を「入」にしてください(39ページ)。
- 他機で録画した頭出し信号の付いたテープも、本機で番組を頭出しできます。

ご注意

- カセットメモリーのないDVテープでは、タイトルサーチはできません。

二か国語放送などの 音声を切り換える

二か国語放送などを録画したテープを再生すると、主音声と副音声と同時に聞こえます。聞きたい音声に切り換えてください。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。



音声切換ボタン

ちょっと一言

- 本機で受信している二か国語放送の音声も、音声切換ボタンで切り換えることができます。

ご注意

- 音声切換ボタンは、次のとき働きません。
 - モノラルビデオで録画したテープを再生したとき（常にモノラル）
 - ステレオ放送を受信しているとき
 - メニューの「各種設定VHS」で「VHS 音声ミックス」を「入」にしたとき（▶ 39ページ）
 - アフレコしたDVテープを再生中に、DV音声ミックススイッチを「ステレオ1」または「ステレオ2」以外に設定したとき（▶ 58ページ）
- 12ビットで音声を記録したDVテープを再生するとき、ステレオ2の音声を切り換えても、表示は常にステレオ1の状態を示します。

再生

再生中に音声切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、ビデオ本体の表示窓に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。



ビデオ本体の表示	聞こえる音声	
窓に出る表示	二か国語放送	ステレオ放送
主/左・副/右* またはステレオ	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左	主音声	左チャンネル
副/右	副音声	右チャンネル
表示なし**	主音声	モノラル

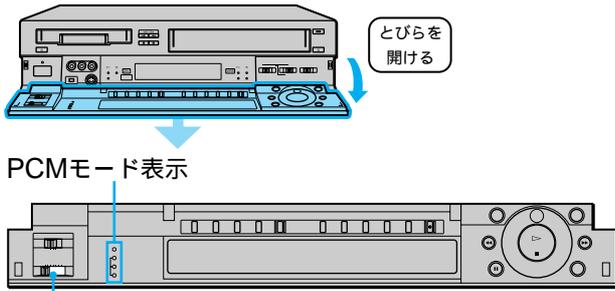
* DVのみ（二か国語放送かステレオ放送かを自動判別します）

**VHSのみ

アフレコした音声を 聞く

DVテープにアフレコした音声を聞く

アフレコしたテープなど、12ビットモードで記録したDVテープを再生するときに、聞きたい音声を選べます。



DV音声ミックススイッチ

DVテープの再生中にDV音声ミックススイッチを切り換えて、聞きたい音声を選ぶ。



ステレオ1 すでに入っていた音声のみ

↑

すでに入っていた音声のバランスが強くなる

1:1

すでに入っていた音声とアフレコした音声が同じバランスで聞こえる

↓

アフレコした音声のバランスが強くなる

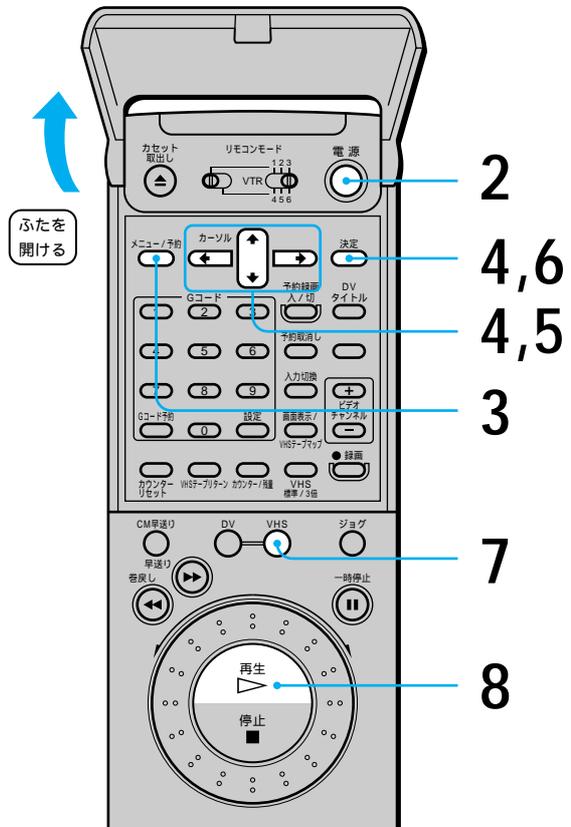
ステレオ2 アフレコした音声のみ

ちょっと一言

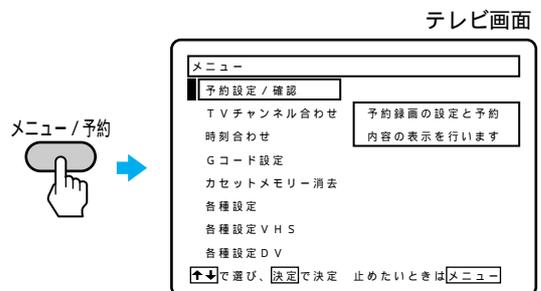
- ビデオ本体のPCMモード表示で、再生中の音声記録モードを確認できます。

VHSテープにアフレコした音声を聞く

すでに入っていた音声とアフレコした音声を同時に聞くことができます。



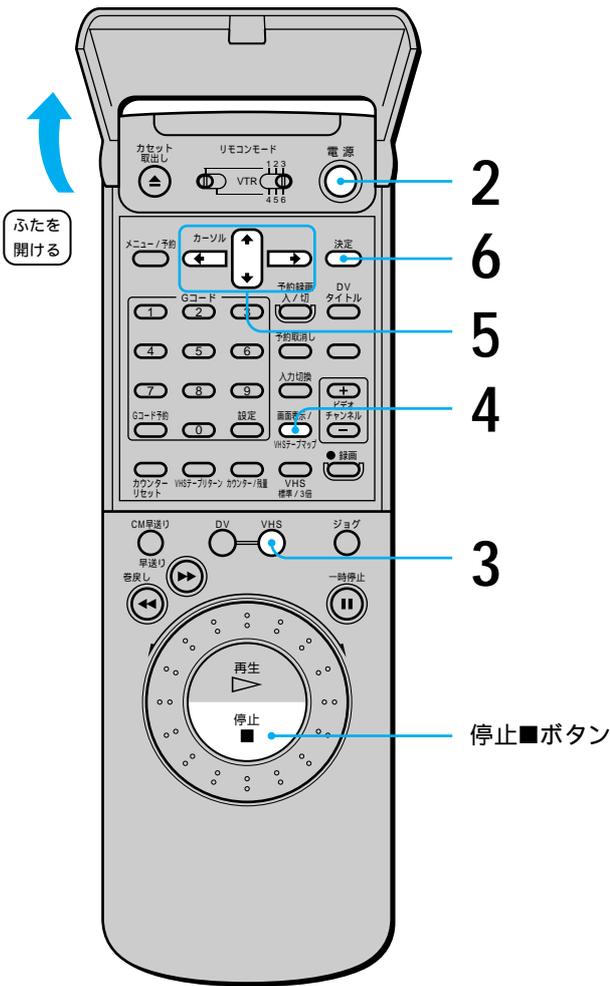
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。



録画した番組を頭出しする (テープマップサーチ、VHSのみ)

1本のテープに続けて録画をすると、録画した番組の内容(日時、チャンネル)をテレビ画面に表示することができます。さらに表示した番組の頭出しができます。

録画したカセットは、ビデオに入れたままにしておきます。カセットを取り出すとテープマップサーチはできません。



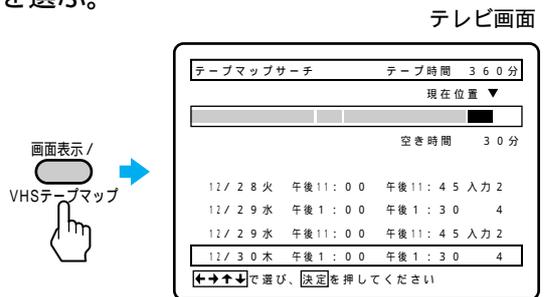
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

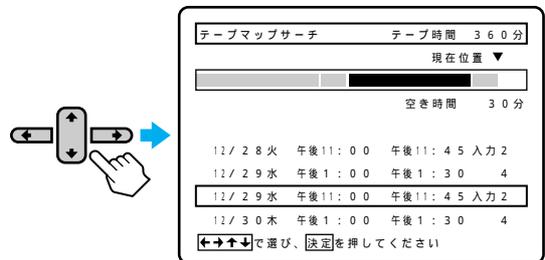
3 VHSボタンを押す。



4 画面表示/VHSテープマップボタンを繰り返し押し、テープマップサーチ画面を選ぶ。



5 ◀/▶/▲/▼で頭出ししたい録画の内容を選ぶ。↓/↑で次の番組を、↑/↓で前の番組を選ぶことができます。



6 決定ボタンを押す。
選んだ番組を頭出しして再生します。



番組の頭出しを途中でやめるには
停止■ボタンを押します。

番組を録画していない部分に録画するとき

は
録画を始める位置まで、テープを送ることができます。手順5で空白の行を選び、決定ボタンを押します。選んだ部分の頭まで早送りまたは巻き戻しをして、停止します。

再生

録画した番組を頭出しする (つづき)

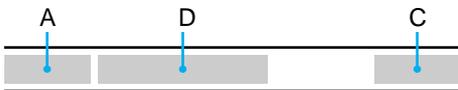
録画した番組に他の番組を重ねて録画したときは

重ねて録画した番組の後ろにある番組はリストから消え、テープマップサーチはできません。前にある番組はリストに表示されます。

テープマップサーチで録画した番組



番組Dを重ねて録画する



ちょっと一言

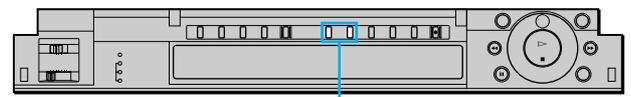
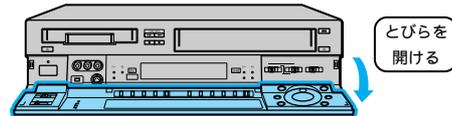
- リストには最大24番組まで表示されます。
- あらかじめメニューの「各種設定VHS」の「VHS テープマップ」を「自動」にしておく、予約録画やデジタルCSシンクロ録画のあと手順3でVHSデッキを選んだときに、テープマップサーチ画面を自動で表示できます(39ページ)。あらかじめVHSデッキが選ばれているときは、ビデオの電源を入れたときに、テープマップサーチ画面が自動的に表示されます。
- VHSテープに録画中に、画面表示/VHSテープマップボタンを繰り返し押しすとテープマップサーチ画面を表示できます。ただし番組を選んで頭出しすることはできません。DVテープに録画中は、テープマップサーチを使うことができます。
- 通常の録画や予約など、録画の方法にかかわらず、番組の内容はテープマップサーチ画面に表示されます。ただし、ダビングや編集で録画した部分は、リストに表示されません。

ご注意

- 一度取り出したカセットのテープマップサーチはできません。
- 時計が設定されていないとテープマップサーチはできません。
- テープの種類によっては、テープ時間および空き時間が正しく表示されないことがあります。
- 番組の録画時間が標準で10分未満、3倍で30分未満のときは、テープマップサーチができないことや、リストに表示されないことがあります。また、一度リストに表示された番組でも、次の番組を録画すると、リストから消えることがあります。
テープマップサーチができないときでも、「前後の場面を順に頭出しする」(56ページ)で頭出しができます。
- 空き時間は、リストの最後に表示された番組の終わりからテープの終わりまでの時間です。また、テープマップサーチを始める前に録画した番組は、空き時間として表示されます。

画像と音声を調整する (トラッキング、VHSのみ)

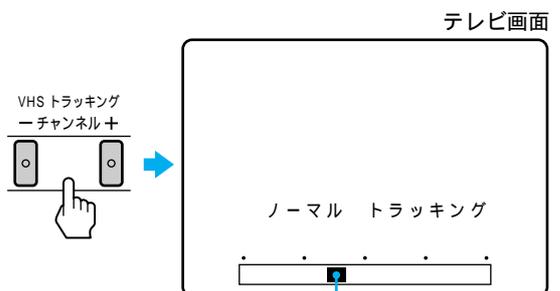
VHSテープの再生中に画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。DVテープ再生中のトラッキングは自動調整されています。



VHS トラッキング +/- ボタン

VHSテープの再生中にVHS トラッキング +/- ボタンを押して調整する。

ビデオ本体の表示が点灯します。



- で左へ、+ で右へ動く
(+/- を同時に押すと、中央に戻る)

トラッキングを自動調整に戻すには

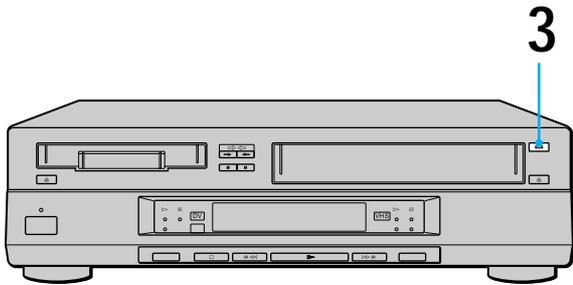
カセットを入れ直します。ビデオ本体の表示が点滅し、調整が終わると消えます。

ご注意

- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが十分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声はノーマル音声に変わることがあります。
- スローのチラつきは、スロー再生中にVHS トラッキング +/- ボタンを押して調整してください。
- 再生一時停止中の縦ゆれは、再生一時停止中にVHS トラッキング +/- ボタンを押して調整してください。

テープを繰り返し再生する(リピート再生、VHSのみ)

VHSテープを自動的に5回繰り返して再生します。リピート再生中は、ボタンを押しても他の操作は受け付けません。お子様に、ビデオを見せるときなどに便利です。



- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 VHSカセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。
- 3 VHSリピート再生ボタンを2秒以上押す。
VHSリピート再生ランプが点灯します。
自動的にテープの頭まで巻き戻り、再生が始まります。5回繰り返して再生すると、自動的に電源が切れます。



リピート再生を途中で止めるには

VHSリピート再生ボタンを2秒以上押して、ランプを消灯します。

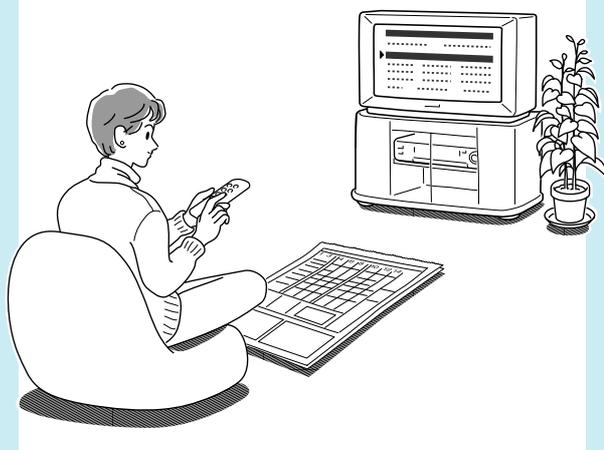
ちょっと一言

- VHSカセットが入っている状態でVHSリピート再生ボタンを押すと、ビデオの電源が自動的に入り、リピート再生が始まります。
- 再生中にVHSリピート再生ボタンを押すと、テープの頭まで巻き戻り、リピート再生が始まります。

録画・予約

ここでは、次のような録画と予約について説明します。

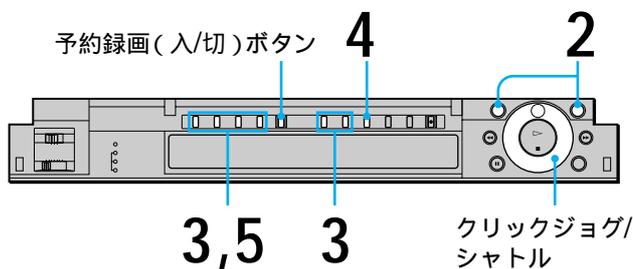
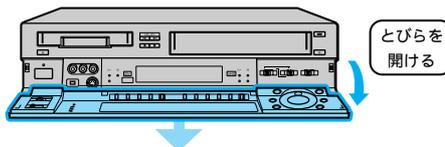
- 時刻とチャンネルだけを指定して、今日と明日の番組の予約ができる、快速本体予約。
- Gコード予約。
- 別売りのデジタルCSチューナーを使う、デジタルCS放送の録画。



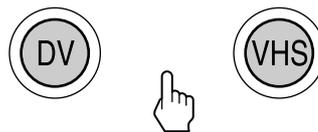
ビデオ本体で予約する

(快速本体予約)

時刻を30分単位で指定する予約録画です。予約できるのは、今日と明日に放送される番組だけです。他の予約と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組まで予約できます。リモコンではできません。



- 1 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。
- 2 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。



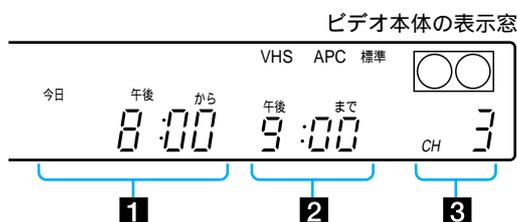
再生

録画・予約

ビデオ本体で予約する(つづき)

3

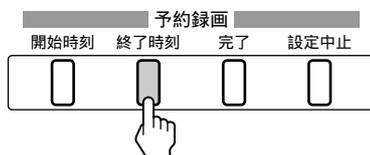
開始時刻、終了時刻、チャンネル +/- ボタンで日時とチャンネルを選ぶ。



- 1** 開始時刻ボタンを繰り返し押し、録画開始時刻を決める。
押すたびに30分単位で時刻が変わります。



- 2** 終了時刻ボタンを繰り返し押し、録画終了時刻を決める。
押すたびに30分単位で時刻が変わります。



- 3** チャンネル +/- ボタンを押して、録画したいチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) 入力1
入力2



- 本機の入力端子につないだ機器を予約するには
「入力1」または「入力2」を選びます。
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約するには
「入力1」または「入力2」(テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子)を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

4

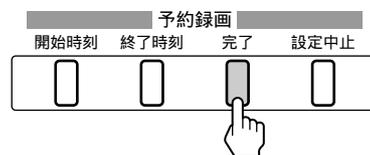
- 間違えたときは
設定中止ボタンを押して、最初から予約し直します。
- 途中で止めるには
設定中止ボタンを押します。

VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ(VHSのみ)。



5

完了ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して、予約待機になります。



予約録画中に録画を止めるには

予約録画(入/切)ボタンを押します。

1分単位で録画時刻を設定するには

手順3の**1**、**2**で開始時刻または終了時刻ボタンを押してから、クリックジョグ/シャトルを回します。

すぐに予約録画を始めたいときは

手順3の**1**をとばします。手順5で完了ボタンを押すと、録画が始まります。

予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」(46 ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

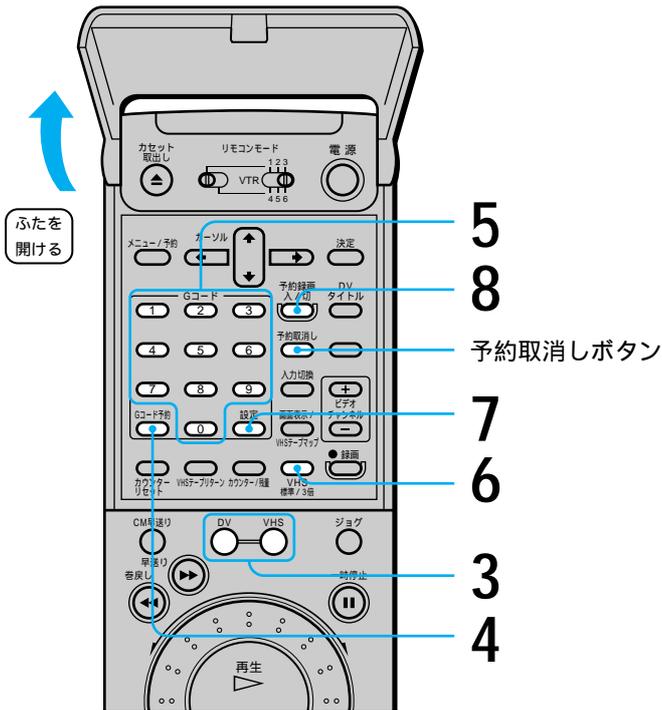
- 録画中に録画時間を延長するには、終了時刻ボタンを押して終了時刻を変え、完了ボタンを押します。延長分は1件の予約になるため、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組ぶん予約が入っていると、録画時間は延長できません。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままです。終了時刻を合わせます。

ご注意

- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- 本機のDV端子につないだ機器の予約はできません。

Gコードで予約する

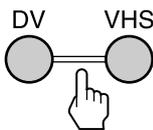
新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。他の予約と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれ6番組まで予約できます。



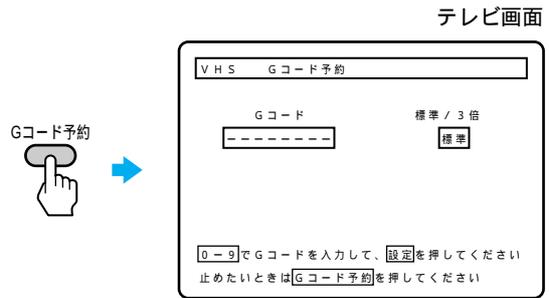
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

3 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。



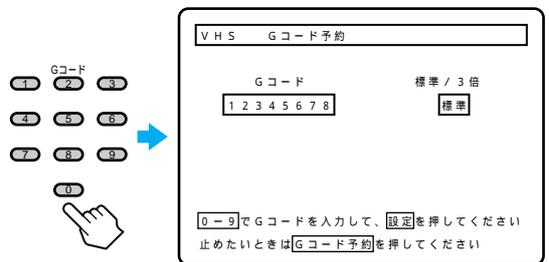
4 Gコード予約ボタンを押す。



5 Gコード数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる。

間違えたときは、予約取消しボタンを押して、最初から入れ直します。

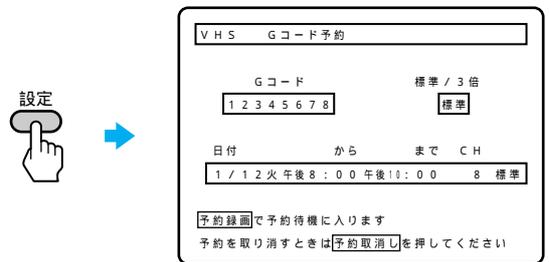
例：Gコードが「12345678」のとき



6 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ（VHSのみ）。



7 設定ボタンを押す。
予約した番組の放送される日時とチャンネル番号が出ます。



- 取り消したいときは
予約取消しボタンを押します。
- 続けて予約するときは
手順4から繰り返します。
- 途中で止めるときは
Gコード予約ボタンを押します。

Gコードで予約する(つづき)

8

予約録画入/切ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して、予約待機になります。



予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」(46 ページ)をご覧ください。

BSチューナー内蔵テレビからBS放送をGコードで予約するには

BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送をGコードで予約できます。(「BSチューナー内蔵テレビなどにつなぐ」(15 ページ)。このとき「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」(32 ページ)にしたがって、BS放送のGコードを設定しておきます。

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」(32 ページ)にしたがって、つないだ機器のGコードを設定しておきます。

ご注意

- 次の場合、「ピピピ」と鳴り、入力したGコードが消えます。
 - Gコードを間違えて入れたとき
(手順5からやり直してください)
 - 時計が正しく合っていないとき
(年、月、日も確認してください 19 ページ)
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。

別売りのデジタルCSチューナーから録画する

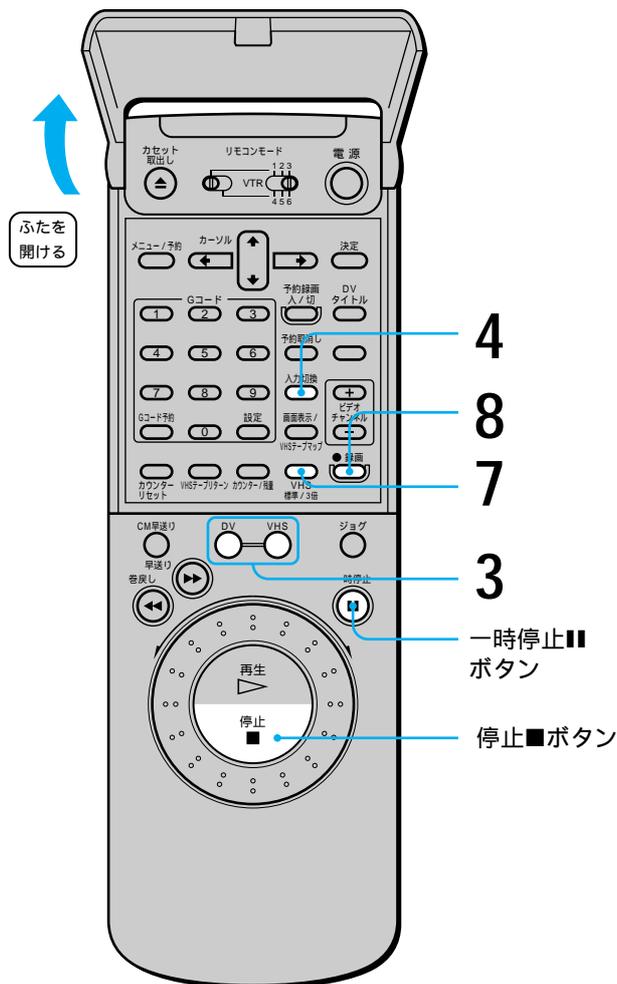
別売りのデジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送の録画ができます。番組予約機能の付いたデジタルCSチューナーと組み合わせると、予約録画もできます。デジタルCSチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください(35 ページ)。

ご注意

- 録画防止機能(コピーガード)がかかっている番組は録画できません。詳しくは、デジタルCSチューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

デジタルCS放送を録画する

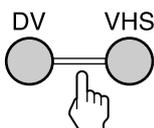
本機の入力1端子につないだデジタルCSチューナーから、デジタルCS放送を録画することができます。



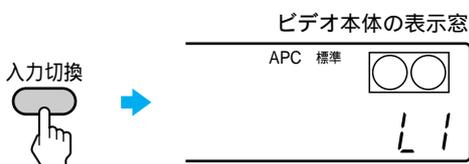
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

3 DVまたはVHSボタンを押して、録画するデッキを選ぶ。



4 入力切換ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出す。



5 デジタルCSチューナーの電源を入れる。

6 デジタルCSチューナーで番組を選ぶ。

7 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ（VHSのみ）。



8 録画●ボタンを押す。
ビデオ本体の録画表示が点灯して、録画が始まります。



録画中にテレビで裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止||ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

ご注意

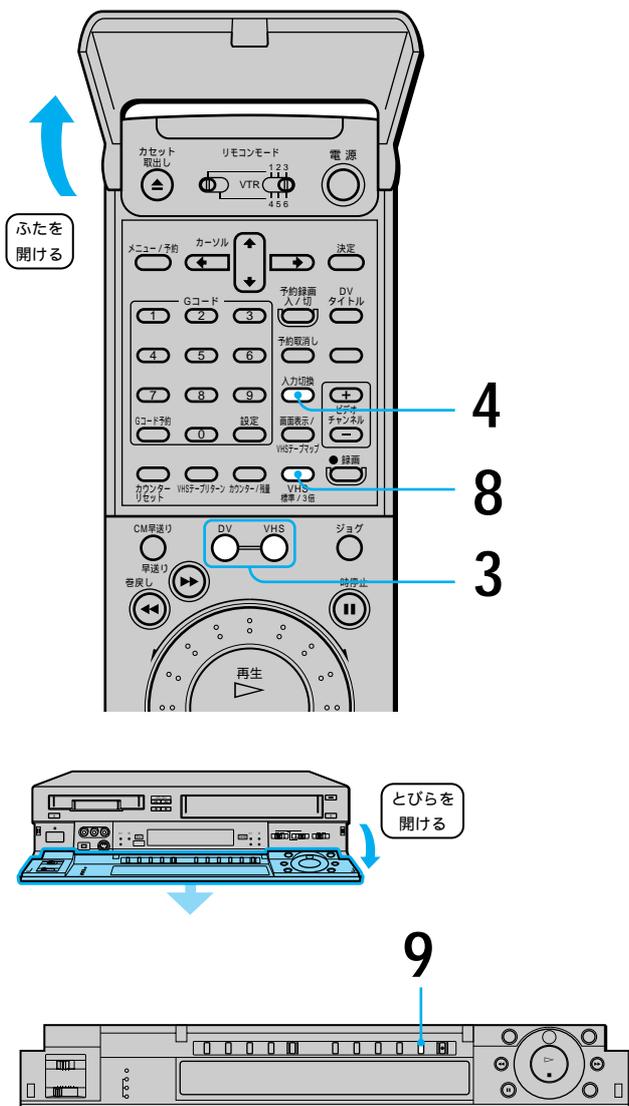
- デジタルCS放送の録画中はデジタルCSチューナーの電源を入れたままにしておいてください。

別売りのデジタルCSチューナーから録画する(つづき)

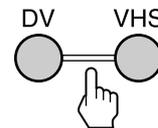
デジタルCS放送を予約録画する (デジタルCSシンクロ録画)

本機の入力1端子につないだデジタルCSチューナーに、番組予約機能があるときは、デジタルCSチューナーの電源と連動させて予約録画ができます。予約開始時刻にデジタルCSチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。

番組予約機能がある機器(CATVチューナーなど)も本機の入力1端子につなぐと、この方法で予約録画ができます。



- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。
- 3 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。



- 4 入力切換ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出す。



- 5 デジタルCSチューナーの電源を入れる。
- 6 デジタルCSチューナーで番組予約をする。
- 7 デジタルCSチューナーの電源を切る。
- 8 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ(VHSのみ)。



- 9 シンクロ録画ボタンを「ピー」と音がするまで押す。
ビデオ本体のシンクロ録画表示が点灯して、選んだデッキがシンクロ録画予約待機になります。



シンクロ録画中に録画を止めるには
シンクロ録画ボタンを押します。

シンクロ録画予約待機を取り消すには

シンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画表示を消灯します。(録画が終わっても、シンクロ録画予約待機は解除されません。)

デジタルCS放送を長時間続けて予約録画するには(デジタルCSリレー録画)

デジタルCS放送をVHSテープからDVテープに続けてシンクロ録画することができます。DVテープからVHSテープにデジタルCSリレー録画することはできません。

- 1 VHSデッキにカセットを入れる。
- 2 VHSボタンを押して、VHSデッキを選ぶ。
- 3 「デジタルCS放送を予約録画する」( 70ページ)の手順4~9にしたがって、デジタルCSシンクロ録画を設定する。
- 4 DVデッキにカセットを入れる。
- 5 DVボタンを押して、DVデッキを選ぶ。
- 6 シンクロ録画ボタンを「ピー」と音がするまで押す。
ビデオ本体のリレー録画表示(VHSからDV)が点灯します。VHSテープの終わりまで録画すると、自動的にDVテープに切り換わり、録画を続けます。

シンクロ録画予約待機中にビデオを使うには

シンクロ録画予約待機中でないデッキは、デッキを選んでそのまま使えます。デジタルCSシンクロ録画開始時刻になると、一方のデッキを使用中でも、デジタルCSシンクロ録画が始まります。

シンクロ録画予約待機中のデッキを使うときは、DVまたはVHSボタンを押してシンクロ録画予約待機中のデッキを選び、シンクロ録画ボタンを押してシンクロ録画表示を消灯させます。シンクロ録画表示が点灯したままで操作しようとする、「ピピピ」と音がして、操作できません。

予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、DVまたはVHSボタンを押してシンクロ録画するデッキを選び、シンクロ録画ボタンを「ピー」と音がするまで押します(シンクロ録画表示が点灯)。

シンクロ録画予約待機中にデジタルCSチューナーを使うには

DVまたはVHSボタンを押してシンクロ録画予約待機中のデッキを選び、シンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画表示を消灯させます。この状態でデジタルCSチューナーが使えます。シンクロ録画表示が点灯中に、デジタルCSチューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。

予約開始時刻になる前に、デジタルCSチューナーの電源を切り、予約待機にします。DVまたはVHSボタンを押してシンクロ録画するデッキを選び、シンクロ録画ボタンを「ピー」と音がするまで押します(シンクロ録画表示が点灯)。

ご注意

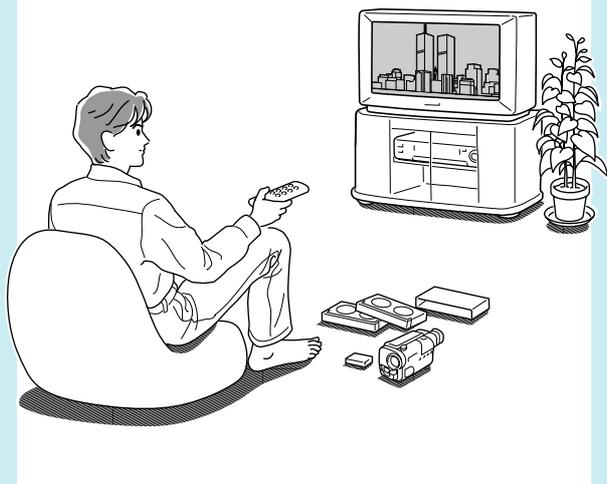
- 1つのデッキでデジタルCSシンクロ録画と予約録画を同時に行うことはできません。
- シンクロ録画予約待機中またはシンクロ録画中に、メニューの設定の変更はできません。
- シンクロ録画表示が点灯中に、デジタルCSチューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。
- ビデオマウス付デジタルCSチューナーをつないだ場合、本機のデジタルCSシンクロ録画を使うときは、ビデオマウスを使わないでください。

編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。

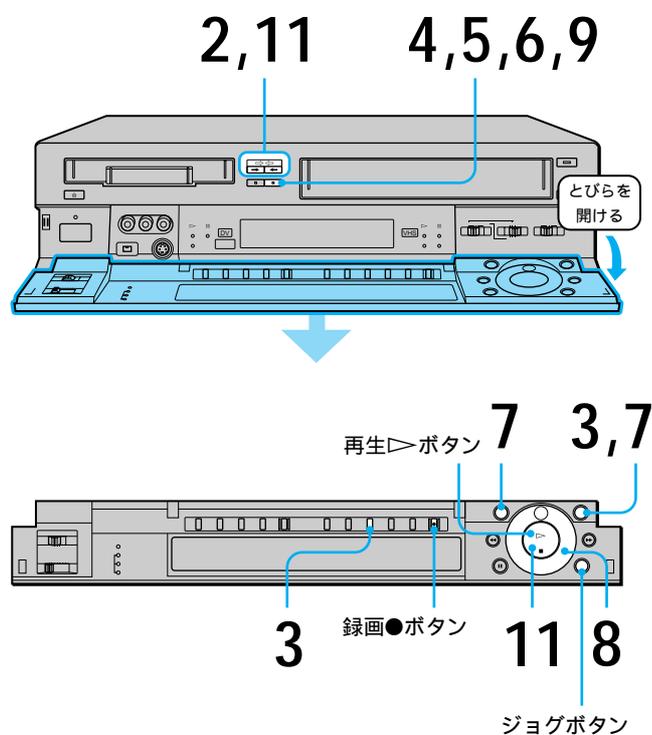
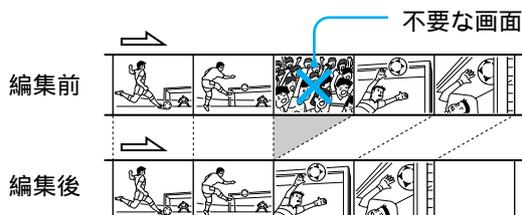
録画したテープの好きな場面を順につないで他のテープに録画することができます。また、好きな場面にタイトルを入れたテープを作ることもできます。2つの方法があります。

- カセットメモリー付きのDVテープを使って、好きな場面にタイトルを入れる（DVのみ）
- 別売りのタイトラーをつないで編集する。



好きな場面だけつないで編集する

録画したテープから不要な場面をカットし、好きな場面だけをつないで他のテープに録画できます。リモコンではできません。



1 両方のデッキにカセットを入れ、編集を始める場面まで巻き戻し(または早送り)しておく。

2 DV→/←VHSボタンを押して、ダビングの方向を選ぶ。
大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。

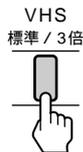


3 録画モードを選ぶ(VHSデッキで録画するとき)。

1 VHSボタンを押して、VHSデッキを選ぶ。



2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
両方のデッキが一時停止状態になります。



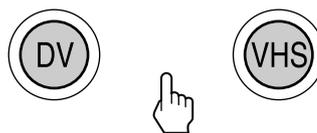
5 編集スタンバイ/開始ボタンをもう1回押す。
両方のデッキの一時停止が解除され、録画が始まります。



6 不要な場面で編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
両方のデッキが一時停止状態になります。

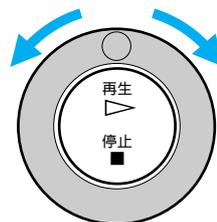


7 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選ぶ。



8 クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。

ジョグボタンを押してからクリックジョグ/シャトルを回すと、微妙な速度調整ができて便利です(54ページ)。



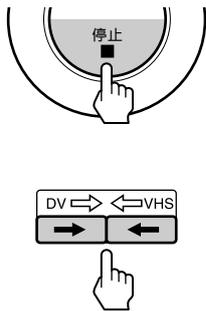
9 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
録画が再開します。



好きな場面だけつないで編集する (つづき)

10 手順6から9を繰り返して、必要な場面をつないで録画していく。

11 終わったら停止■ボタンを押し、DV→/←VHSボタンを押して編集方向表示を消す。



手順6で不要な場面で止められず、テープが行きすぎたときは

- 1 DVまたはVHSボタンを押して録画側のデッキを選び、再生▷ボタンを押す。
- 2 クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。
- 3 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。
- 4 DVまたはVHSボタンを押して録画側のデッキを選び、録画●ボタンを押してから手順9以降を行う。

VHSデッキでAPCを働かせて録画するには

手順4でビデオ本体の「APC」表示が点滅するときは、VHSデッキを選んで録画●ボタンを押します。「APC」表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから手順5に進んでください(57ページ)。

ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- 二か国語放送などで録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切替ボタンで音声を選んでおきます(57ページ)。
- アフレコしたテープを再生側で使うとき、記録したい音声を選べます。アフレコしたDVテープを使うときは、DV音声ミックススイッチで選びます(58ページ)。アフレコしたVHSテープを使うときは、メニューの「各種設定VHS」の「VHS 音声ミックス」で選びます(58ページ)。
- DVテープに録画するときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(39ページ)。

ご注意

- つないだ部分の最初の画像が乱れることがあります。
- 手順4および手順6で、両方のデッキの一時停止状態が5分以上続くと、再生側のデッキは再生に、録画側のデッキは停止状態になります。

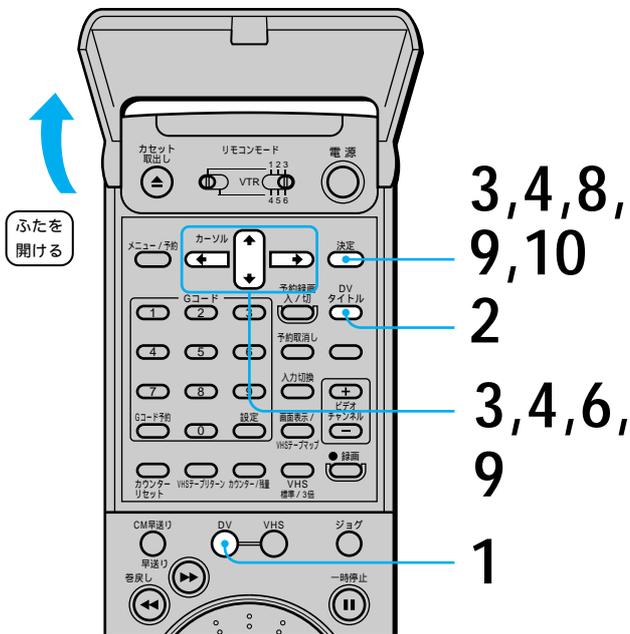
タイトルを入れる (カセットメモリー付きDVのみ)

カセットメモリー付きのDVテープには、タイトルを好きな場面に重ねて入れられます。タイトルを入れたDVテープからダビングすると、タイトルが入ったVHSテープなどを作ることができます。入れたタイトルは、再生したときに約5秒間表示されます。

タイトルはカセットメモリーに記録されます(89ページ)。1本のカセットに、平均5文字で18個のタイトルを入れられます。

好きな場面にタイトルを入れる

あらかじめ用意されている18種類の単語から、タイトルを選べます。また、ひらがなや記号などを組み合わせ、最大20文字のオリジナルタイトルを作成できます。色・位置・サイズを選んで、好きな場面に入れられます。タイトルは、テープが再生または再生一時停止状態になっていないと入れられません。



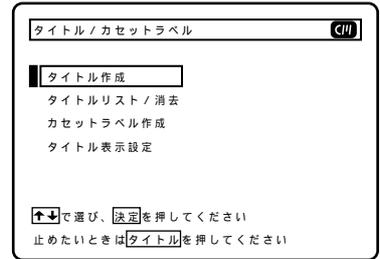
1 DVボタンを押す。



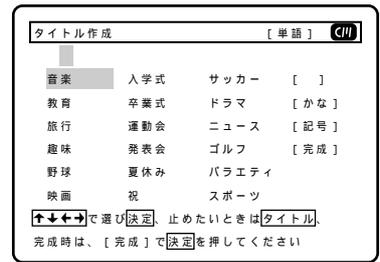
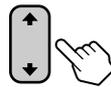
2 DVタイトルボタンを押す。



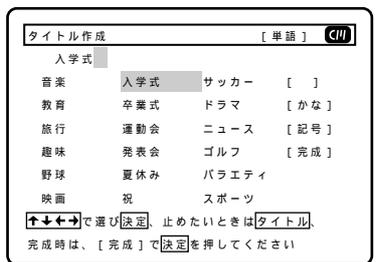
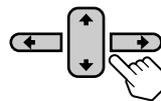
テレビ画面



3 ↑/↓で「タイトル作成」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓/←/→で単語を選び、決定ボタンを押す。



• ひらがなや記号を使ってオリジナルタイトルを作成したいときは

1 ↑/↓/←/→で[かな]または[記号]を選び、決定ボタンを押す。

ひらがなやアルファベットなどを選ぶ画面に移ります。[単語]を選ぶと、単語を選ぶ画面に戻ります。

2 ↑/↓/←/→で文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文字がテレビ画面に表示されます。これを繰り返して、タイトルを作成します。

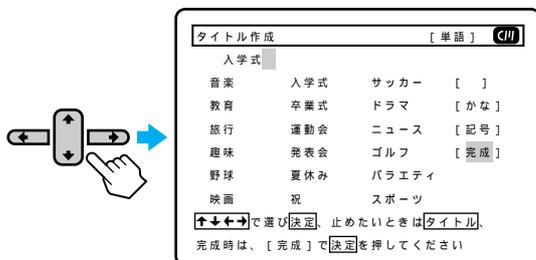
• 間違えたときは

↑/↓/←/→で[←]を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が1文字ずつ消えます。

タイトルを入れる(つづき)

5 DVテープを再生一時停止にする。

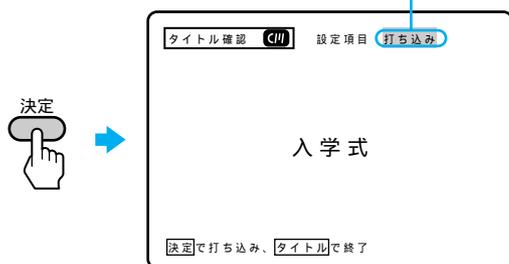
6 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で[完成]を選ぶ。



7 タイトルを入れたい場面を出す。

8 決定ボタンを押す。
「タイトル確認」の画面が出ます。

「設定項目」が「打ち込み」になる



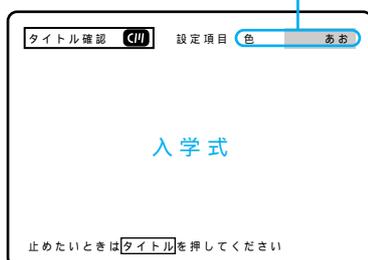
9 色・サイズ・位置を設定する。
表示されている色・サイズ・位置でよいときは、手順10にすすんでください。

1 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「色」、「サイズ」または「位置」を選び、決定ボタンを押す。

2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で設定する。
 \blacktriangledown を押すたびに次のように切り換わりませす。

色 しろ→きいろ→みずいろ→みどり→
むらさき→あか→あお
サイズ 大→小
位置 1(画面の上の部分)→2→3→4→5→
6→7→8(画面の下の部分)→
9(「サイズ」が「小」のときのみ)

「色」を「あお」にしたとき



3 決定ボタンを押す。
「設定項目」が「打ち込み」に戻ります。

4 他の項目も変えたいときは、手順**1**から**3**を繰り返す。

10 決定ボタンを押す。
「タイトル打ち込み中」の表示が出ます。
約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

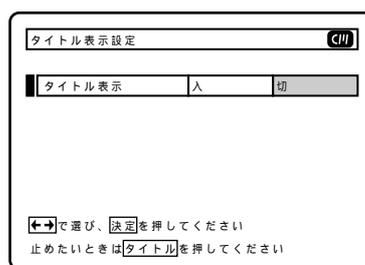
タイトル作成を途中でやめるには
DVタイトルボタンを押します。

タイトルが入らないときは

カセットメモリーがいっぱいになっています。手順**10**で決定ボタンを押してもタイトルを入れられないときは、「カセットメモリーの内容を消す」(79ページ)にしたがって、カセットメモリーの不要なデータを消してください。

タイトルを表示したくないときは

1 DVタイトルボタンを押す。
2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「タイトル表示設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「切」を選び、決定ボタンを押す。

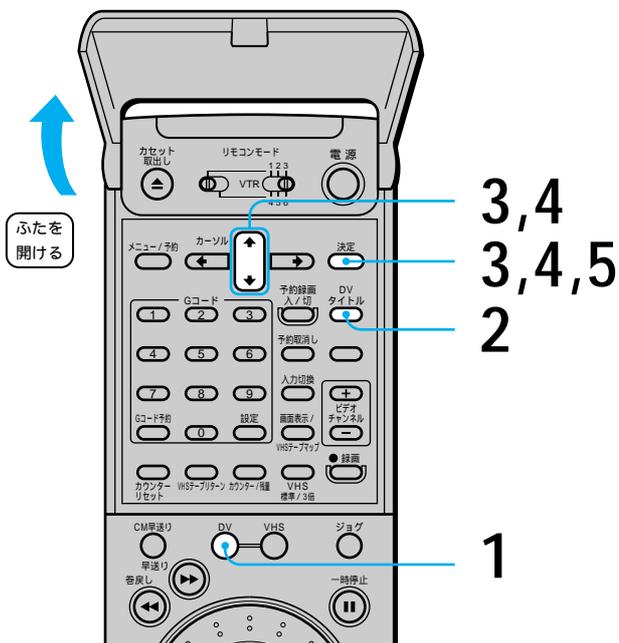


ご注意

- テープの何も録画していない部分には、タイトルを入れられません。
- カセットのつまみが赤になっていると、タイトルを入れられません。つまみを元に戻してください(89ページ)。
- テープが再生または再生一時停止状態になっていないと、タイトルを入れられません。
- 手順**5**で再生一時停止状態が5分以上続くと、自動的に再生に戻ります。もう一度再生一時停止状態にしてください。
- 録画した部分の間に無記録の部分があるテープでは、タイトルが正しい位置に表示されないことがあります。

タイトルを確認する・消す

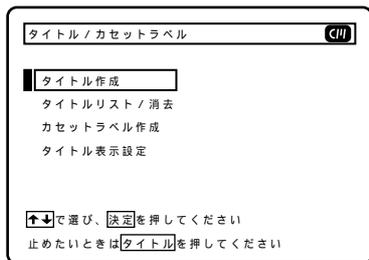
入れたタイトルの一覧をテレビ画面で確認できます。また、不要なタイトルを消すことができます。



1 DVボタンを押す。



2 DVタイトルボタンを押す。

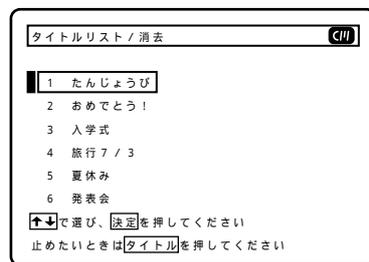
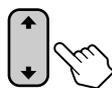


テレビ画面

3

▲/▼で「タイトルリスト/消去」を選び、決定ボタンを押す。

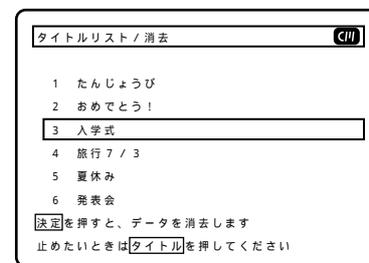
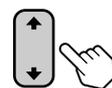
入れたタイトルが表示されます。6つ以上入れたときは、▼を押すと確認できます。DVタイトルボタンを押すとメニューが消えます。



4

▲/▼で消したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

確認のメッセージが出ます。



5

決定ボタンを押す。
タイトルが消えます。

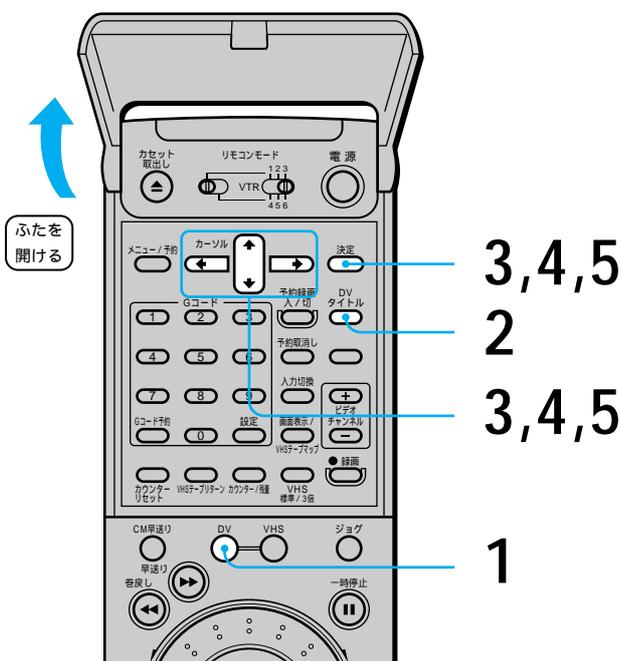
ちょっと一言

- タイトルを変更したいときは、いったん消してから、もう一度作って入れ直してください。

タイトルを入れる(つづき)

カセットになまえを付ける (カセットラベル)

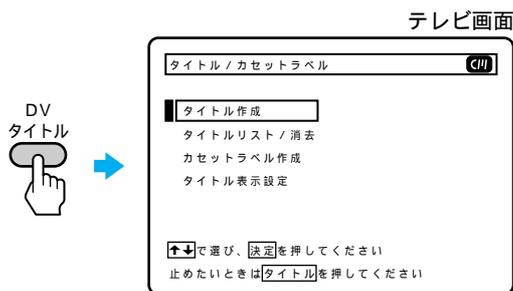
カセットメモリー付きのDVテープには、最大10文字のなまえ(カセットラベル)を付けられます。カセットラベルは、カセットを入れたときに約10秒間テレビ画面に表示されます。再生しなくてもテープの内容を確認することができて便利です。



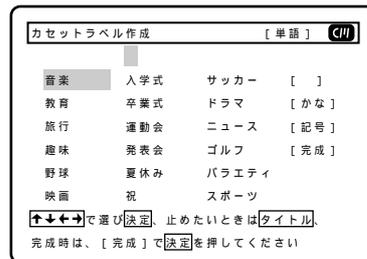
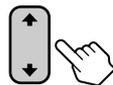
1 DVボタンを押す。



2 DVタイトルボタンを押す。

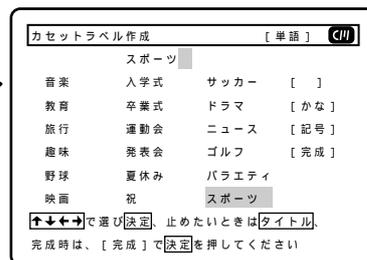
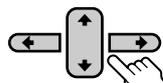


3 ▲/▼で「カセットラベル作成」を選び、決定ボタンを押す。



4 ▲/▼/◀/▶で単語を選び、決定ボタンを押す。

選んだ単語がテレビ画面に表示されます。



• ひらがなや記号を使ってオリジナルカセットラベルを作成したいときは

1 ▲/▼/◀/▶で[かな]または[記号]を選び、決定ボタンを押す。

ひらがなやアルファベットなどを選べる画面に移ります。[単語]を選ぶと、単語を選べる画面に戻ります。

2 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文字がテレビ画面に表示されます。これを繰り返して、カセットラベルを作成します。

• 間違えたときは

▲/▼/◀/▶で[←]を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が1文字ずつ消えます。

5 完成したら▲/▼/◀/▶で[完成]を選び、決定ボタンを押す。

カセットラベルが記録され、元の画面に戻ります。

ちょっと一言

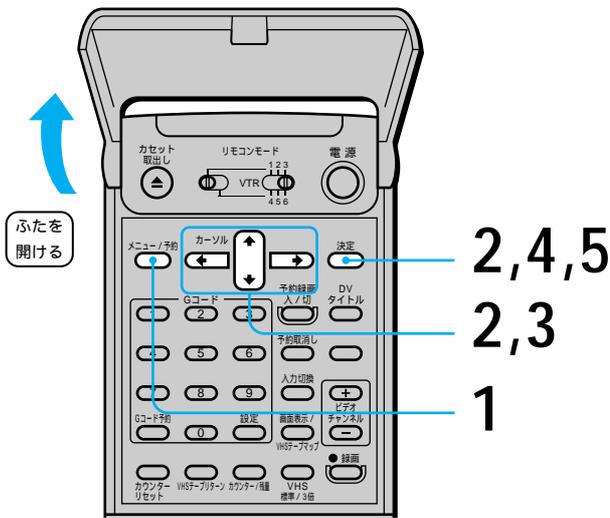
• カセットラベルを消すには、手順4で[←]を選び、文字を1文字ずつ消します。

ご注意

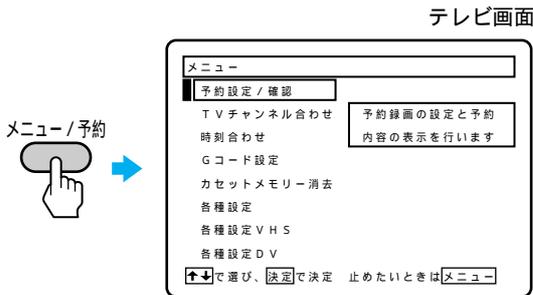
• カセットのつまみが赤になっていると、カセットラベルを入れられません。つまみを元に戻してください(89ページ)。

カセットメモリーの内容を消す (カセットメモリー付きDVのみ)

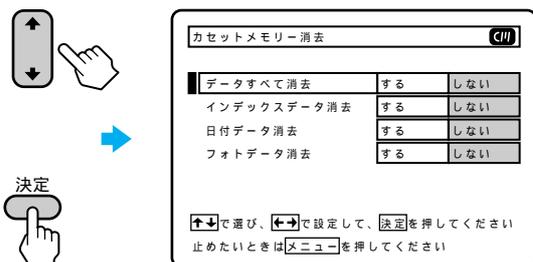
カセットメモリーに記録されたインデックス、日付、フォトデータをそれぞれ消すことができます。また、タイトルデータも含めたすべてのデータをまとめて消すこともできます。カセットメモリーがいっぱいで新しいタイトルを入れられないときや、テープを編集して不要な頭出し信号が多く入っているときなどは、以下の手順にしたがって不要なデータを消してください。



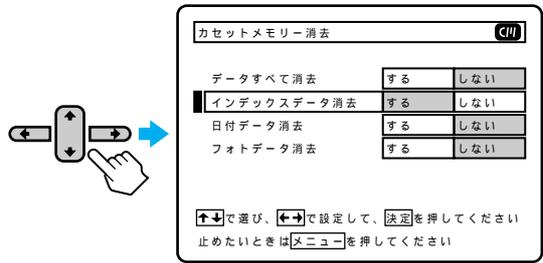
1 メニュー/予約ボタンを押す。



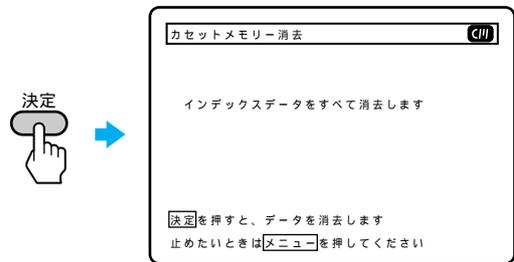
2 ▲/▼で「カセットメモリー消去」を選び、決定ボタンを押す。



3 ▲/▼で消したい項目を選び、◀/▶で「する」にする。「データすべて消去」を選ぶと、インデックス、日付、フォトデータおよびタイトルデータなどがすべて消えます。



4 決定ボタンを押す。確認のメッセージが出ます。



5 決定ボタンを押す。手順3で選んだ項目が消去されます。終わると元の画面に戻ります。途中でやめたいときは、メニューボタンを押してください。

ちょっと一言

- 手順3では、消したい項目を一度に2つ以上選ぶこともできます。

ご注意

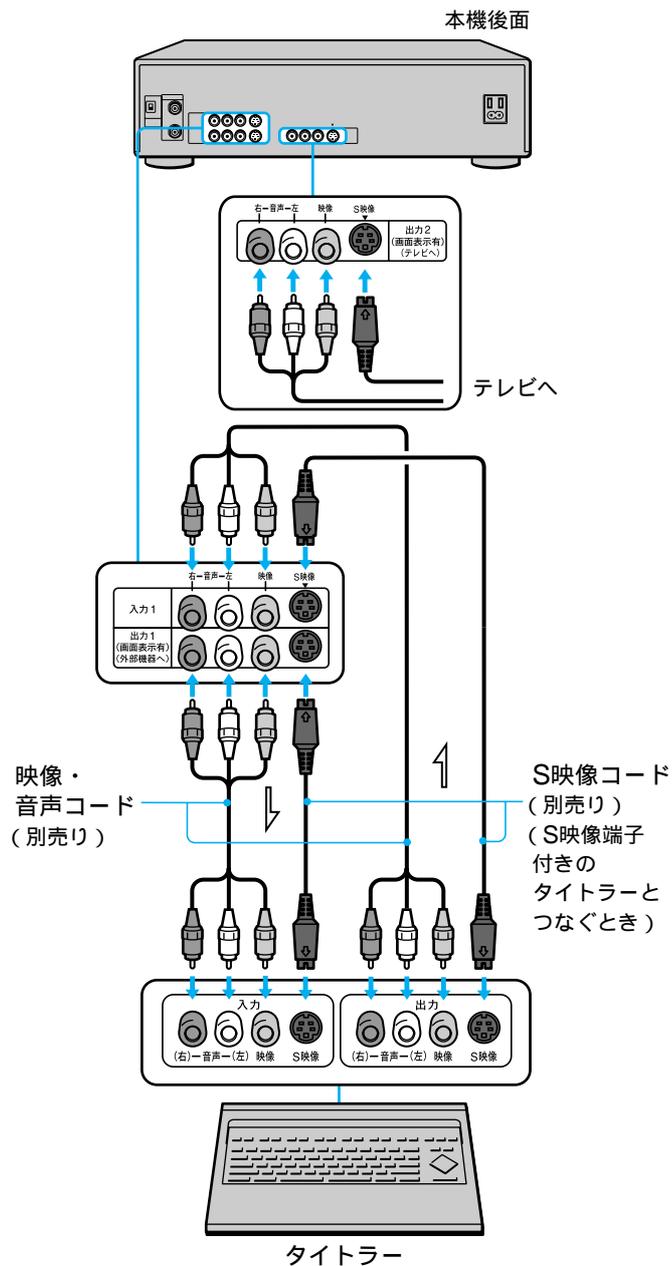
- カセットのつまみが赤になっていると、データを消去できません。つまみを元に戻してください(▶89ページ)。

別売りのタイトラー を使って編集する

本機にタイトラーをつなぐと、タイトラーで作った文字や絵を再生側の映像に重ねて、文字や絵の入ったテープを作ることができます。

タイトラーをつないで編集するときは、本機のDV→/←VHSボタンと編集スタンバイ/開始ボタンは使えません。以下のように操作してください。お手持ちのタイトラーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

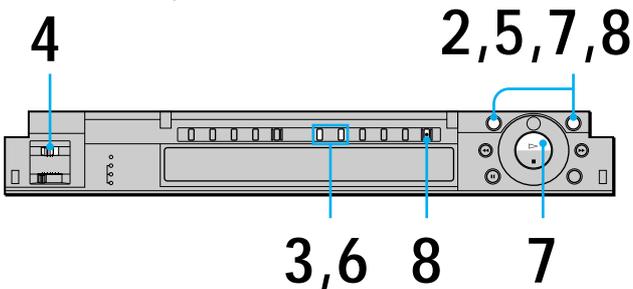
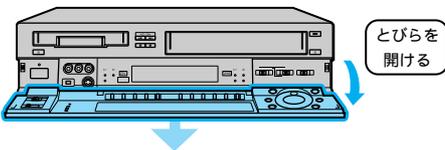
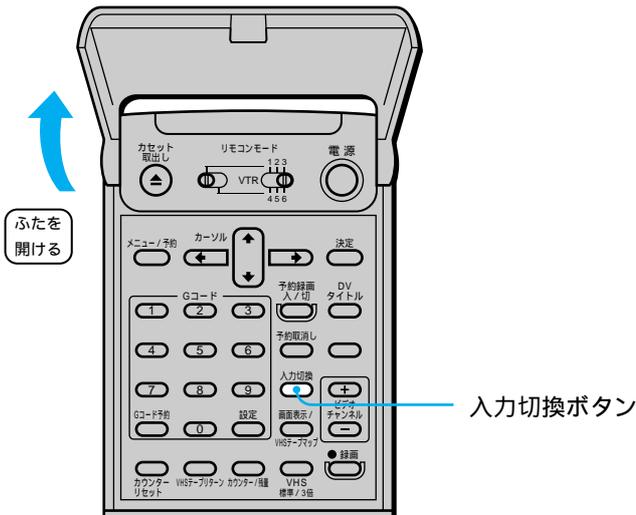


⇒ : 映像・音声信号の流れ

ちょっと一言

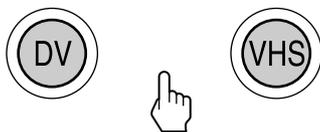
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にします(39ページ)。(入力2端子にS映像コードをつないだときは、映像信号は自動的にS映像端子に入力されます。)

タイトルを入れる

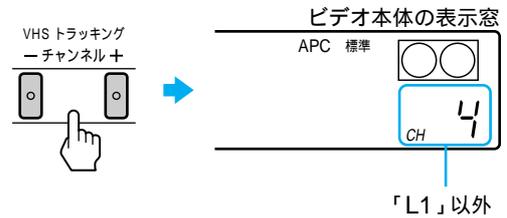


1 両方のデッキにカセットを入れ、タイトルを入れる場面の少し前まで巻き戻し(または早送り)しておく。

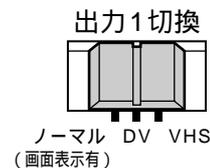
2 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選ぶ。



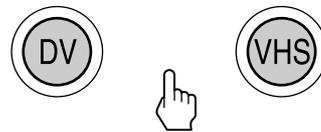
3 ビデオ本体の表示窓に「L1」以外の表示を出す。
チャンネル+/- ボタンで「L1」以外のチャンネルにしてください。「L1」になっていると、「ブーン」という音が出ることがあります。



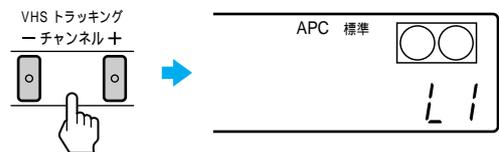
4 出力1 切替スイッチを再生側のデッキ (DVまたはVHS)に合わせる。



5 DVまたはVHSボタンを押して、録画側のデッキを選ぶ。



6 チャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出す。
タイタラーからの映像が画面にでます。この状態でタイトル作成できます。



7 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、再生▶ボタンを押す。



別売りのタイトラーを使って 編集する(つづき)

- 8** DVまたはVHSボタンを押して録画側のデッキを選び、録画●ボタンを押す。



- 9** タイトルを入れたい場面になったら、タイトラーを操作して画面にタイトルを出す。

ちょっと一言

- 手順3および手順6で入力切替ボタンを押して選ぶこともできます。

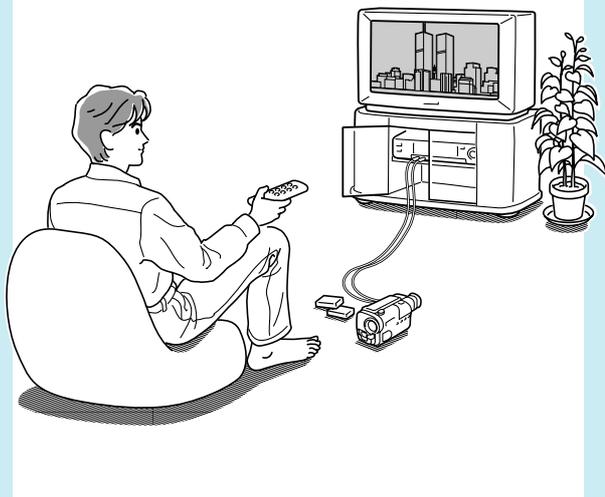
他機をつないで 行う操作

ここでは、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。

ビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機の前面入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで、テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集したりできます。

以下の機器の接続は()内のペ - ジをご覧ください。

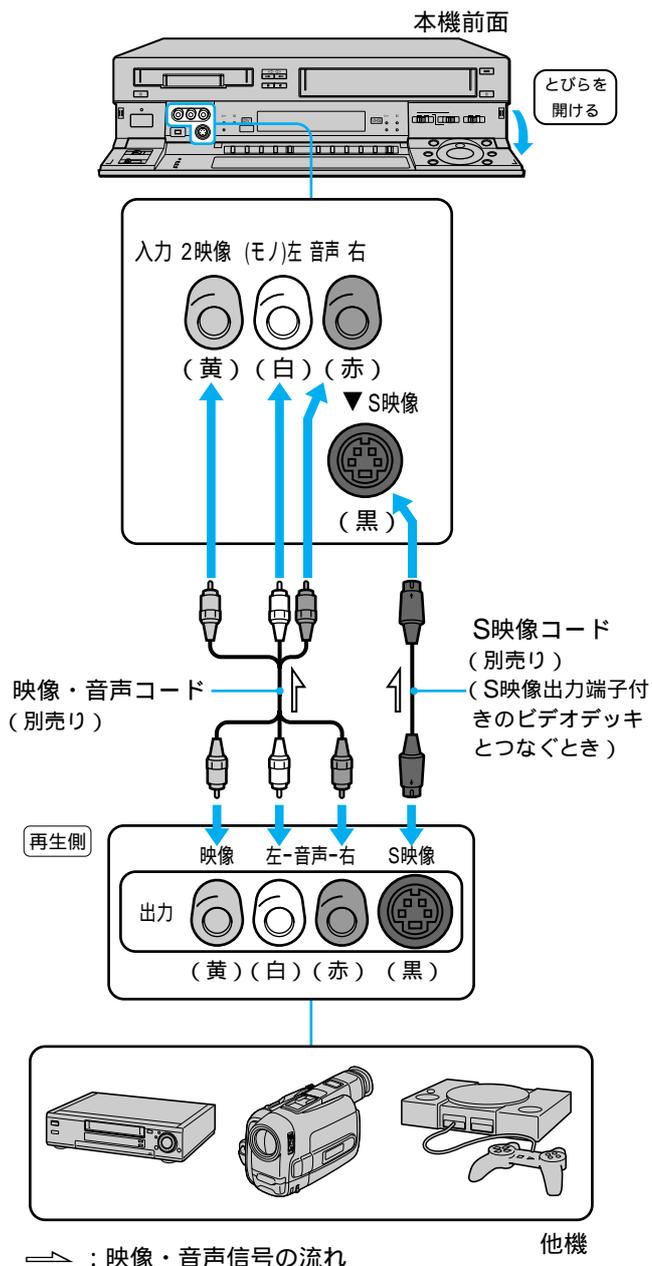
- BSチューナー内蔵テレビ・BSチューナー(15ページ)
- ケ - ブルテレビ(CATV)(34ページ)
- デジタルCSチューナー(35ページ)



ビデオ機器をつないで 見る・ゲームをする

テレビに映像・音声入力端子がなかったり、後面にしかない場合、本機前面の入力2端子にビデオカメラやゲームなどをつなぐと便利です。

接続する

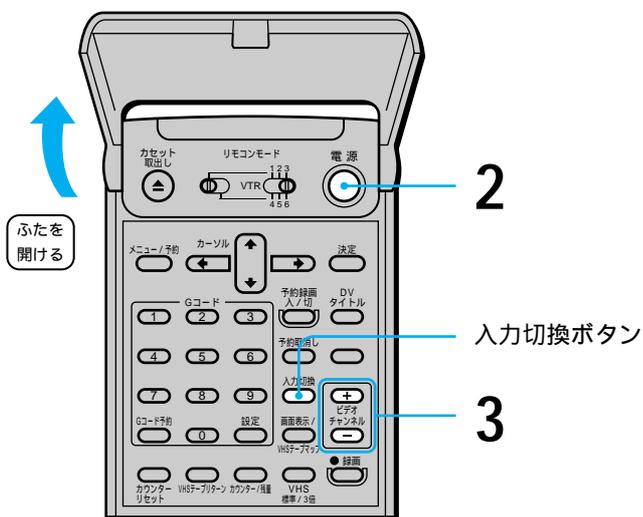


編集

他機をつないで行う操作

ビデオ機器をつないで見る・ ゲームをする(つづき)

ビデオを見る・ゲ-ムをする



- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、本機の電源を入れる。
- 3 ビデオチャンネル +/- ボタンを押して「L2」を選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) 入力1(L1)
入力2(L2) DV(DVのみ)



- 4 本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、その機器の再生をする。

ちょっと一言

- 手順3で入力切換ボタンを押しても「L2」が選べます。押すたびに次のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル 入力1(L1) 入力2(L2)
DV(DVのみ)

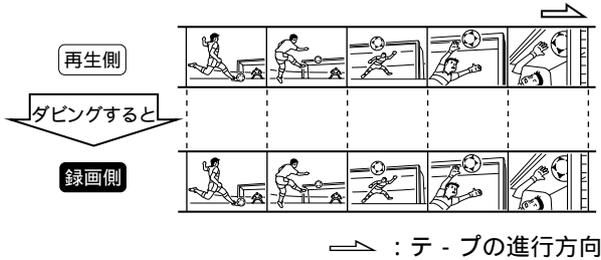
ご注意

- 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、音声コードを必ず音声左(モノ)端子につないでください。

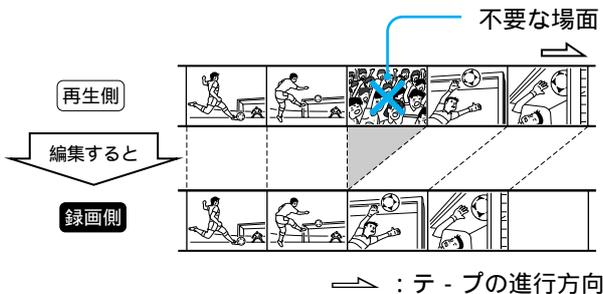
ビデオ機器をつないで ダビング・編集する

テープの内容を別のテープに録画します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

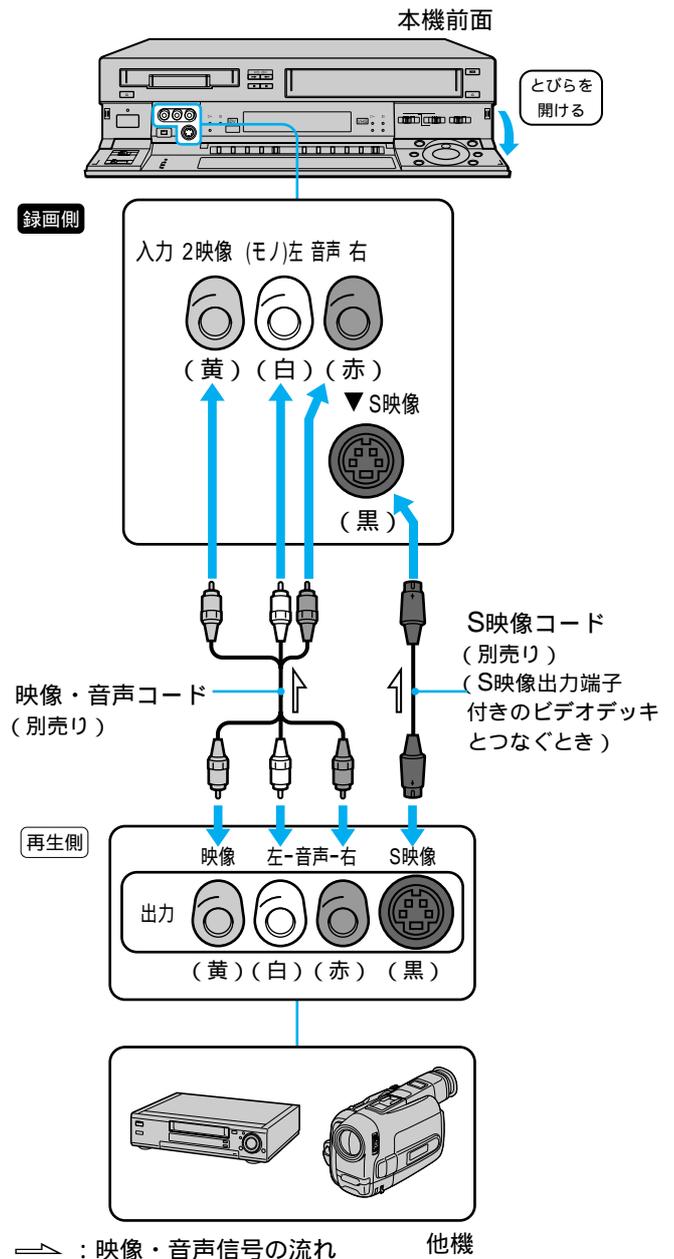
途中で止めずにそのままダビングするとき



好きな場面だけ編集するとき



接続する 本機で録画するとき



ちょっと一言

- 再生側の機器がモノラルのときは、音声コードは必ず音声左(モノ)端子につないでください(入力2のみ)。
- 本機で録画するとき、本機後面の入力1端子を使うこともできます。
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にします(▶ 39ページ)。(入力2端子にS映像コードをつないだときは、映像信号は自動的にS映像端子に入力されます。)

ご注意

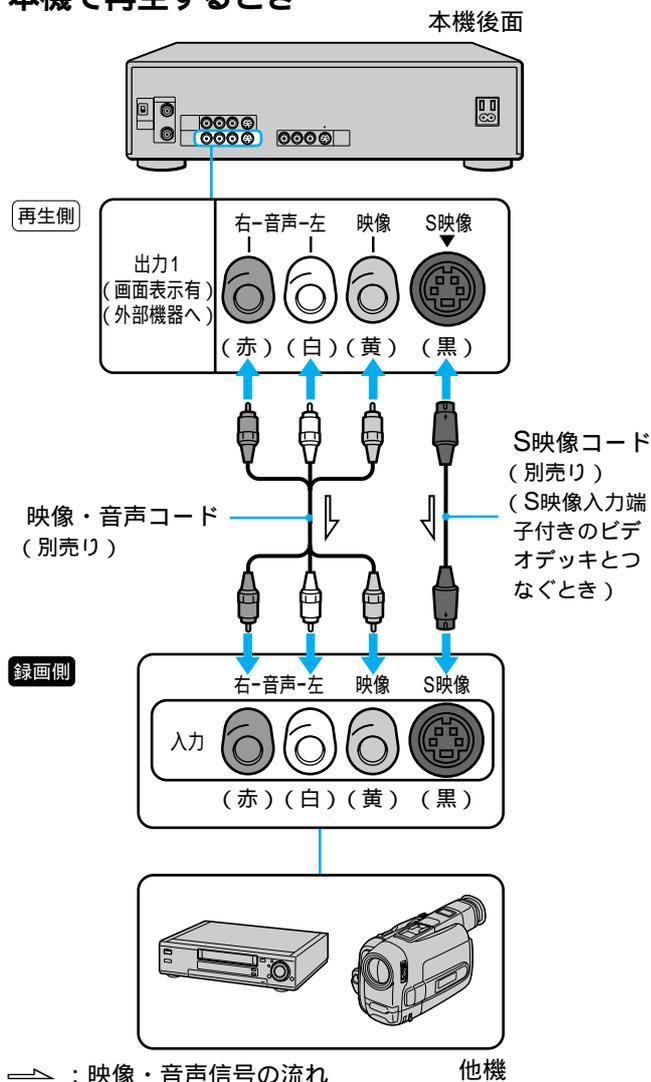
- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。

次のページにつづく

他機をつないで行う操作

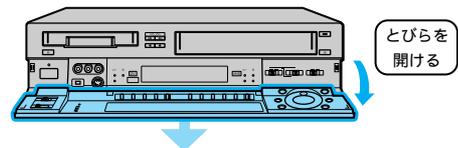
ビデオ機器をつないでダビング・編集する(つづき)

本機で再生するとき



ちょっと一言

- S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。
- 本機の出力1端子に他機を接続すると、本機前面の出力1切替スイッチでDVデッキまたはVHSデッキのどちらかの映像に固定できます。誤録画を防止するのに便利です。このとき、画面表示は録画されません(出力1切替スイッチを「ノーマル」にすると、選んでいるデッキの映像が出力されます)。

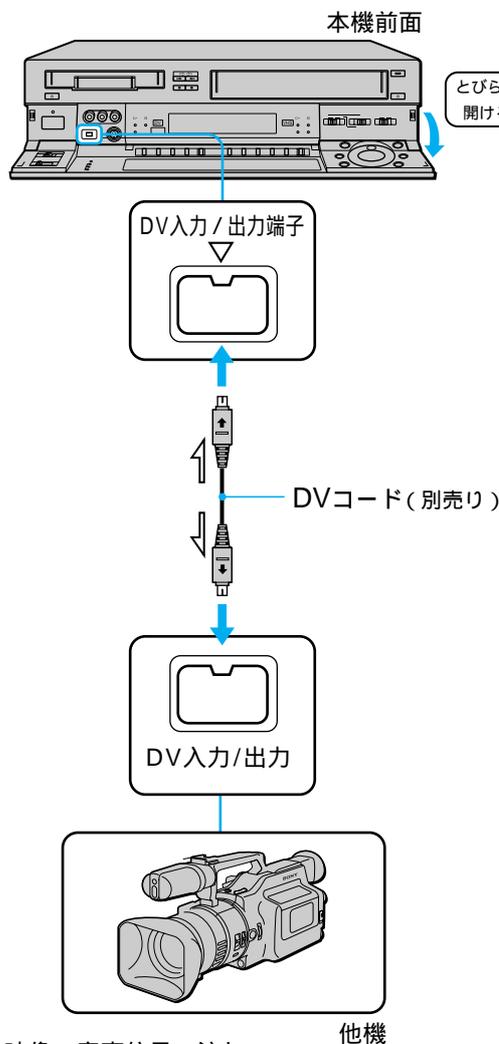


出力1 切替スイッチ



DV入力/出力端子のあるビデオ機器と接続するとき

DV入力/出力端子を使ってデジタルビデオとつなぐと、画像や音声をデジタル信号のまま伝送し、画質や音質をほとんど劣化させずに編集できます。また、機器の状態によって信号の流れる方向を自動的に切り換えるため、入力/出力に応じてつなぎなおす必要がありません。



ちょっと一言

- 本機のDV入力/出力端子から出力されるのは、DVテープの再生信号のみです。テレビ放送や本機の入力端子につないだ機器の信号、VHSデッキの再生信号などは出力されません。
- DV入力/出力端子につないだ機器からVHSデッキに録画することはできません。
- DV入力/出力端子を使ってつないだとき、再生側のテープに記録された録画情報(録画した日時、カメラ情報など)は、そのまま録画側に伝送されます。ただし、カセットメモリーの内容は伝送されません。
- DV入力/出力端子を使ってつないだとき、録画側のテープの音声記録モードは再生側と同じになります。本機で録画するとき音声記録モードを変えたいときは、入力1または入力2端子につないでください。

ダビング・編集する

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を録画側の機器に切り換える。

録画側 再生側

2 両方のビデオデッキにカセットを入れる。

再生側

3 画面表示を消す。
画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、ビデオ本体の出力1切換スイッチで再生するテープの入ったデッキを選んでください。画面表示が録画されなくなります。

再生側

4 二か国語放送などのテープからダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。
本機が再生側のときは、あらかじめ再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。

録画側

5 再生側の機器をつないでいる入力(「入力1」、「入力2」、「DV」など)に切り換える。
本機が録画側のときは、再生側の機器をつないでいる入力端子を、ビデオチャンネル+/-ボタンで選びます。
・入力1端子のときは「L1」
・入力2端子のときは「L2」
・DV入力/出力端子のときは「DV」(DVのみ)



6

録画側

録画モードを選ぶ。
本機が録画側でVHSデッキで録画するときには、VHS標準/3倍ボタンを押して選びます。

7

録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8

録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9

好きな場面だけ編集するとき

録画側

画像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

再生側

録画を再開したい場面の直前で再生一時停止にする。

手順8と9を繰り返して、好きな場面だけ編集します。

10

録画側 再生側

録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

音声をアフレコしたDVテープをダビング・編集するときは(本機が再生側のとき)

手順4でDV音声ミックススイッチを切り換えて、録音したい音声を選んでください(▶ 58ページ)。本機のDV入力/出力端子に他機をつないだときは、音声を選ぶことはできません。

ちょっと一言

- ・本機が再生側で出力2端子につないでいるときは、メニューの「各種設定」の「自動画面表示」を「切」にしておいてください(▶ 39ページ)。
- ・本機のDVデッキが再生側で、DV入力/出力端子につないだとき、ダビング・編集時(DVテープの再生中)に、ビデオ本体の表示窓に「DV出力」表示が点灯します。

ご注意

- ・編集したテープを再生すると、場面のつなぎ目で画像が乱れることがあります。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



使えるテープと再生・録画方式について

使用できるカセットについて

DVデッキでは、DV規格対応のDV、Mini DV マークのついたカセットをお使いください。ミニDVカセットを入れると、ビデオ本体の表示窓に「Mini」表示が出ます。

VHSデッキはVHS方式です。VHS方式はVHSテープもS-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で録画することはできません。

再生について

DVデッキでは、SPモードで録画したテープのみ再生できます。LPモードで録画されたテープは、録画した機器での再生をおすすめします。

VHSデッキでは、録画済みテープの録画モード(標準/3倍)を自動判別して再生します。S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません(簡易再生)。

ご注意

- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープをスローなど変速再生すると、画像が乱れることがあります。

録画について

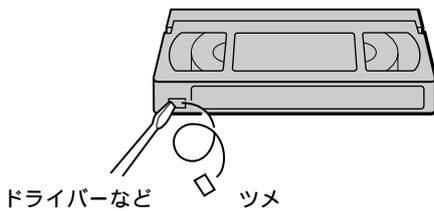
VHSデッキでは、VHSテープもS-VHSテープもVHS方式で録画されます。

ちょっと一言

- DVテープの録画内容を消したくないときは、カセットの背にある誤消去防止つまみを横にずらして赤い部分を出します。再び録画するときは、誤消去防止つまみを戻してください。

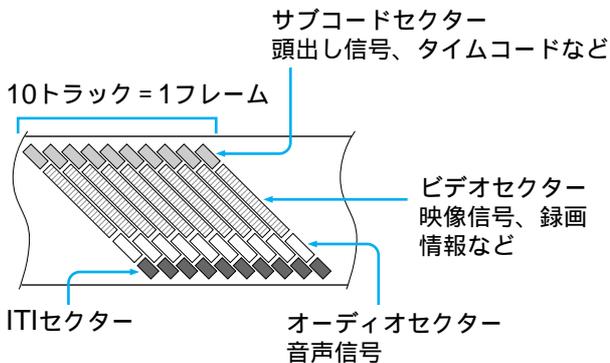


- VHSテープの録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。



DV方式の記録について

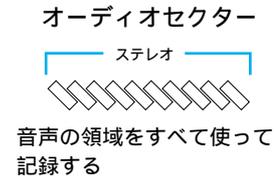
DVデッキでは、テープに次のように録画します。



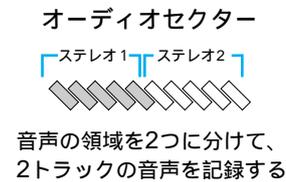
音声記録モードについて

DVデッキで録画するとき、音声は次のいずれかの方式で記録されます。

- 16ビットモード
DAT(デジタル・オーディオ・テープ)と同等の音質で記録できます。本機のチューナーでテレビ放送を録画するときは、音声は常に16ビットで記録されます。



- 12ビットモード
ステレオ1/ステレオ2の2トラックで音声を記録できます。他機でアフレコができます。



本機の入力端子につないだ機器からDVデッキで録画するとき、音声記録モードを選ぶことができます。音声記録モードは、メニューの「各種設定DV」の「入力音声記録」で選びます(39ページ)。

カセットメモリーについて

DVカセットおよびミニDVカセットには、カセットメモリー(CIIマーク)の付いているものがあります。カセットメモリーには、各番組の録画日時とテープ上の位置が記録され、番組の頭出しに利用できます。カセットのCII4Kマーク表示は、4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセットまで対応しています。

ご注意

- 海外の放送方式の異なるデジタルビデオとの互換性はありません。
- これらは登録商標です。

DX、**MiniDX**、**CII**

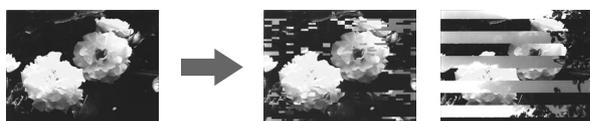
使用上のご注意

ヘッドのお手入れ - きれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット(DV用: DVM12CLなど、VHS用: T-25CLD、T-25CLDRなど)で、ヘッドをクリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

DVのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像にモザイク状のノイズが見られる。
- 正常に録画されなくなる。



汚れははじめたとき

汚れがひどいとき

VHSのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 画像が出なかったり、灰色の画面になる。



汚れははじめたとき

汚れがひどいとき

ヘッドを良い状態で維持するには

- レンタルテープをお使いになったときは、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、繰り返しヘッドをクリーニングします。ただし、5回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット(VHS用: T-25CLW)以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ソニー製湿式クリーニングカセット(VHS用: T-25CLW)は、定期的なクリーニングでのご使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ビデオテープについて

- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

DVテープについて

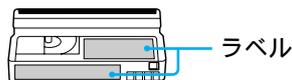
• 端子のクリーニング

DVテープおよびミニDVテープの金メッキ端子が汚れたりゴミが付着したりすると、カセットメモリーサーチ機能などが正しく働かないことがあります。カセット取り出し回数10数回を目安にして、綿棒でテープの金メッキ端子をクリーニングしてください。



• DVテープにラベルを貼るときは

下図の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。



• DVテープの使用後は

ご使用後はテープを始めまで巻き戻して、ケースに入れた上で立てて保管するようにしてください。巻き戻さないまま放置すると、画像や音声が乱れる原因となることがあります。

結露(露つき)について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやテープに水滴がつくことがあります。これを結露(露つき)といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りついて本機の故障やテープを傷める原因となります。

結露が起これると、ビデオ本体の \square 表示が点滅して、本機はまったく動作しなくなったり、カセットが自動的に出てきたりします。

結露が起きたときは

電源を入れたまま1時間以上放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

テープの結露が起きたときは

テープが結露すると、カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因となります。このときは乾燥するまでテープは使用しないでください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電源

電源が入っているのに操作できない。 → 結露(露つき)が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の \square 表示が消えるまで(1時間以上)待つ。

→ リピート再生になっている。VHSリピート再生ボタンを2秒以上押して、ランプを消灯する( 63ページ)。

電源が入らない。 → 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

→ 両方のデッキに予約が入っているときは、予約録画入/切ボタンまたはシンク口録画ボタン以外は働かない。

カセット

カセットが入らない。 → 電源プラグをコンセントに差し込む。
→ テープの見える面を上に入れて入れる。
→ 他のカセットが入っている。カセット取出し \blacktriangle ボタンを押して取り出す。
→ 結露が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の \square 表示が消えるまで(1時間以上)待つ。

カセットを入れると出てくる。 → 結露が起きている。電源を入れたまま、1時間以上待つ(DVのみ)。

画像

DVまたはVHSどちらか一方の画像しか映らない。 → ビデオ本体の出力1 切換スイッチを「ノーマル」にする。

→ テレビを出力2端子につなぐ。

故障かな？と思ったら(つづき)

- ビデオの画像が映らない。**
- テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2(放送のないほう)にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。
 - メニューが出ている。メニュー/予約ボタンを押して消す。
 - 予約画面が出ている。メニュー/予約ボタンを押す。
 - テープに何も記録されていない。
 - テープマップサーチ画面が出ている。画面表示/VHSテープマップボタンを繰り返し押し(VHSのみ)。

- 再生した画像がチラつく、汚ない、モザイク状のノイズが出る。**
- トラッキングがずれている(VHSのみ)。トラッキング+/- ボタンで調整する(62ページ)。
 - ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする(90ページ)。
 - テープに傷がある。
 - LPモードで記録されたDVテープを再生している。

- ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。**
- アンテナやテレビを正しくつなぐ(9ページ)。
 - メニューの「TVチャンネル合わせ」でチャンネルを合わせる(18ページ)。
 - 外部入力になっている(ビデオ本体の表示窓に「L1」、「L2」または「DV」が表示されている)。ビデオチャンネル+/- ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させる。

- ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。**
- 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。
 - アンテナの向きを調節する。
 - 画像を微調整する(37ページ)。
 - 本機とテレビを離して設置する。
 - 本機から離してアンテナ線をたばねる。

- テレビのチャンネルを変えられない。**
- テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。
 - アンテナ線を正しく接続する(10ページ)。
 - 接続が終わったら、チャンネル合わせをする(18ページ)。

- 本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。**
- ビデオチャンネル+/- ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」をビデオ本体の表示窓に出す。DV端子につないでいるときは「DV」を出す(DVのみ)。

- S映像端子を使って本機の入力1端子につないだ場合は、メニューの「各種設定」で「映像入力1」を「S映像」にする。S映像端子を使っていない場合は「映像」にする(39ページ)。

- 本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。**
- DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、デジタルCSチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。

音声

- 2つの音が混ざって聞こえる。**
- 音声切換ボタンを押す。
 - メニューの「各種設定VHS」で「VHS音声ミックス」を「切」にする(39ページ)。
 - DV音声ミックススイッチが「ステレオ1」または「ステレオ2」以外に設定されている。「ステレオ1」または「ステレオ2」にする(58ページ)。

- DVテープの音声が聞こえない。**
- DV音声ミックススイッチが「ステレオ2」に設定されている。「ステレオ1」にする(58ページ)。

- 再生時に音声が途切れる。**
- テープに傷がある。

- ステレオ放送を録画したテープがモノラルで聞こえる。**
- モノラル音声を選ばれている。音声切換ボタンを押してステレオ音声を選ぶ。
 - モノラルビデオで録画したテープは、常にモノラル音声になる。

- テレビとビデオをアンテナ線だけではないでいる。映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなぐ。
- 録画するときにメニューの「各種設定」で「自動ステレオ受信」を「入」にしておく(39ページ)。
- 電波が弱いためモノラルで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。

録画・予約・編集

録画ボタンを押すと、カセットが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする( 89ページ)

おまかせダビングボタンを押すと、カセットが録画できない状態になっている。ダビングしたいときは録画できる状態にする( 89ページ)

カセットが出てくる。→ 市販のビデオソフト/レンタルビデオはダビングできません。

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。

予約したのに録画されていない。→ 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す( 19ページ)

→ 著作権保護のための信号が含まれているものを予約していた(DVのみ)

予約した内容が途中で切れている。→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す( 19ページ)

→ 予約が重なっていた( 47ページ)

→ プロ野球中継など前の番組が延長されたため。

予約した内容が途中から始まっている。→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

Gコード

Gコードが入力できない。→ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。

予約内容が違う。→ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する( 25ページ)

→ 受信している放送局が登録されていない。チャンネルを追加する( 30ページ)

→ ケーブルテレビ(CATV)は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

→ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる( 19ページ)

デジタルCSチューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。→ シンクロ録画予約待機中に停電があり、シンクロ録画表示が消灯したため。

→ デジタルCSチューナーの電源を切り忘れたため。デジタルCSチューナーの電源を切ってからシンクロ録画予約待機にする( 70ページ)

シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。→ シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。

デジタルCSチューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。→ デジタルCSシンクロ録画機能が働いている。ビデオ本体のシンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画表示を消灯させる( 71ページ)

表示

メニューや画面表示が画面に出ない。→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2(放送のないほう)にする。

→ テレビの入力端子に本機の出力2端子をつなぐ。

→ ビデオ本体の出力1 切換スイッチを「ノーマル」にする。

ビデオ本体のカセット表示が点滅する。→ 予約待機中で、テープが終わりまで進んでいるため。テープを巻き戻し、予約録画入/切ボタンを押す。

→ 予約待機中で、カセットが入っていない。カセットを入れ、予約録画入/切ボタンを押す。

ビデオ本体のテープカウンターが動かない。→ 録画されていない部分は動かない。

→ 早送り、巻き戻しの加減速中は、表示が止まることもある(DVのみ)。

テープカウンターやタイムコードが連続して表示されない(DVのみ) → 本機はドロップフレーム方式( 103ページ)を採用しているため、29フレームから02フレームに飛ぶことがある。

→ 録画されていない部分がある。

→ ヘッドが汚れている。

→ 早送り、巻き戻しの加減速中は、表示が止まることもある。

故障かな？と思ったら(つづき)

-
- ビデオ本体に「- : - -」表示が点灯している。
- 時計を合わせる(87 19ページ)。
→ 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す(87 19ページ)。
-
- テープマップサーチ画面が表示されない(VHSのみ)
- 1時間以上の停電があり、テープマップサーチの記録が消えたため。
→ カセットを取り出したため。
→ 時計を合わせる(87 19ページ)。
-
- ビデオ本体に⊖表示が出ている。
- 自己診断機能が働いている。「自己診断表示」(87 95ページ)にしたがって対応する。
-
- ビデオ本体の予約録画表示が予約待機中または予約録画中なのに消えている。
- 予約録画中にテープが終わりまで進んだため。続けて録画する場合は、録画するテープを入れ、予約録画入/切ボタンを押す。
-
- ビデオ本体のシンクロ録画表示が、シンクロ録画予約待機中またはシンクロ録画中なのに消えている。
- シンクロ録画中にテープが終わりまで進んだため。続けて録画する場合は、録画するテープを入れ、シンクロ録画ボタンを押す。
-

リモコン

- リモコンが働かない。
- 乾電池が消耗している(87 8ページ)。
→ 乾電池が入っていない(87 7ページ)。
→ 本体の電源を入れる。
→ リモコンを本体に向けて操作する(87 8ページ)。
→ ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする(87 7ページ)。
→ 両方のデッキに予約が入っているときは、予約録画入/切ボタンまたはシンクロ録画ボタン以外は働かない。
→ 乾電池を交換すると、リモコンのテレビメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。メーカー番号を合わせ直す(87 36ページ)。
→ シンクロ録画表示が点灯しているときは、デジタルCSシンクロ録画機能が働いている(本体のボタンも働かない)。ビデオ本体のシンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画表示を消灯させる(87 71ページ)。
→ リピート再生になっている。VHSリピート再生ボタンを2秒以上押して、ランプを消灯する(87 63ページ)。
-
- 本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのビデオが同時に動いてしまった。
- 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える(87 8ページ)。
-
- リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。
- チャンネルは、チャンネル+/- ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコードを入れるときに使う。
-

自己診断表示

(アルファベットや数字で始まる表示、表示が出たら)

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機が正しく動作していないときに、ビデオ本体の表示窓に数字とアルファベットの4桁～5桁の表示、または表示を出してお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示にあった対応をしてください。

表示の「」に入る数字またはアルファベットは、本機の状態によって変わります。

表示	原因と対応のしかた
	結露(露つき)が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の  表示が消えるまで(1時間以上)待つ。
□□□□ (4桁、DV)	本機が正しく動作していない。カセットを入れ直し、再度操作し直す。
□□□□□ (5桁、VHS)	

正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示をお知らせください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではビデオデッキの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名: WV-D700

故障の状態: できるだけ詳しく

購入年月日:

主な仕様

システム

録画方式	DV : DV方式(民生用デジタルVCR・SD仕様) VHS : 回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
録音方式	DV : 回転2ヘッドヘリカルスキャンデジタルコンポーネント記録 VHS : 回転2ヘッドハイファステレオ方式(VHS従来音声トラックはモノラル録音)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
映像量子化(DV)	8ビット
映像標準化周波数(DV)	13.5MHz(4:1:1コンポーネント)
音声量子化(DV)	16ビット(直線)または12ビット(非直線)
音声標準化周波数(DV)	48kHz(16ビット録音時)または32kHz(12ビット録音時)
テープ速度	DV : 18.8mm/秒(SP) VHS : 33.4mm/秒(標準) 11.1mm/秒(3倍)
使用可能テープ	DV : DV方式、ミニDV方式のビデオカセットテープ VHS : VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	DV(DV120使用時): 2時間 VHS(T-180使用時): 3時間(標準) 9時間(3倍)
早送り・巻き戻し時間	DV : 約1分30秒(DV120使用時) VHS : 約3分(T-120使用時)
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	インターキャリア方式
受信チャンネル	VHF : 1~12チャンネル UHF : 13~62チャンネル CATV : C13~C35チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75 F型コネクター
映像入力	入力1/入力2の2系統、 ピンジャック、 1Vp-p(75 不平衡)
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック、 1Vp-p(75 不平衡)
S映像入力	入力1/入力2の2系統、4ピンミニ DIN、1Vp-p(75 不平衡) 色信号 : 0.286Vp-p (75 不平衡)
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニ DIN、1Vp-p(75 不平衡) 色信号 : 0.286Vp-p (75 不平衡)
音声入力	入力1/入力2の2系統、ピンジャック (左、右) 入力レベル : 327mVrms (入力インピーダンス : 47k 以上)
音声出力	出力1/出力2の2系統、ピンジャック (左、右) 出力レベル : 327mVrms (出力インピーダンス : 10k 以下)
DV入出力	4ピンジャック

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	39W、4.7W(電源「切」時)
補助電源コンセント	非連動(最大200W)
時計方式	クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5 ~ 40
許容保存温度	-20 ~ 60
最大外形寸法	幅 430×高さ 119×奥行き 385mm(最大突起含む)
本体質量	約 8.0kg
付属リモコン	RMT-V261A 電源 : DC 3V 単3形(R6)乾電池2個付属
付属品	7ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

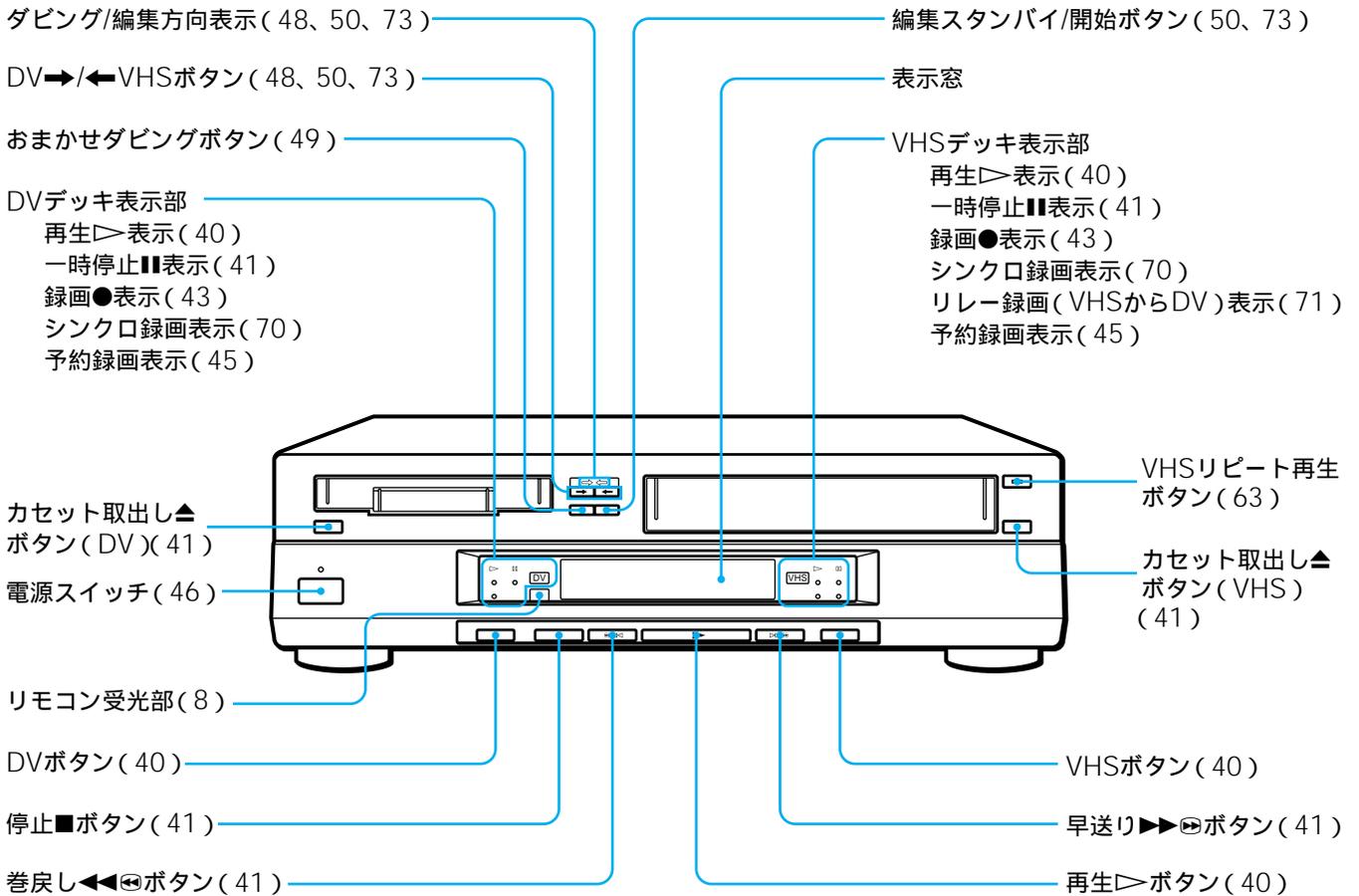
各部のなまえ

各部の説明は()内のページをご覧ください。

本体

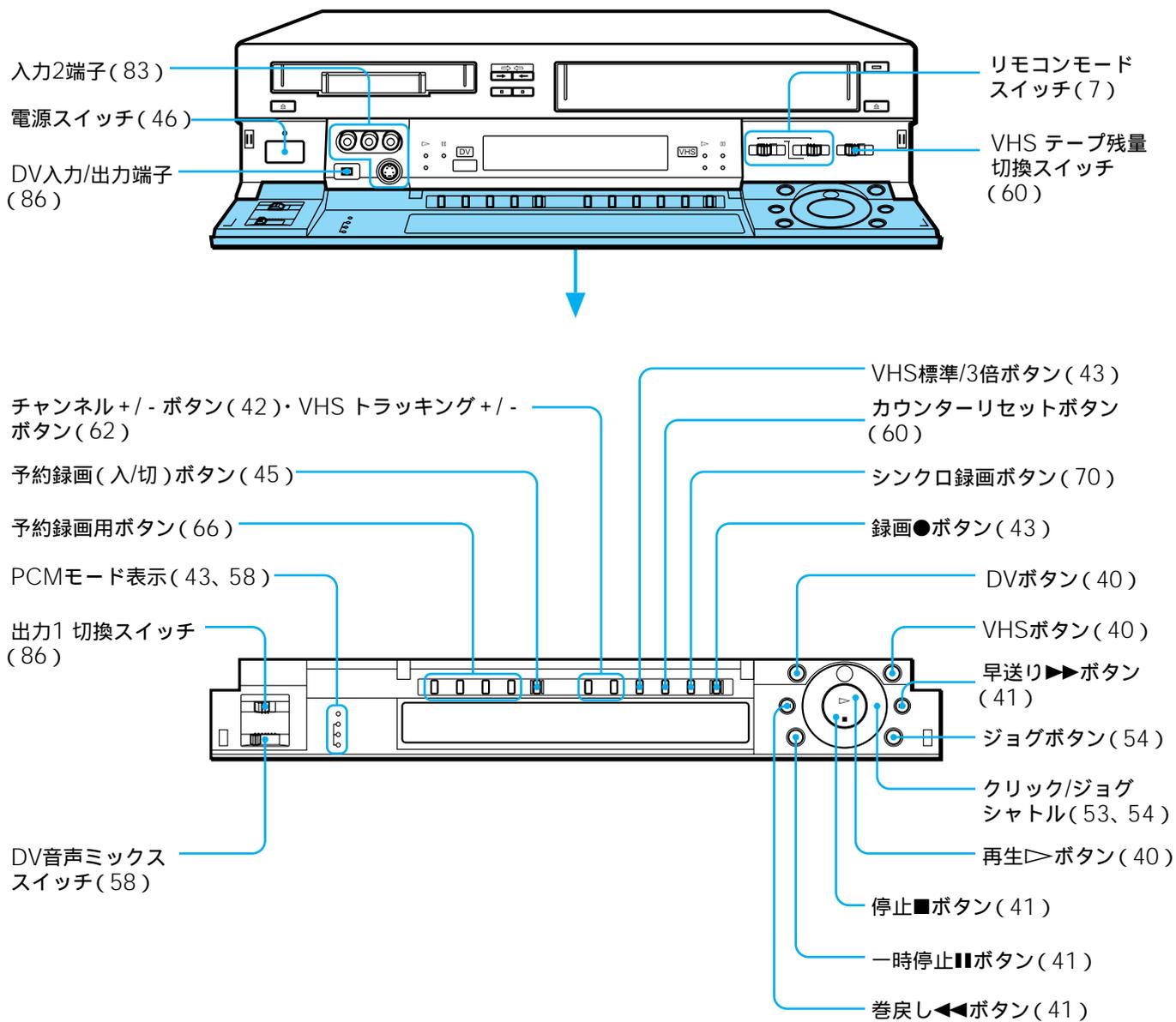
本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

前面



各部のなまえ(つづき)

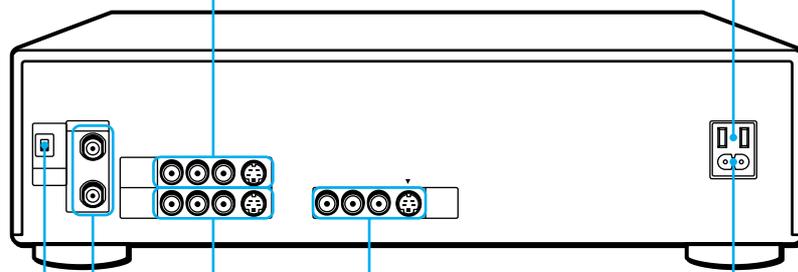
前面(とびらを開けたとき)



後面

入力1端子 (15、35、39、80)

電源コンセント (16)



チャンネル切換スイッチ
(15)

電源入力端子 (16)

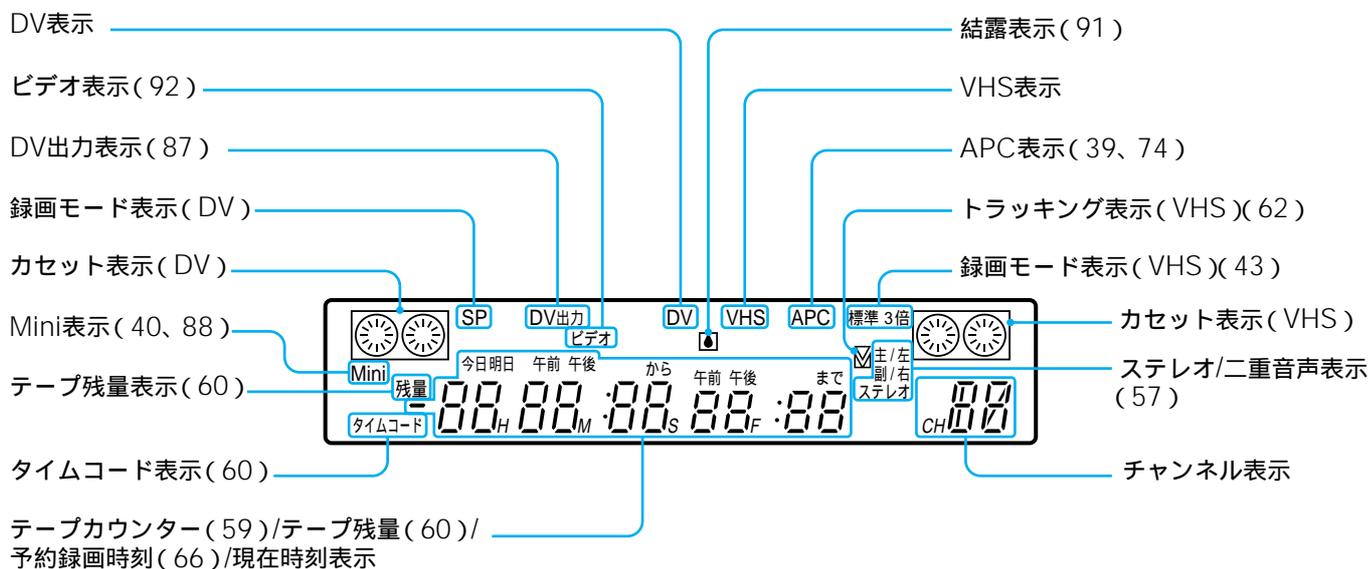
VHF/UHF入出力端子 (10)

出力2端子 (14)

出力1端子 (80、86)

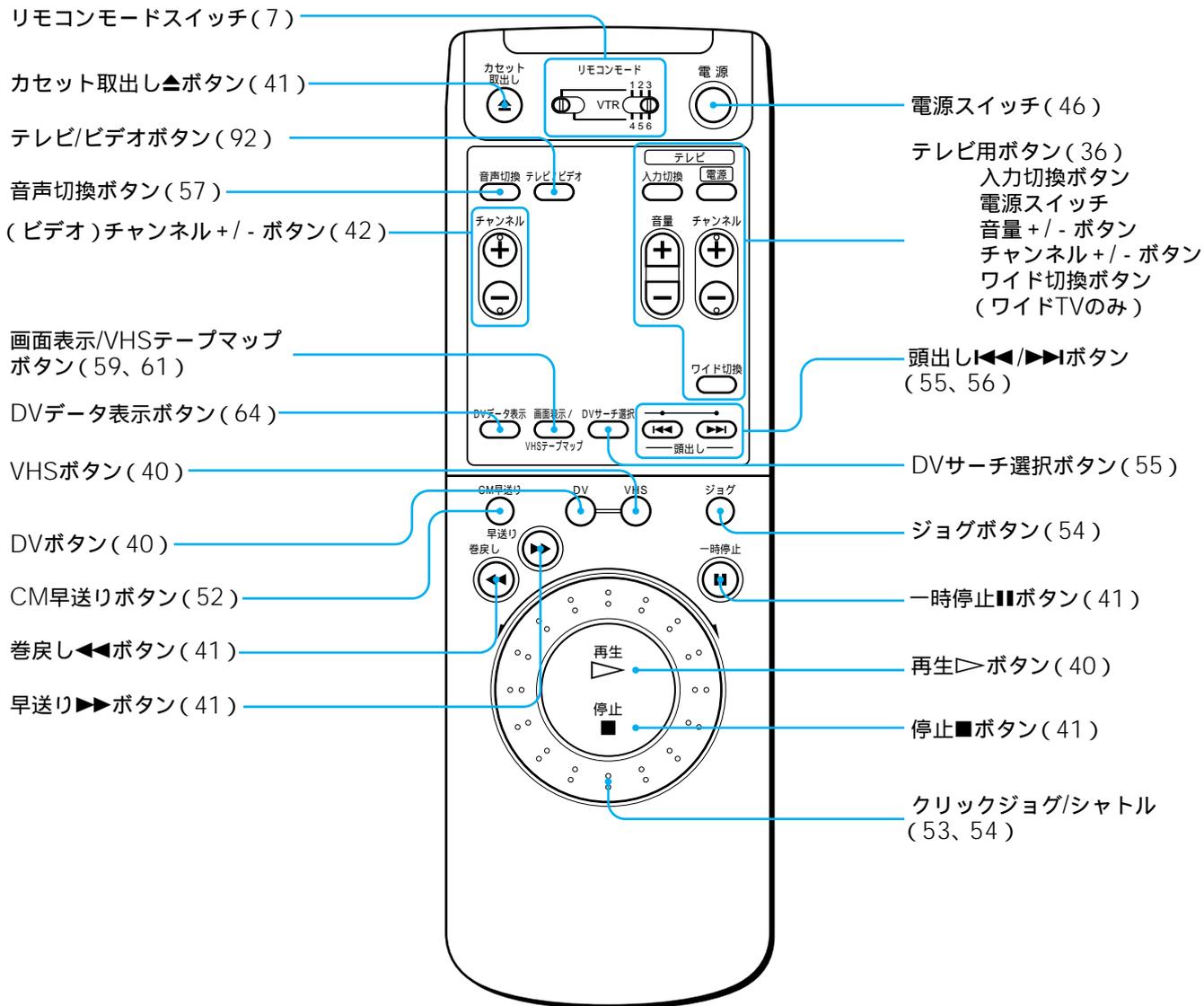
各部のなまえ(つづき)

本体表示窓



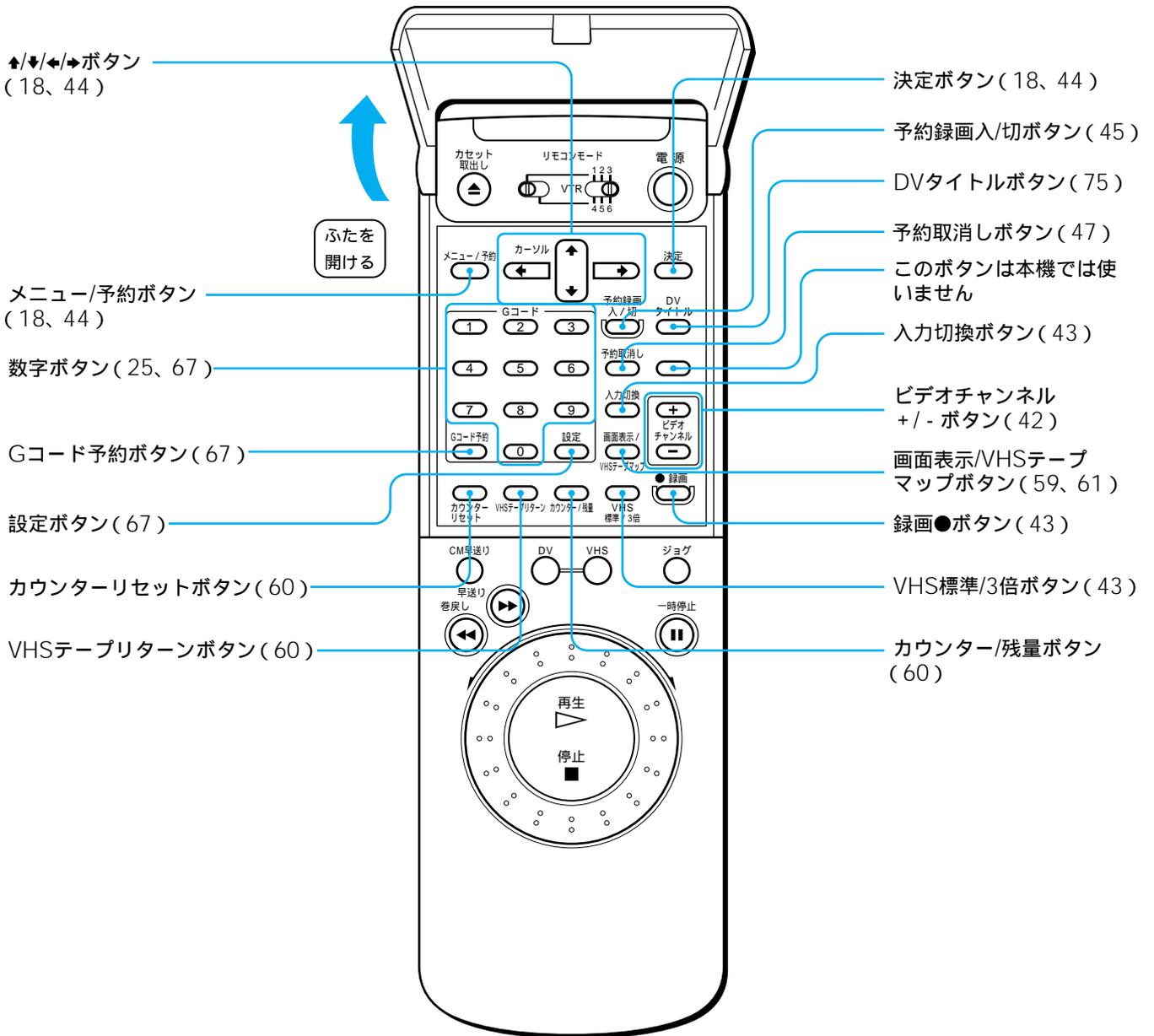
リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



各部のなまえ(つづき)

ふたを開けたとき



用語解説

五十音順

カ行

ガイドチャンネル

ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

結露(露つき)☒

暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のドラムやテープに水滴が付くことです。テープがドラムに貼り付いて故障の原因になります。電源を入れたままビデオ本体の☒表示が消えるまで1時間以上待ってください。

サ行

受信チャンネル

ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

タ行

タイムコード

DVデッキで、テープ上の位置を映像とともに時・分・秒・フレーム(1フレーム=約1/30秒)単位で記録する機能です。1フレームが映像の1コマに対応しており、テープ上の位置の正確なカウンターとして使えます。なお、本機ではドロップフレーム方式を採用しています。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができます。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要です。

CSはCommunication Satellite(コミュニケーション・サテライト)の略です。

トラッキング

テープに記録された信号をなぞって読みとるようにすることです。ずれると再生時に画像がチラツいたり、雑音が入ったりします。

ドロップフレーム方式

30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が1/29.97秒のNTSC映像信号との間に起きるずれを自動的に補正する方式です。分の単位が更新されるときに、フレームを02から(分が10の倍数のときは00から)始めることで補正を行っています。

ナ行

ノーマル音声

ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときやアフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われるモノラル音声です。

ハ行

ハイファイ音声

ハイファイビデオ(本機など)で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

表示チャンネル

ビデオで放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じですが、変更することができます。

ヘッド

テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機

予約をすると、ビデオ本体の予約録画表示が点灯して電源が切れます。これが予約待機(予約録画待ち)の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。

ラ行

リモコンモ - ドスイッチ

2台以上のソニーのビデオデッキを使うとき、操作したいデッキだけが反応するようにリモコンの信号を切り換えるスイッチです。ビデオ本体とリモコンのリモコンモ - ドが合っていないと、リモコンでは操作できません。

アルファベット順

APC

他機で録画したVHSテープの再生・録画やレンタルビデオの再生を、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質にします。本機ではメニューで「VHS APC」を「切」にしない限り常にはたります。

APCはAdaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

CATV

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

CATVはCable Television(ケーブル・テレビジョン)の略です。

Gコード

一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている、番組を予約するための番号です。

索引

五十音順

ア行

頭出し 54
アンテナ切りかえ 15、39
一時停止 41
裏番組 43
オートプレイ 41
音声切り換え 57
音声記録モード 89
音声ミックス 58

カ行

快速本体予約 65
ガイドチャンネル 21、31、103
外部入力 83、85
カウンター 59
「各種設定」 39
「各種設定DV」 39
「各種設定VHS」 39
カセットメモリー 54、79、89
「カセットメモリー消去」 79
画面表示 59
クリーニングカセット 90
ケーブルテレビ 34
ゲームをする 83
結露 91、103

サ行

再生 40
2倍速 53
スロー 53
再生・録画方式 88
3倍 43、88
「時刻合わせ」 19
自己診断表示 95
ジャストクロック 20
受信チャンネル 29、103
ステレオ放送 57

Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しています。

Printed in Japan

タ行

タイムコード 60、103
ダビング 48、50、85
地域番号 21、25
「TVチャンネル合わせ」
自動チャンネル合わせ 18
手動チャンネル合わせ 28
チャンネルとばし 32
ツメ 41、43、45、89
テープカウンター 59
テープ残量 60
テープマップサーチ 61
停止 41
デジタルCSシンクロ録画 70
デジタルCSチューナー 35、68
デジタルCSリレー録画 71
電源コード 16
電源コンセント 16
時計合わせ 19
トラッキング 62、103

ナ行

二か国語放送 57
ノーマル音声 103

ハ行

ハイファイ音声 103
早送り 41
ビデオを見る 40、83
表示チャンネル 28、103
標準 43、88
ヘッド 90、103
編集 72、85

マ行

巻き戻し 41
メーカー設定 36

ヤ行

予約 44
Gコード予約 67
快速本体予約 65
確認 46
取り消し 46
変更 46
「予約設定/確認」 44、46
予約待機 45、103

ラ行

リピート再生 63
リモコン 7、36
リモコン乾電池交換 7
リモコンモード 7、103
録画 42
録画情報 64
録画モード 43

アルファベット順

APC(VHSのみ) 39、103
BSチューナー内蔵テレビ
の接続 15
を使ったBSの予約 45
を使ったBSの録画 42
CATV 34、103
CMとばし 52
DV方式 89
Gコード 21、67、103
「Gコード設定」 25
「L1」、「L2」 84、87
SP 41、43、88
VHS 39、88

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル 0120-88-9374

受け付け時間 午前9時～午後5時(年末、年始、祝日を除く毎日)
ご購入の初期に不具合が見つかった場合、必要に応じて、
ご希望の日時に引き取り修理または交換品のお届けをいたします。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111